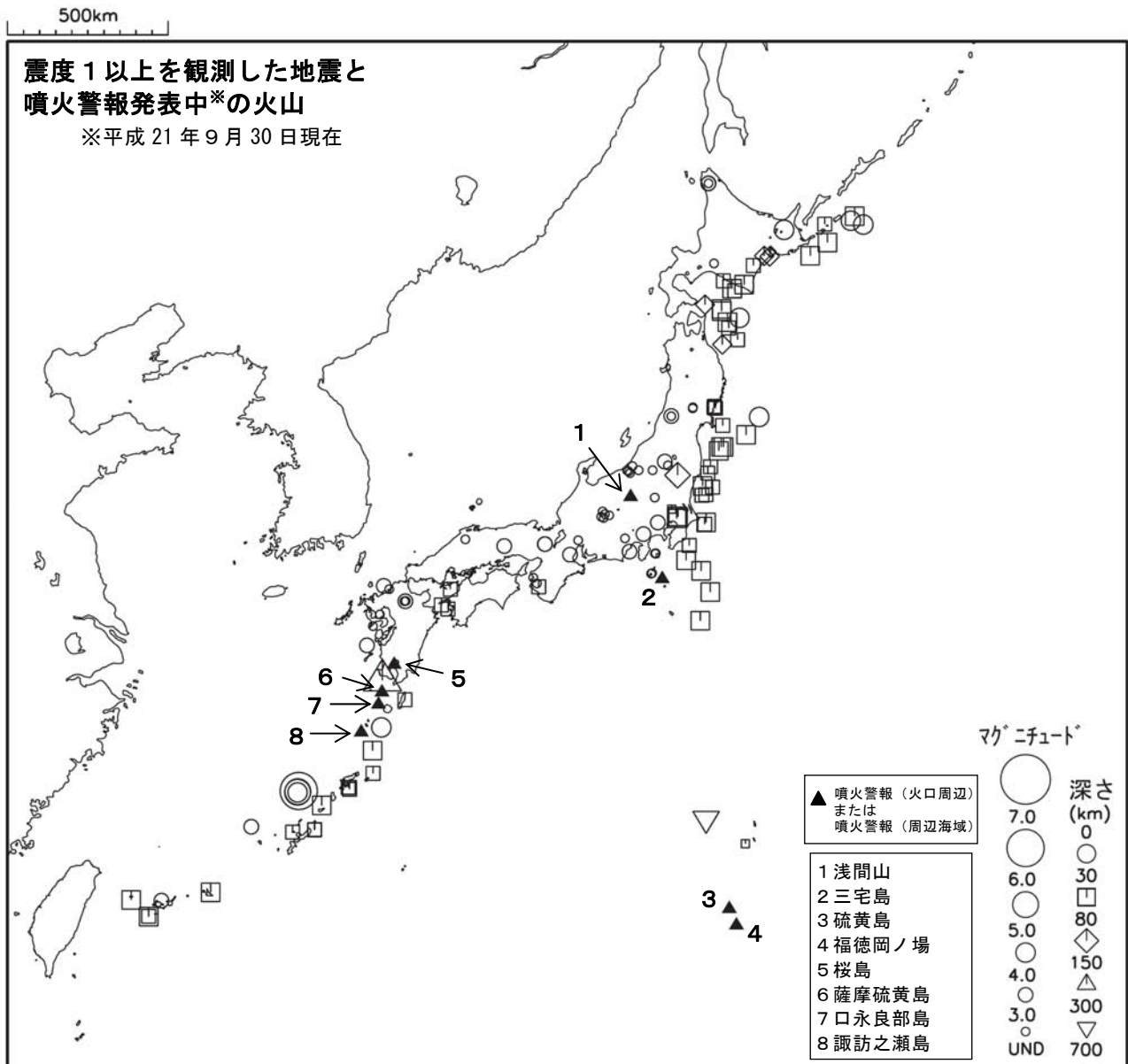


# 平成 21 年 9 月 地震・火山月報（防災編）

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

September 2009



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

## 利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所\*から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け\*\*、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、本編の姉妹編の「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注\* 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上 1 府 8 県、1 政令指定都市は平成 9 年 11 月 10 日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県及び愛媛県（以上 6 県は平成 10 年 6 月 15 日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上 1 府 11 県は平成 10 年 10 月 15 日から発表）、東京都、長野県（以上 1 都 1 県は平成 11 年 7 月 21 日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上 3 県、1 政令指定都市は平成 12 年 1 月 12 日から発表）、滋賀県（平成 12 年 3 月 28 日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上 3 県は平成 12 年 7 月 18 日から発表）、佐賀県（平成 13 年 3 月 22 日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上 1 県、1 政令指定都市は平成 13 年 5 月 10 日から発表）、高知県（平成 13 年 7 月 19 日から発表）、福島県（平成 13 年 12 月 12 日から発表）、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）（以上 4 県、1 政令指定都市は平成 14 年 3 月 20 日から発表）北海道、長崎県（以上 1 道 1 県、平成 14 年 7 月 29 日から発表）、沖縄県（平成 15 年 3 月 10 日から発表）の 47 都道府県、4 政令指定都市と独立行政法人防災科学技術研究所（平成 16 年 5 月 26 日から発表）。

注\*\*平成 21 年 9 月末現在：独立行政法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人産業技術総合研究所、国土地理院、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所、横浜市及び独立行政法人海洋研究開発機構による地震観測データを利用している。また、東北大学の臨時観測点（夏油、岩入、鶯沢、石淵ダム）、東京大学の臨時観測点（駿河 1、駿河 2）のデータを利用している。

### □本書利用上の注意

#### ・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード Depth：深さ（km）  
 UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。  
 N=XX：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

#### ・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。

#### ・発震機構解の図中の語句について

NP1：節面 1 NP2：節面 2  
 STR：走向（°：北から時計周り） DIP：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）  
 SLIP：すべり角（°：断層の走向から断層面に沿って反時計周り）  
 P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）  
 N：N 軸（中立軸）  
 AZM：方位角（°：北から時計周り） PLG：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）  
 Mw：モーメントマグニチュード Mo：地震モーメント（単位：Nm[ニュートン・メートル]）

#### ・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震のCMT解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

#### ・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

#### ・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものを用いる。情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合は「異なる震央地名〔情報発表時に使用した震央地名〕」と併記する。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）」で用いる震央地名を参照のこと。

#### ・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

#### ・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」「地震年報（CD-ROM）」に掲載する。

#### ・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」「火山報告（CD-ROM）」に掲載する。

#### ・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』、『数値地図 25000（地図画像）』、『数値地図 50000（地図画像）』、『数値地図 10m メッシュ（火山標高）』、『数値地図 50m メッシュ（標高）』、『数値地図 250m メッシュ（標高）』を使用したものである（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」（東京大学出版会、1991）を使用した。

・図版作成には一部 GMT(Generic Mapping Tool[Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

## 目 次

● 日本及びその周辺で発生した主な地震	1
● 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動	16
● 日本の主な火山活動	26
● 世界の主な地震	36
● 世界の主な火山活動	38
● 特集	
1. 9月30日のサモア諸島の地震	39
2. 9月30日のスマトラ南部（インドネシア）の地震	44
● 付表	
1. 震度1以上を観測した地震の表	46
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	62
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード(M)別の月別地震回数	63
4. 緊急地震速報の提供状況	64

## ●日本及びその周辺で発生した主な地震

平成 21 年（2009 年）9 月に日本国内で震度 1 以上を観測した地震の回数は 131 回（8 月は 163 回）、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 78 回（8 月は 107 回）であった。

9 月中に発生した主な地震を表 1 に示す。日本国内で震度 5 弱以上を観測した地震はなく、津波を観測した地震は 1 回（海外で発生した地震によるものも含む）であった（8 月は震度 5 弱以上を観測した地震は 2 回、津波を観測した地震は 1 回）。

9 月 30 日 02 時 48 分（日本時間）に南太平洋のサモア諸島で Mw7.9（気象庁による）の地震が発生し、気象庁は日本の太平洋沿岸などに津波注意報を発表した。この地震による津波は、太平洋の広い範囲で観測され、日本の太平洋沿岸でも観測した（日本国内での津波の最大の高さは久慈港\* の 36cm）。  
\*久慈港は国土交通省港湾局の検潮所である。

表 1 平成 21 年 9 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M H S T (注 3)	最大震度・被害状況等（注 4）	掲載 ページ
1	9 3 22 26	薩摩半島西方沖	6.0	M・S・	4：宮崎県 都城市高崎町大牟田*	13
2	9 4 11 30	千葉県北西部	4.5	・ ・ ・ ・	3：神奈川県 横浜神奈川区神大寺* など 2 都県 2 地点	9
3	9 5 10 59	栃木県北部	4.2	・ ・ ・ ・	3：茨城県 鉾田市当間* など 2 県 3 地点	10
4	9 8 01 24	日高支庁東部	4.8	・ ・ S ・	4：北海道 浦河町潮見	5
5	9 29 04 22	沖縄本島北西沖	6.1	M ・ ・ ・	3：鹿児島県 天城町平土野*	14
6	9 29 21 03	根室支庁北部	4.5	・ ・ S ・	4：北海道 中標津町養老牛	6

注 1) 主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.0 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

注 3) M H S T の各項目について、M: M6.0 以上の地震、H: 被害を伴った地震、S: 震度 4 以上を観測した地震、T: 津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

注 4) 最大震度の観測点名にある\*印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況は、総務省消防庁による。

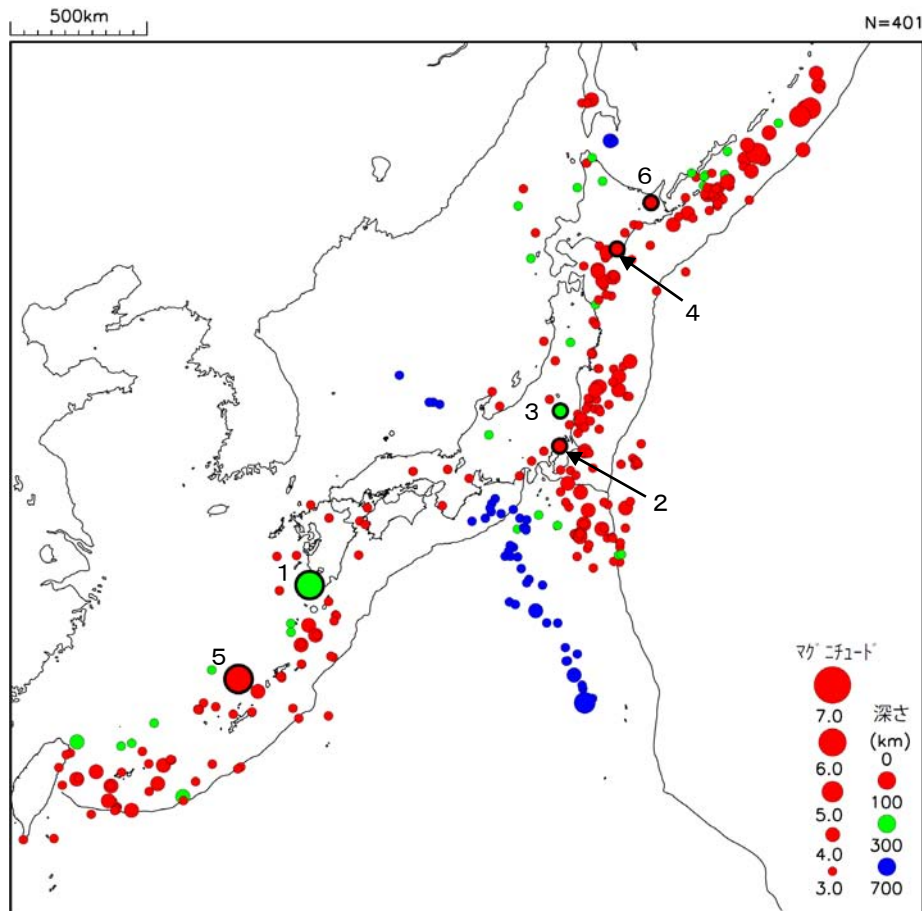
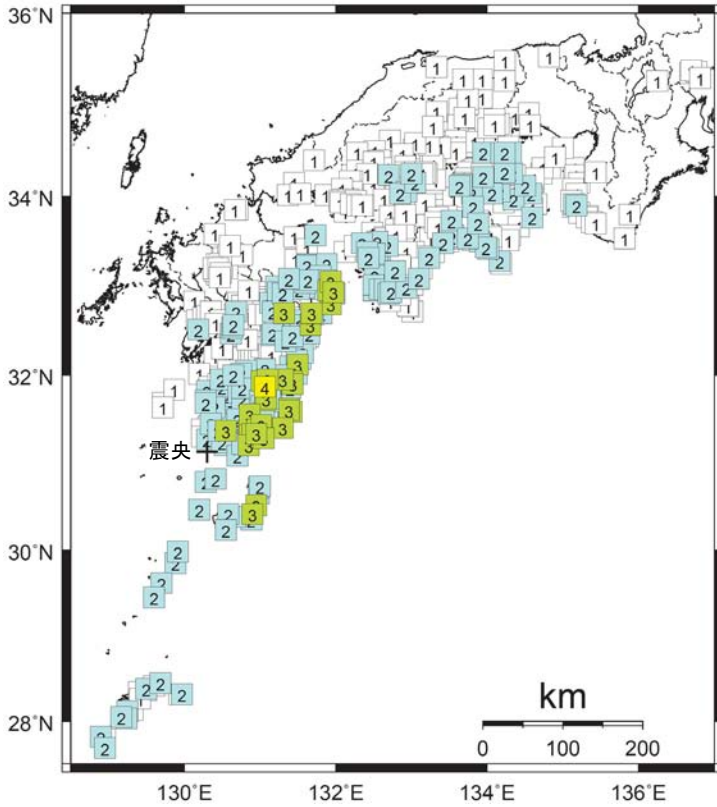


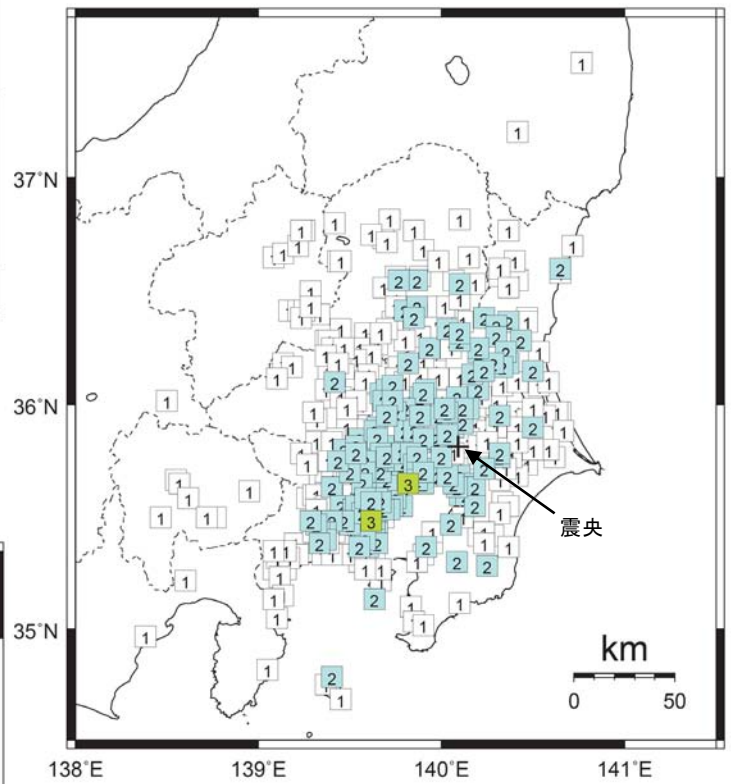
図 1 平成 21 年 9 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図（図中の数字は表 1 の番号に対応）

図 2 震度分布図（各図の左上の数字は表 1，図 1 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

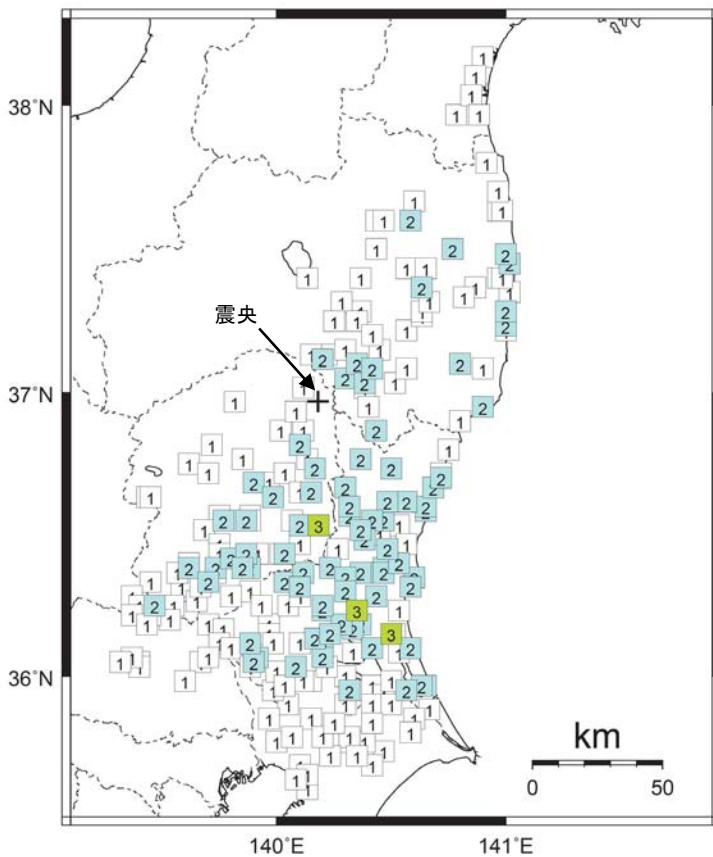
1 9月3日 22時 26分 薩摩半島西方沖  
(M6.0, 深さ 167km, 最大震度 4)



2 9月4日 11時 30分 千葉県北西部  
(M4.5, 深さ 67km, 最大震度 3)

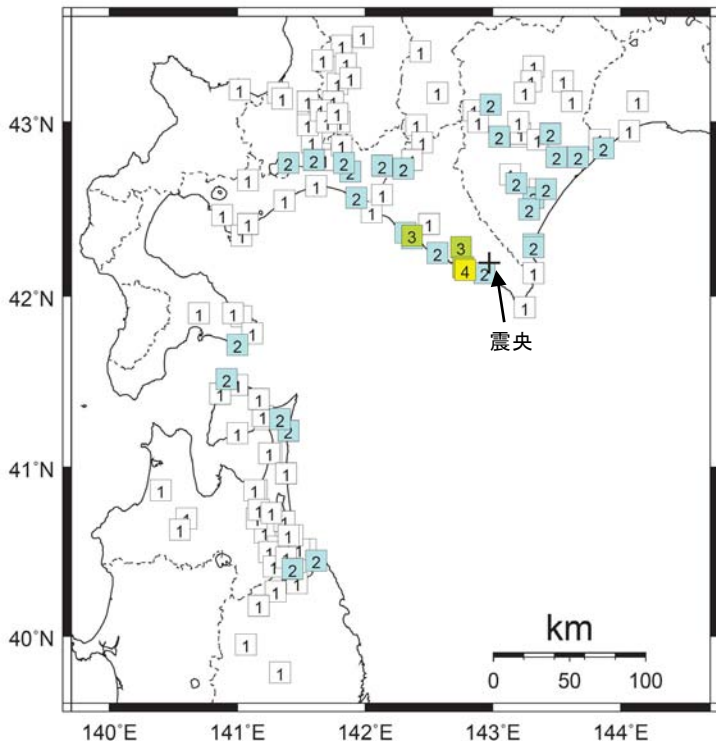


3 9月5日 10時 59分 栃木県北部  
(M4.2, 深さ 100km, 最大震度 3)



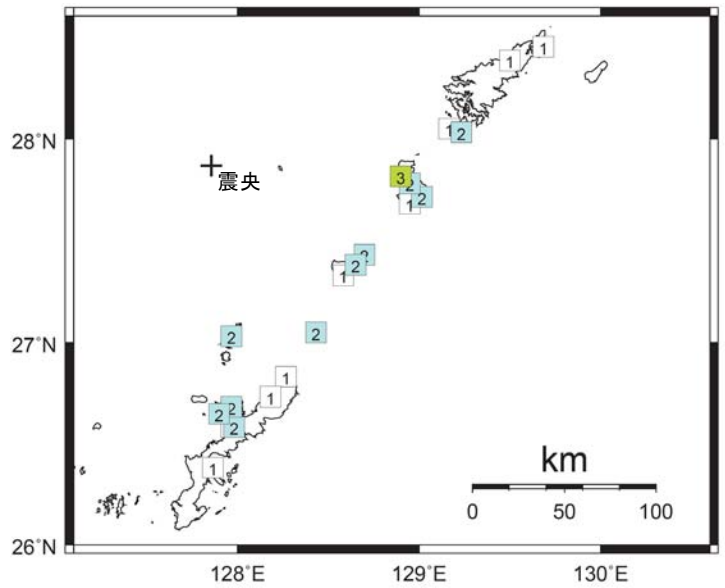
凡例	
4	震度 4
3	震度 3
2	震度 2
1	震度 1

4 9月8日 01時24分 日高支庁東部  
(M4.8, 深さ51km, 最大震度4)

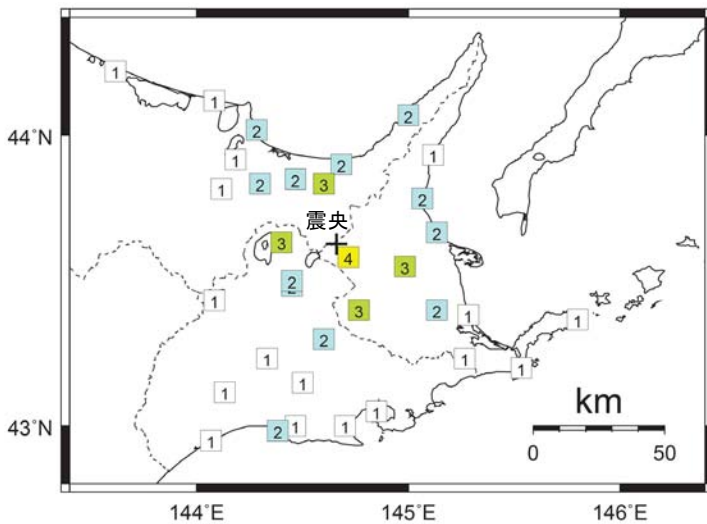


凡例	
4	震度 4
3	震度 3
2	震度 2
1	震度 1

5 9月29日 04時22分 沖縄本島北西沖  
(M6.1, 深さ13km, 最大震度3)



6 9月29日 21時03分 根室支庁北部  
(M4.5, 深さ5km, 最大震度4)



## ○北海道地方の地震活動

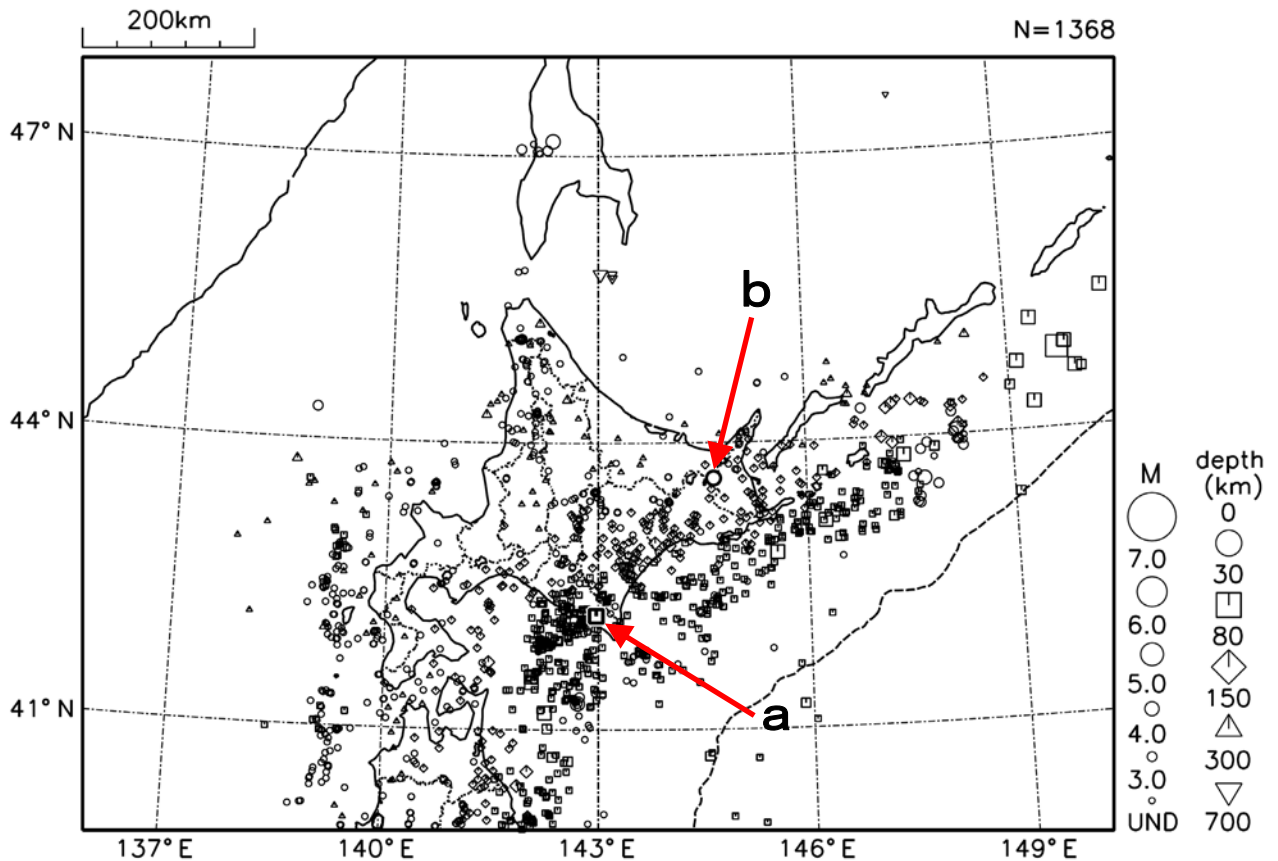


図 3 北海道地方の震央分布図（2009 年 9 月 1 日～9 月 30 日）

### 〔概況〕

9 月に北海道地方で震度 1 以上を観測した地震は 24 回（8 月は 18 回）であった。9 月中の主な活動は次のとおりである。

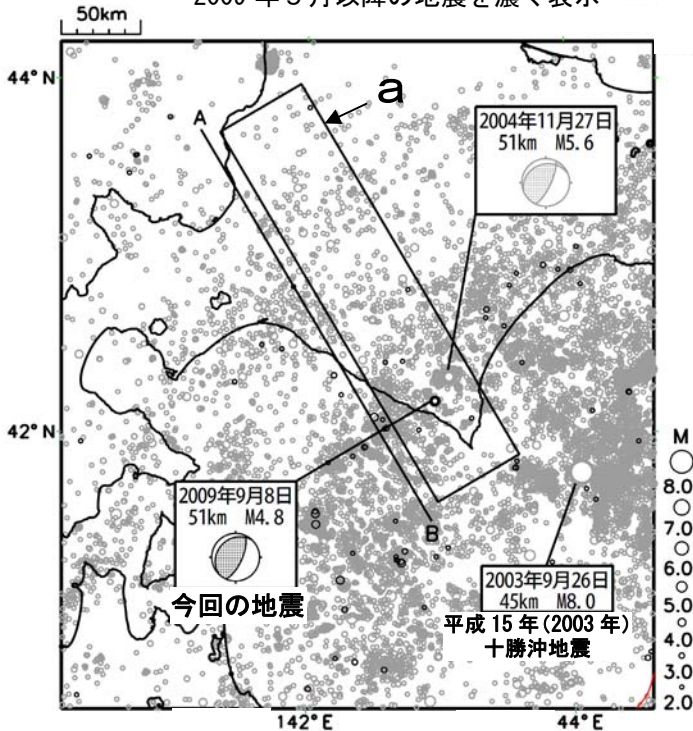
8 日 01 時 24 分に日高支庁東部の深さ 51km で M4.8 の地震（図 3 中の a）が発生し、北海道の浦河町で震度 4 を観測したほか、北海道から岩手県にかけて震度 3～1 を観測した（p. 5 参照）。

29 日 21 時 03 分に根室支庁北部の深さ 5 km で M4.5 の地震（図 3 中の b）が発生し、北海道の中標津町で震度 4 を観測したほか、北海道東部で震度 3～1 を観測した（p. 6 参照）。

30 日 02 時 48 分（日本時間）にサモア諸島で発生した地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸でも津波を観測した（p. 39～43 参照）。

## 9 月 8 日 日高支庁東部の地震

震央分布図 (2001 年 10 月 1 日～2009 年 9 月 30 日、  
深さ 0～200km、 $M \geq 2.0$ )  
2009 年 9 月以降の地震を濃く表示

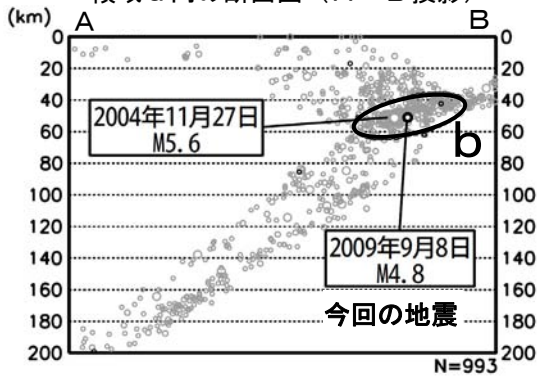


2009 年 9 月 8 日 01 時 24 分に日高支庁東部の深さ 51km で  $M 4.8$  の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震の発震機構は西北西—東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

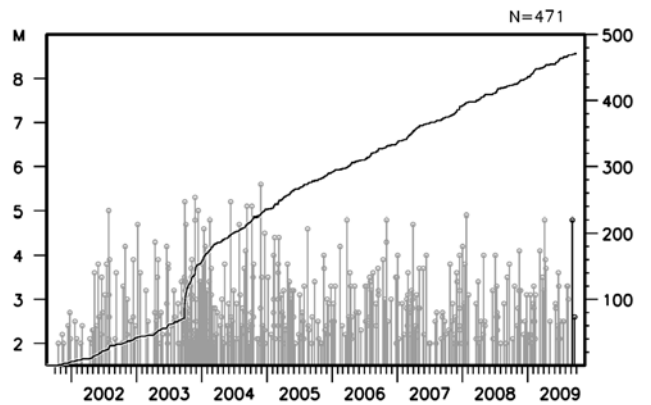
今回の地震の震源付近 (領域 b) は、2004 年 11 月 27 日に  $M 5.6$  の地震 (最大震度 4) が発生するなど、「平成 15 年 (2003 年) 十勝沖地震」以降プレート境界の地震が増加した領域である。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 c) では、 $M 6.0$  以上の地震が度々発生している。最大は 1982 年 3 月 21 日に発生した「昭和 57 年 (1982 年) 浦河沖地震」( $M 7.1$ ) で、負傷者 167 名、建物全壊 9 棟等の被害を生じている (「最新版 日本被害地震総覧」による)。

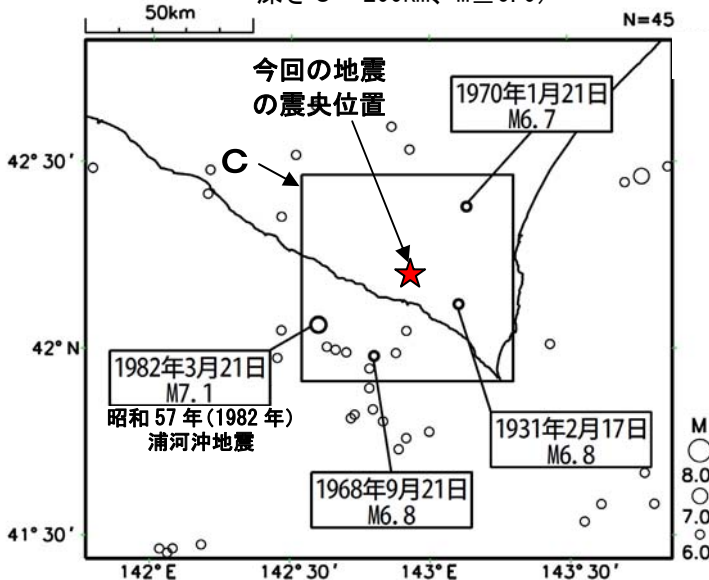
領域 a 内の断面図 (A—B 投影)



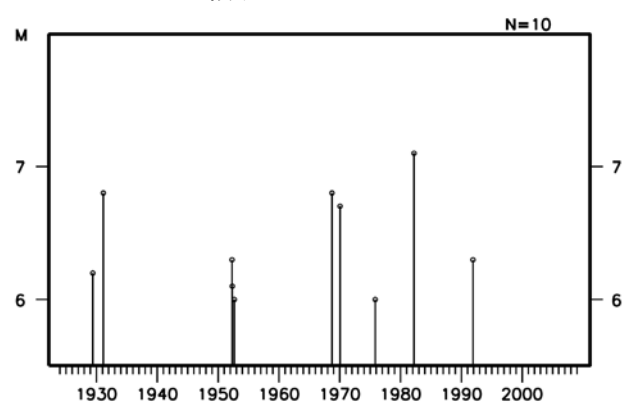
領域 b 内の M—T 図及び回数積算図



震央分布図  
(1923 年 8 月 1 日～2009 年 9 月 30 日、  
深さ 0～200km、 $M \geq 6.0$ )



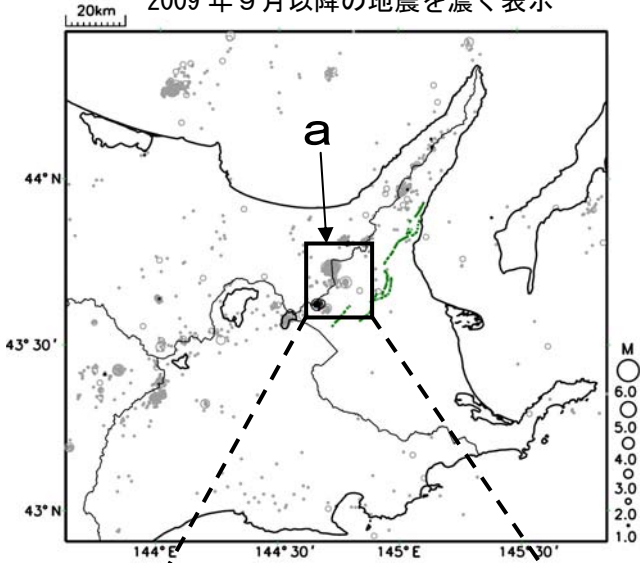
領域 c 内の M—T 図



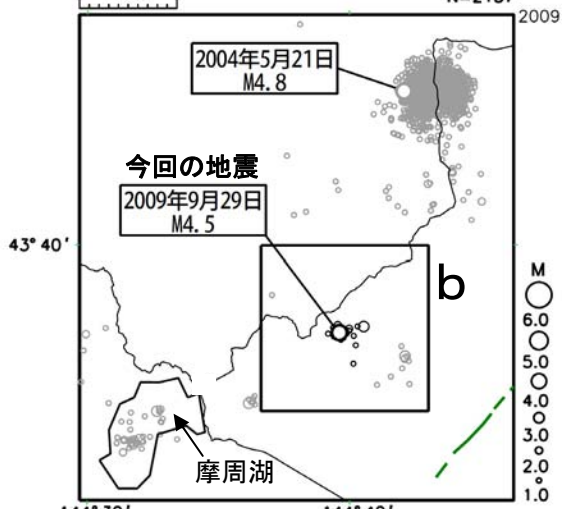


## 9 月 29 日 根室支庁北部の地震

震央分布図 (2001 年 10 月 1 日～2009 年 9 月 30 日、  
深さ 0～30km、 $M \geq 1.0$ )  
2009 年 9 月以降の地震を濃く表示

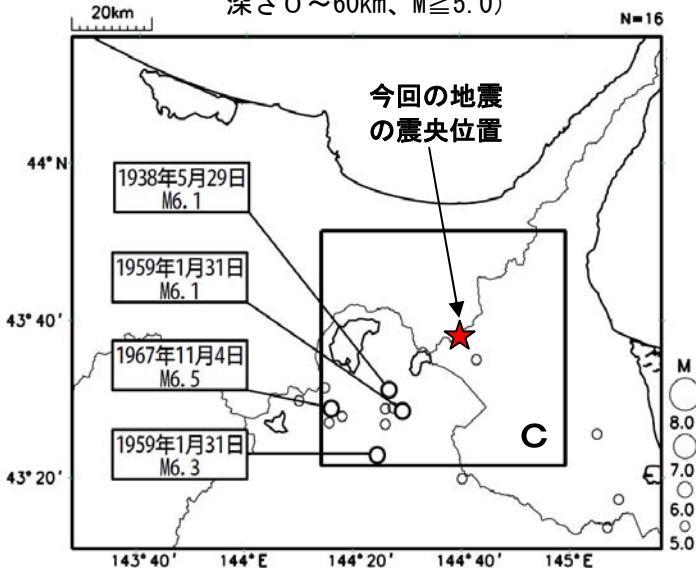


領域 a の拡大図



---: 標津 (しべつ) 断層帯の地表での位置  
(地震調査委員会による)

震央分布図 (1923 年 8 月 1 日～2009 年 9 月 30 日、  
深さ 0～60km、 $M \geq 5.0$ )

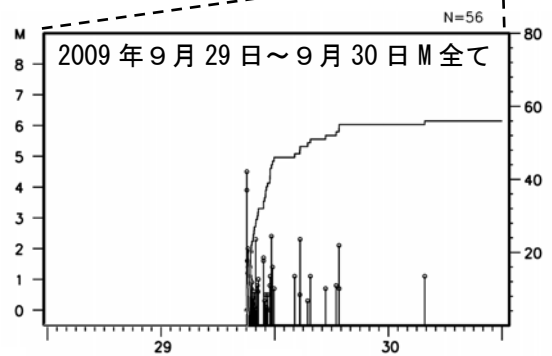
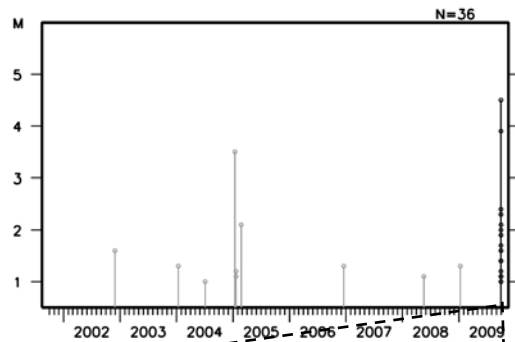


2009 年 9 月 29 日 21 時 03 分に根室支庁北部の深さ 5 km で M4.5 の地震 (最大震度 4) が発生した。余震活動は、本震発生直後は活発だったが半日程度で減衰し、9 月 30 日現在収まりつつある。

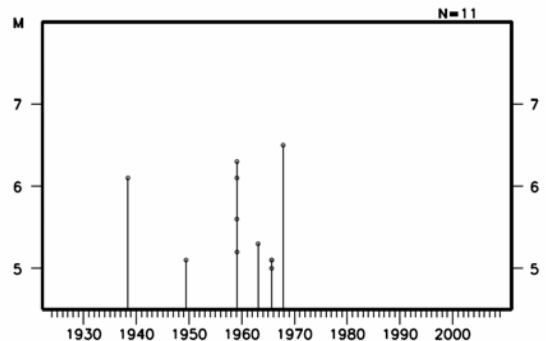
今回の地震の震央から北約 10km の領域では、2004 年 5 月 21 日に M4.8 の地震 (最大震度 4) が発生するなど、4 月から 5 月にかけてまとまった活動が発生したが、今回の活動が継続する傾向は見られない。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 c) では、M6.0 以上の地震が発生している。最大は 1967 年 11 月 4 日に発生した M6.5 の地震で、負傷者 2 名の被害を生じた (「最新版 日本被害地震総覧」による)。この地震以降、M5.0 以上の地震は発生していない。

領域 b 内の M-T 図



領域 c 内の M-T 図



## ○東北地方の地震活動

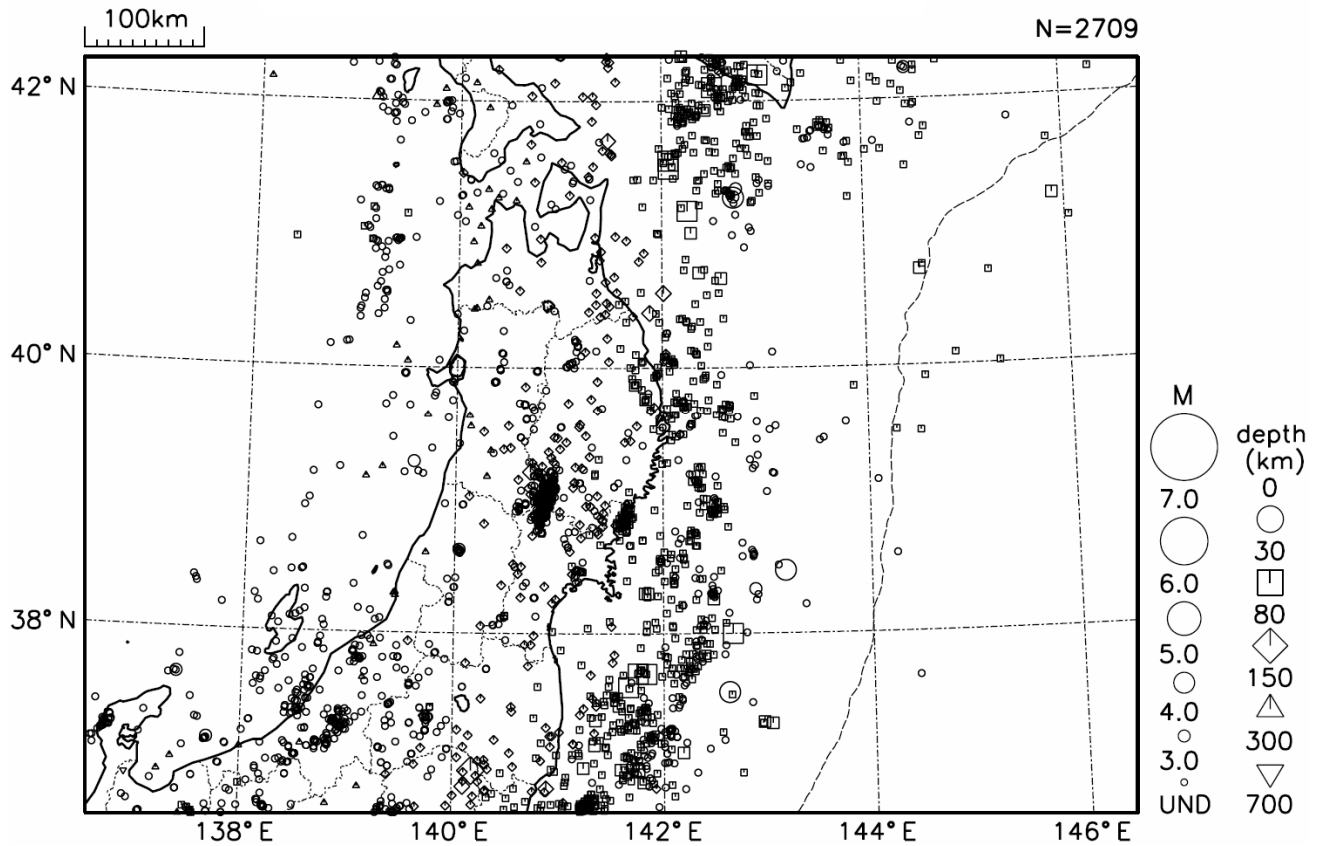


図4 東北地方の震央分布図（2009年9月1日～9月30日）

### [概況]

9月に東北地方で震度1以上を観測した地震は32回（8月は34回）であった。  
9月中の主な活動は次のとおりである。

30日02時48分（日本時間）にサモア諸島で発生した地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸でも津波を観測した（p.39～43参照）。

## ○関東・中部地方の地震活動

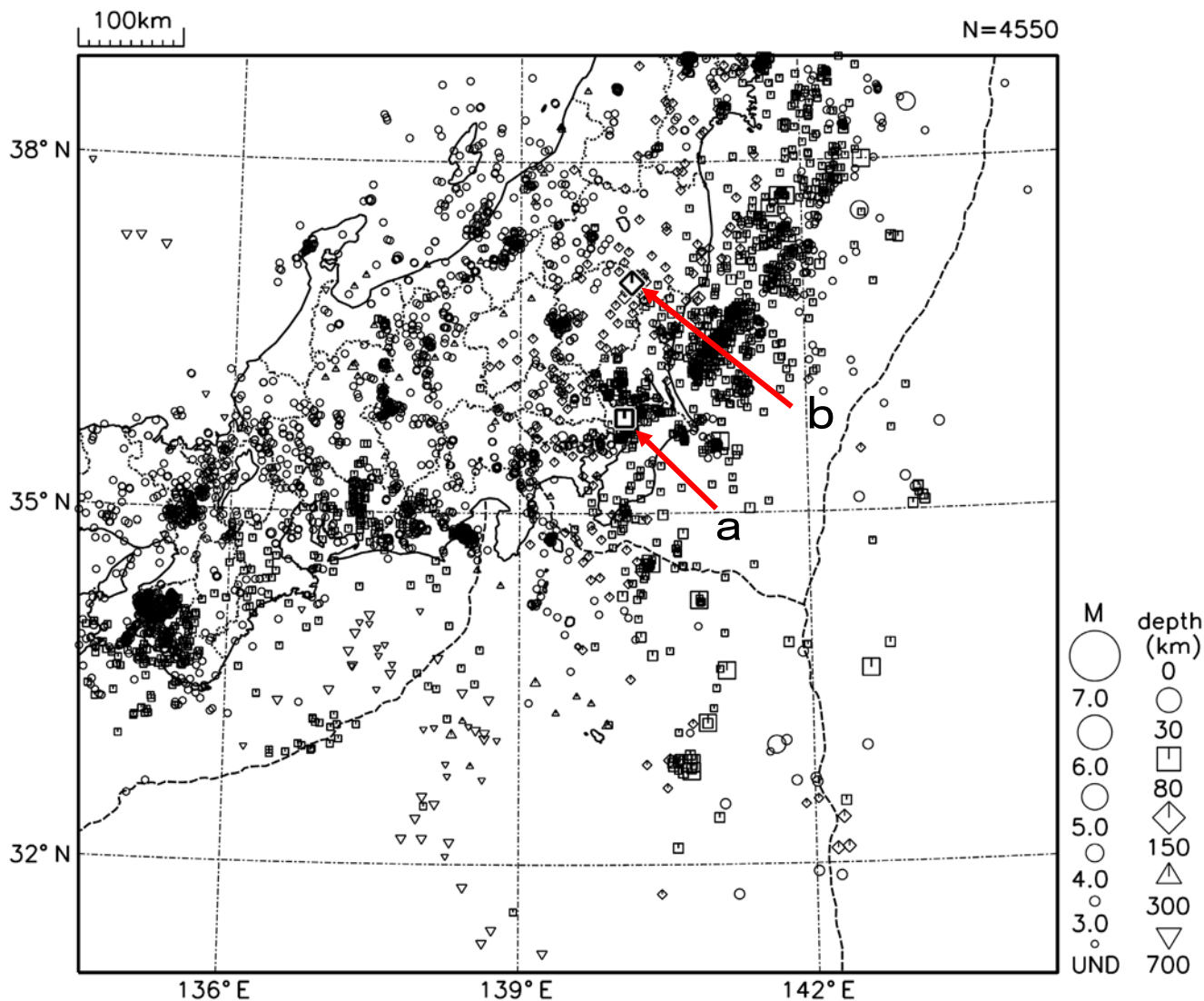


図5 関東・中部地方の震央分布図（2009年9月1日～9月30日）

### [概況]

9月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は45回（8月は93回）であった。9月中の主な活動は次のとおりである。

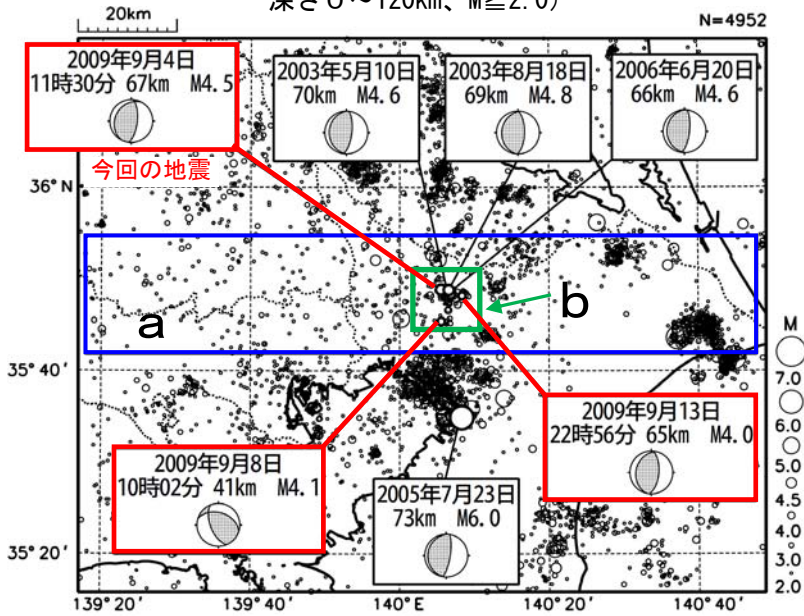
4日11時30分に千葉県北西部の深さ67kmでM4.5の地震（図5中のa）が発生し、東京都と神奈川県で震度3を観測したほか、関東地方を中心に、福島県から長野・山梨・静岡県にかけて震度2～1を観測した（p.9参照）。

5日10時59分に栃木県北部の深さ100kmでM4.2の地震（図5中のb）が発生し、茨城県と栃木県で震度3を観測したほか、宮城県から埼玉・千葉県にかけて震度2～1を観測した（p.10参照）。

30日02時48分（日本時間）にサモア諸島で発生した地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸でも津波を観測した（p.39～43参照）。

## 9 月 4 日 千葉県北西部の地震

震央分布図 (1997 年 10 月 1 日~2009 年 9 月 30 日、  
深さ 0~120km、 $M \geq 2.0$ )

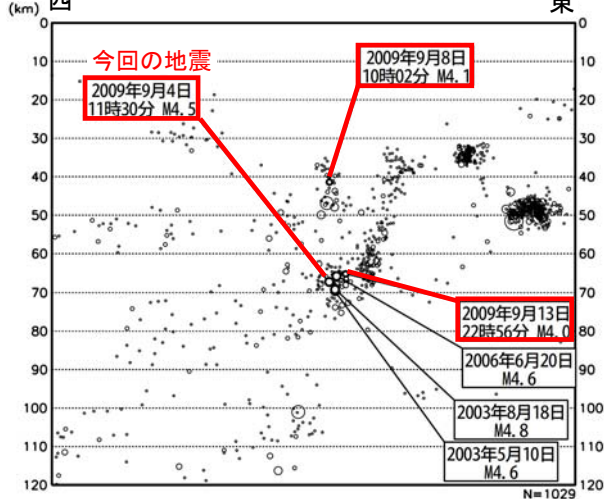


2009 年 9 月 4 日 11 時 30 分に千葉県北西部の深さ 67km で M4.5 の地震 (最大震度 3) が発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震である。この近傍では、9 月 13 日にも M4.0 の地震 (最大震度 1) が発生した。なお、9 月 8 日には、この南側で M4.1 の地震 (最大震度 2) が発生したが、震源の深さはこれらより浅く (41km)、発震機構も異なる型である。

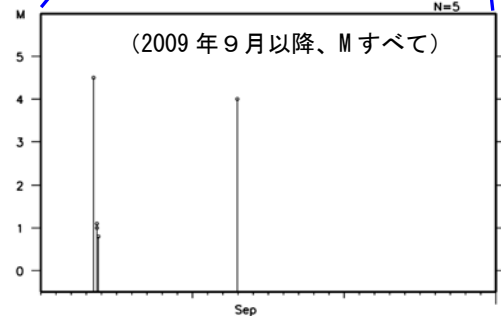
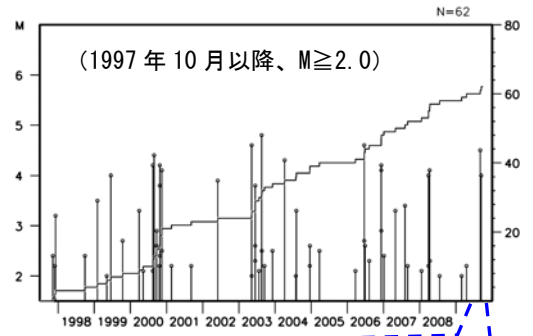
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の震源付近 (領域 b) では、今回とほぼ同じ場所で、2003 年 8 月 18 日の M4.8 の地震 (最大震度 3) など M4.5 以上の地震が時々発生している。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の震央周辺 (領域 c、深さ 50~90km) では、M6.0 程度の地震が時々発生しており、領域 c の南側や北側でも活発な地震活動がみられるが、M7.0 以上の地震は発生していない。

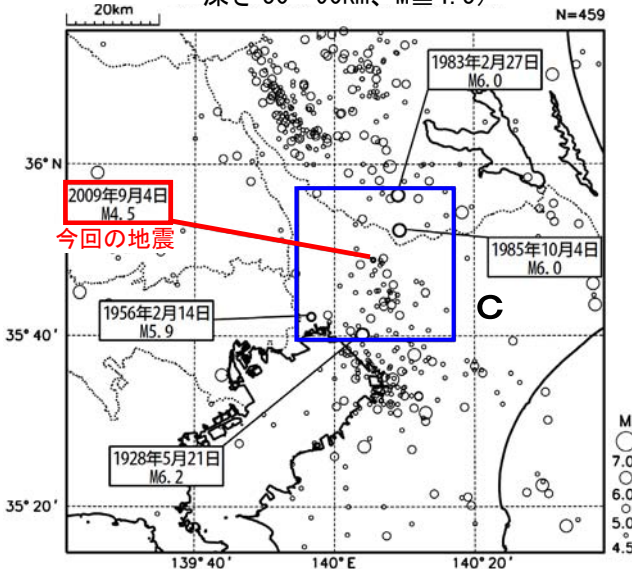
領域 a 内の断面図 (東西投影)



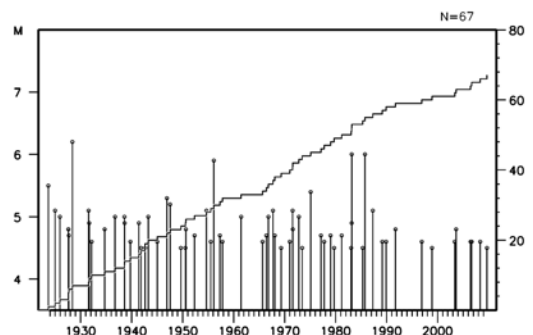
領域 b 内 (深さ 50~80km) の  
M-T 図、回数積算図



震央分布図 (1923 年 8 月 1 日~2009 年 9 月 30 日、  
深さ 50~90km、 $M \geq 4.5$ )

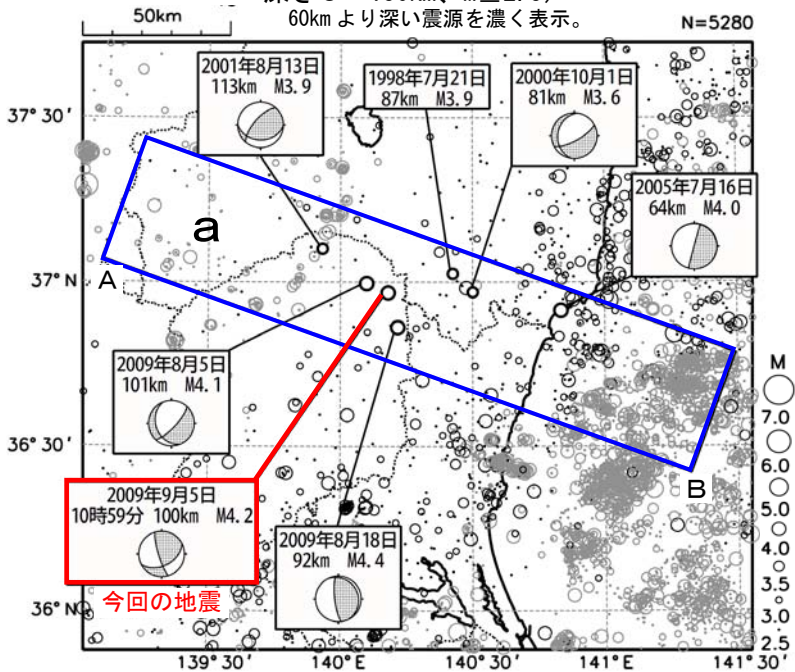


領域 c 内の M-T 図、回数積算図



## 9月5日 栃木県北部の地震

震央分布図（1997年10月1日～2009年9月30日、  
深さ0～150km、 $M \geq 2.5$ ）  
60kmより深い震源を濃く表示。

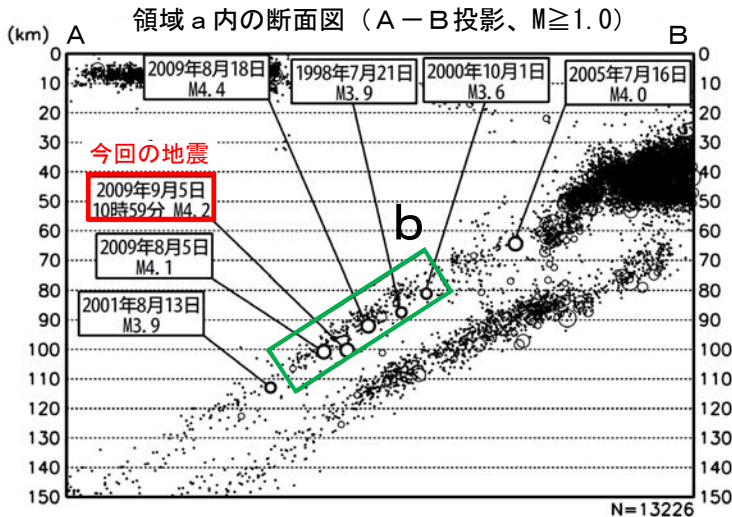
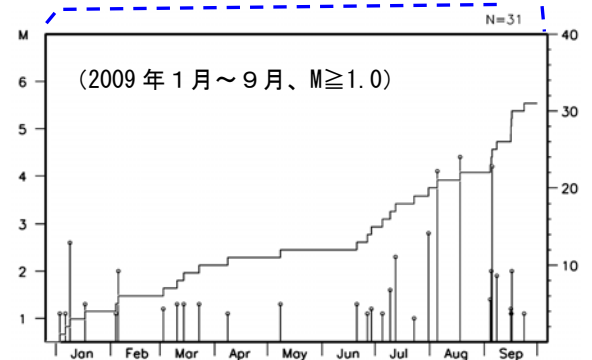
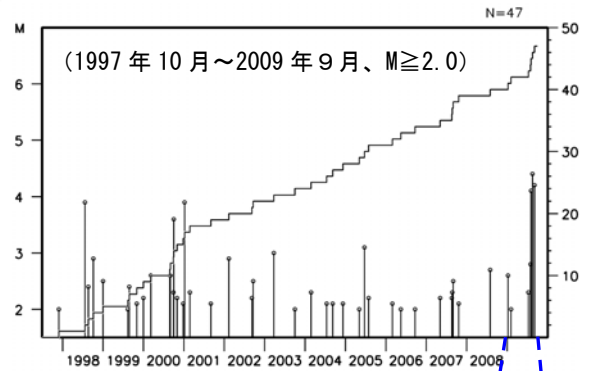


2009年9月5日10時59分に栃木県北部の深さ100kmでM4.2の地震（最大震度3）が発生した。発震機構は太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレート内部（二重地震面の上面）の地震である。この付近では、今年8月5日（M4.1、最大震度2）と8月18日（M4.4、最大震度3）にも同様なタイプの地震が発生している。

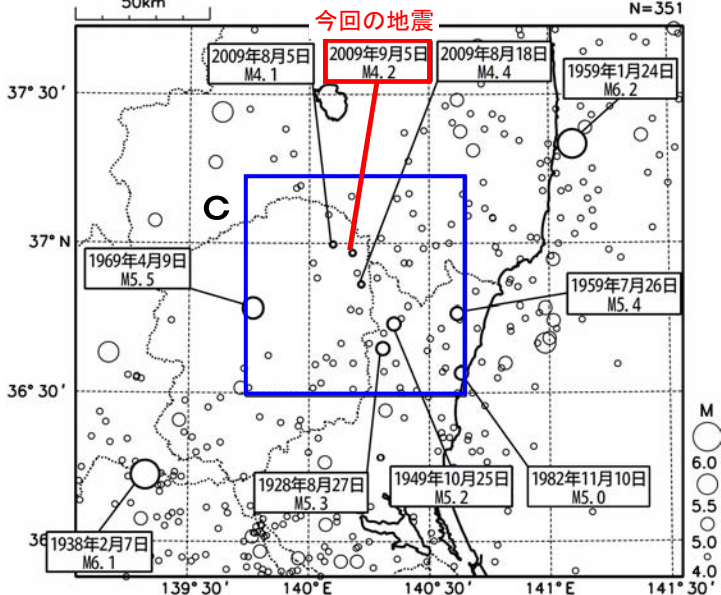
1997年10月以降の活動を見ると、今回の震源付近（領域b）では、M3～4クラスの地震が時々発生している。

1923年8月以降の活動を見ると、今回の震央周辺（領域c）において、太平洋プレート内部で発生したと考えられる地震（震源の深さが80～150km）の最大は1969年4月9日のM5.5の地震であり、この他にもM5.0程度の地震が時々発生している。

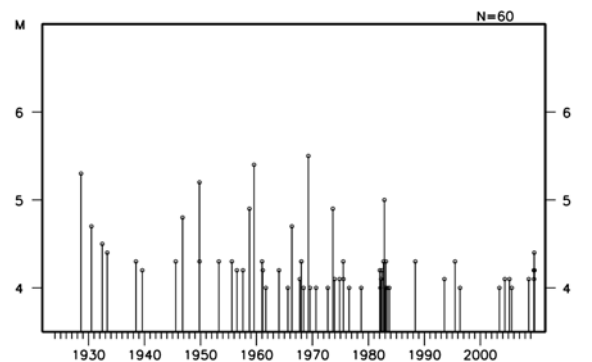
領域b内のM—T図、回数積算図



震央分布図（1923年8月1日～2009年9月30日、  
深さ80～150km、 $M \geq 4.0$ ）



領域c内のM—T図



## ○近畿・中国・四国地方の地震活動

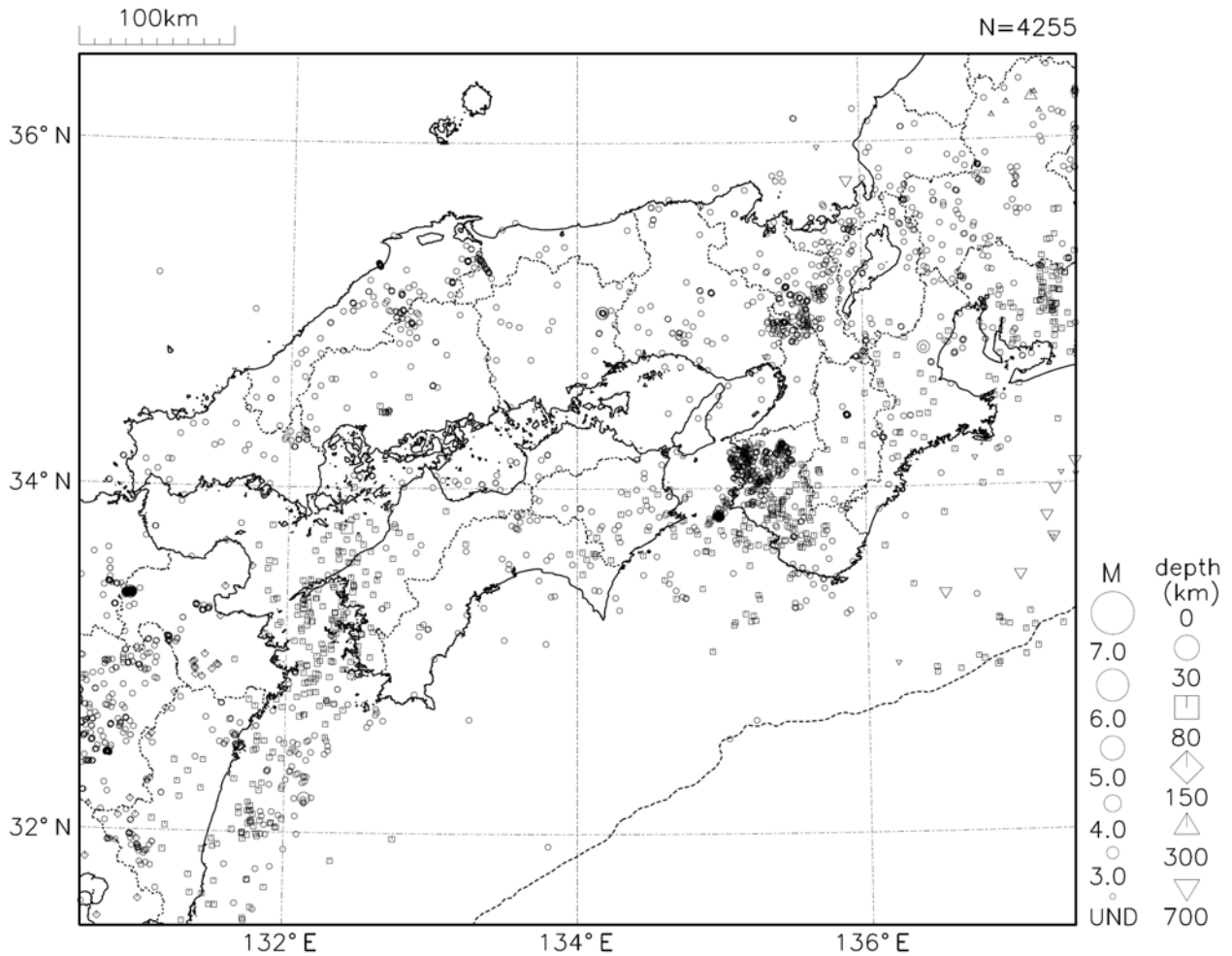


図6 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2009年9月1日～9月30日）

### [概況]

9月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は12回（8月は13回）であった。9月中の主な活動は次のとおりである。

30日02時48分（日本時間）にサモア諸島で発生した地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸でも津波を観測した（p.39～43参照）。

## ○九州地方の地震活動

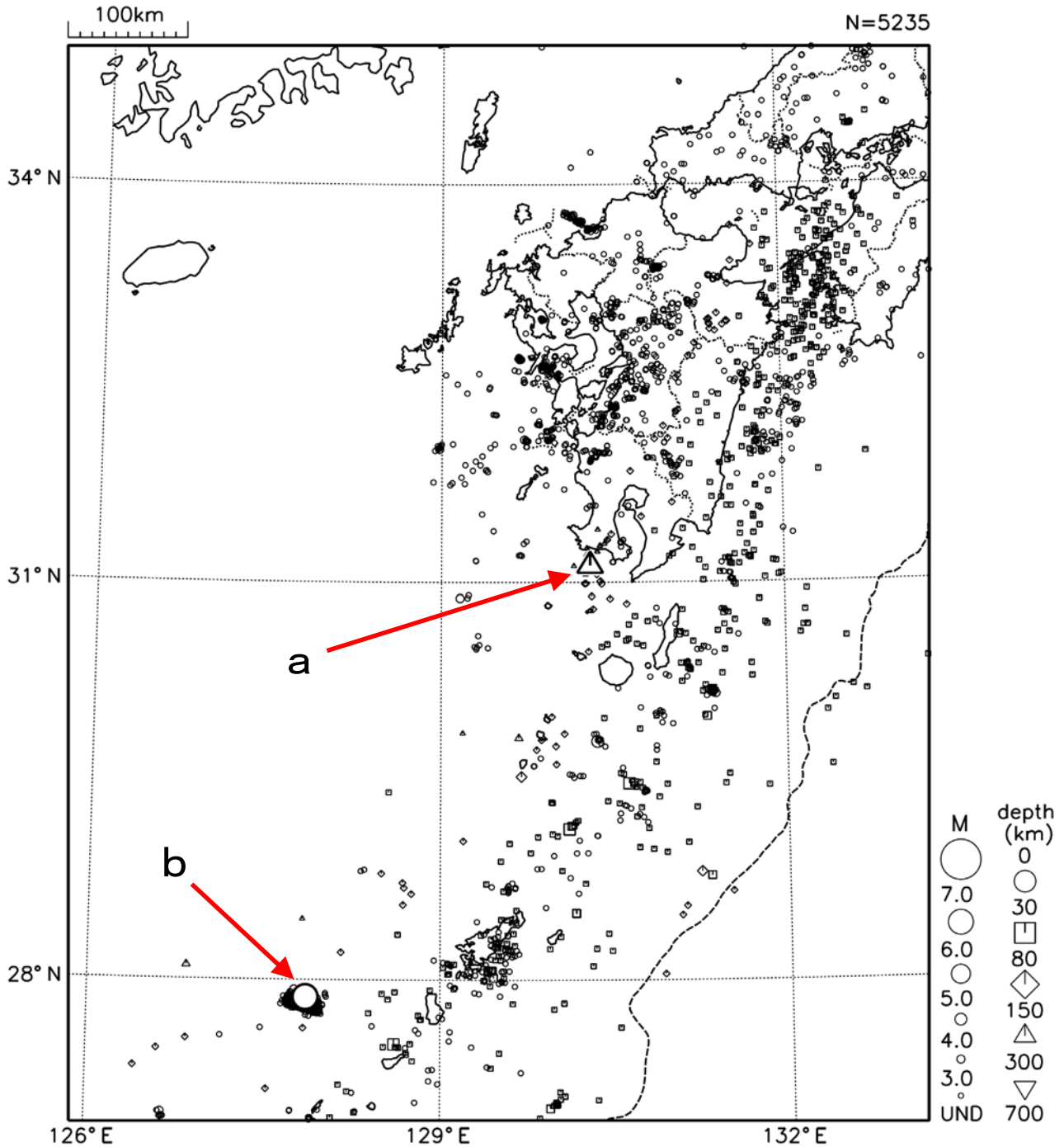


図7 九州地方の震央分布図（2009年9月1日～9月30日）

### [概況]

9月に九州地方で震度1以上を観測した地震は28回（8月は19回）であった。  
9月中の主な活動は次のとおりである。

3日 22時 26分に薩摩半島西方沖の深さ167kmでM6.0の地震（図7中のa）が発生し、宮崎県都城市で震度4を観測したほか、九州地方から東海地方の一部にかけて震度3～1を観測した（p.13参照）。

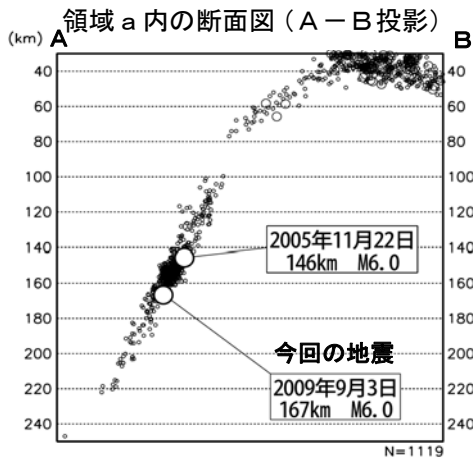
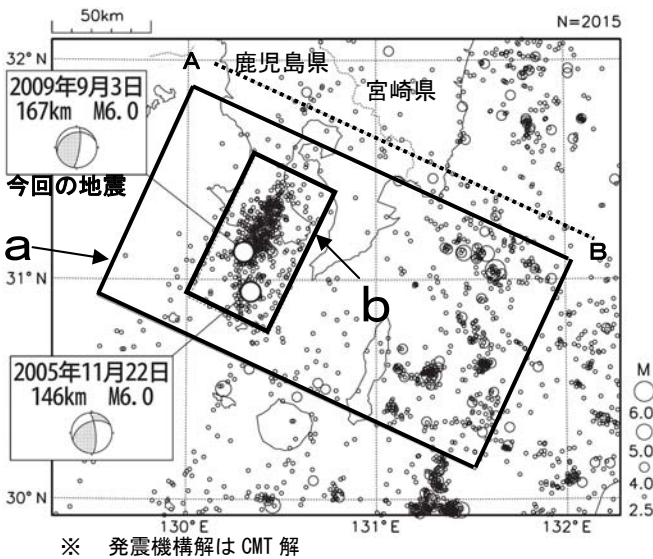
29日 04時 22分に沖縄本島北西沖でM6.1の地震（図7中のb、図8中のa）が発生し、鹿

児島県天城町で震度3を観測したほか、奄美大島から沖縄本島にかけて震度2～1を観測した（p.14参照）。

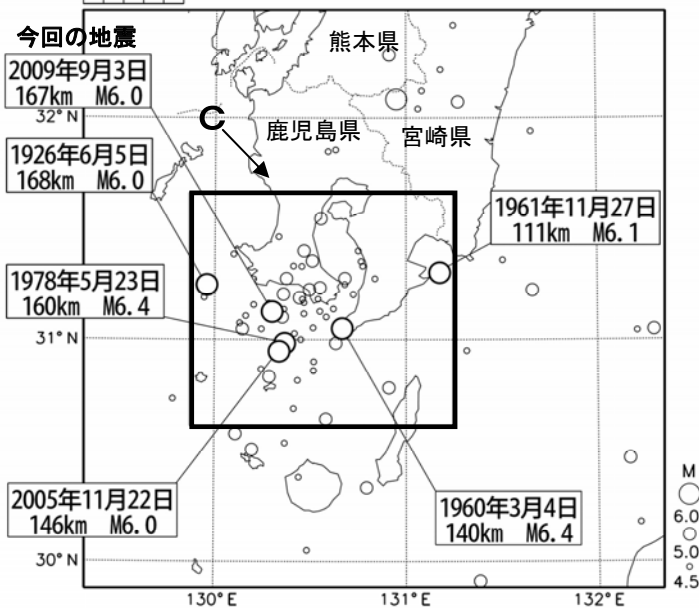
30日 02時 48分（日本時間）にサモア諸島で発生した地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸でも津波を観測した（p.39～43参照）。

## 9 月 3 日 薩摩半島西方沖の地震

震央分布図  
(1997 年 10 月 1 日～2009 年 9 月 30 日、  
深さ 30～250km、 $M \geq 2.5$ )



震央分布図 (1923 年 8 月 1 日～2009 年 9 月 30 日、  
深さ 100～250km、 $M \geq 4.5$ )



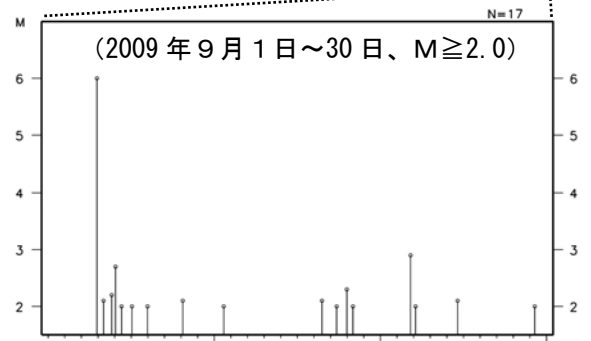
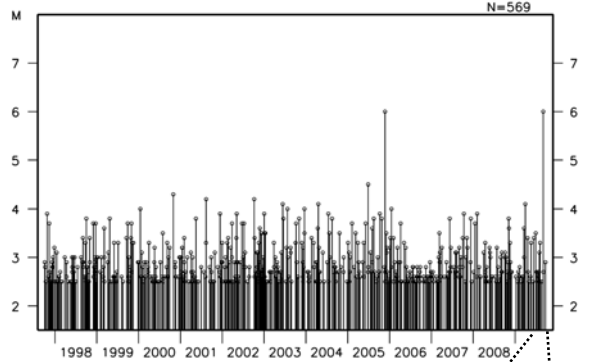
9 月 3 日 22 時 26 分に薩摩半島西方沖の深さ 167km で  $M 6.0$  の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震の発震機構 (CMT 解) は、フィリピン海プレート沈み込む方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。

余震活動は活発ではなく、震度 1 以上の地震は発生していない。

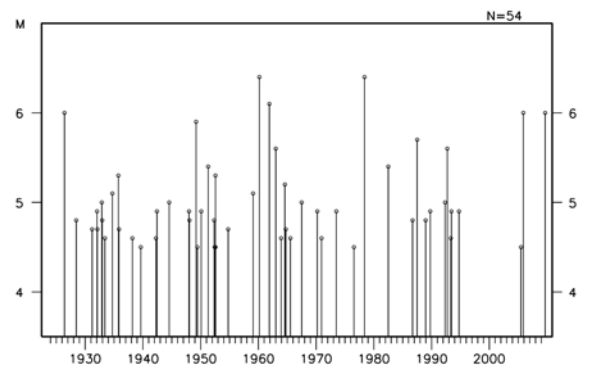
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 b) では 2005 年 11 月 22 日に  $M 6.0$  の地震 (深さ 146km、最大震度 3) が発生している。

今回の地震の震源周辺 (領域 c) の 1923 年以降の活動を見ると、 $M 6.0$  以上の地震は今回の地震を含め、6 回発生している。

領域 b 内の M-T 図  
(1997 年 10 月 1 日～2009 年 9 月 30 日、 $M \geq 2.5$ )



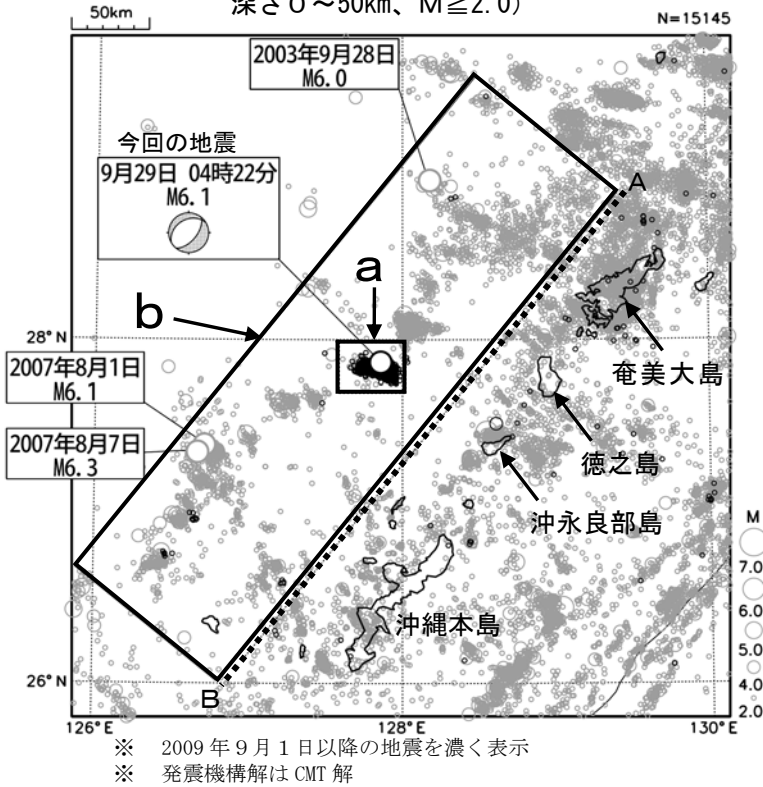
領域 c 内の M-T 図





## 9 月 29 日 沖縄本島北西沖の地震

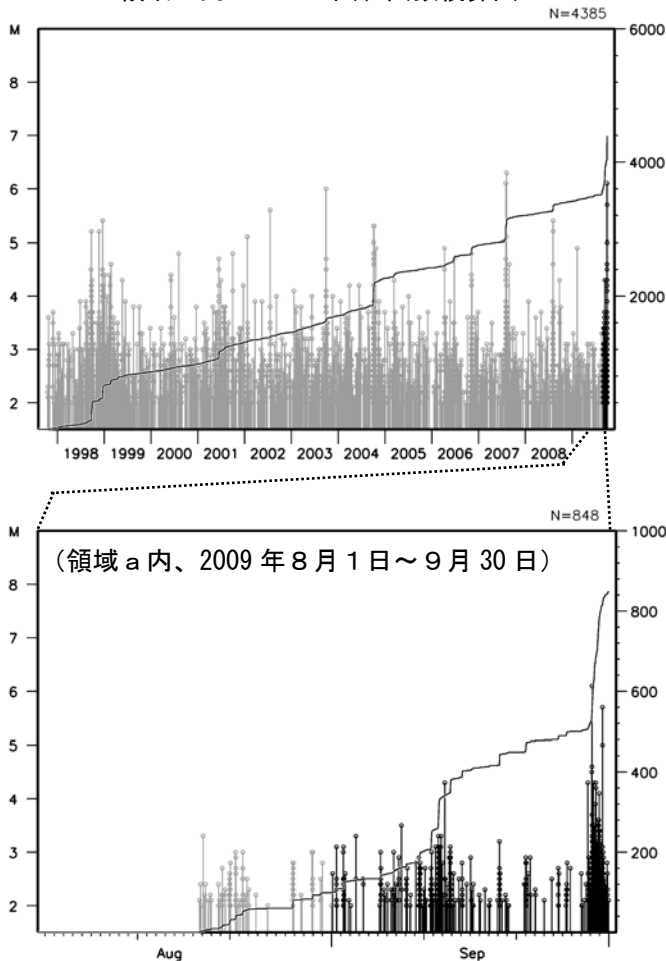
震央分布図（1997 年 10 月 1 日～2009 年 9 月 30 日、  
深さ 0～50km、 $M \geq 2.0$ ）



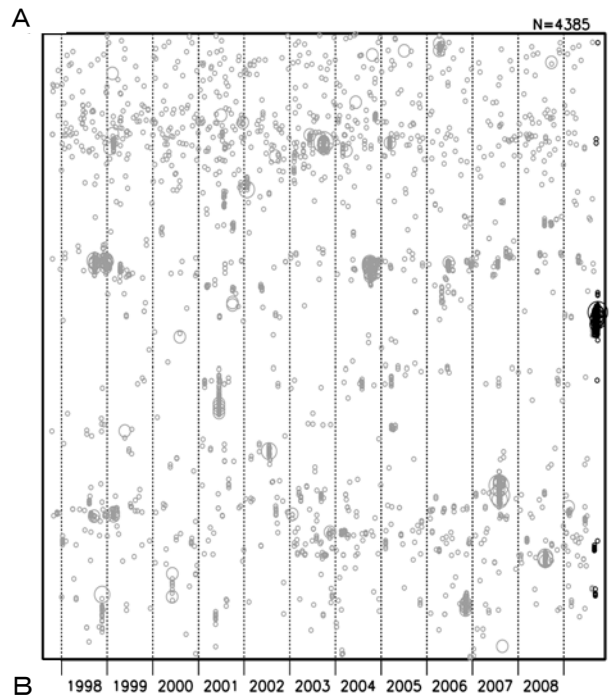
9 月 29 日 04 時 22 分に沖縄本島北西沖（沖永良部島の西北西約 100km）で  $M6.1$  の地震（最大震度 3）が発生した。この地震の発震機構解（CMT 解）は北西－南東方向に張力軸を持つ型で、沖縄トラフ拡大の方向と調和的である。今回の地震の震央付近（領域 a）では、2009 年 8 月 17 日からまとまった地震活動が続いており、 $M4.0$  以上の地震を 11 回観測している。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、沖縄トラフ沿い（領域 b）の地震活動を見ると、地震群が列をなして分布しており、 $M6.0$  以上の地震が 4 回発生している。また、1～2 年おきに地震が多発する傾向が見られる。

領域 b 内の M-T 図、回数積算図



領域 b 内の時空間分布図（A-B 投影）



## ○沖縄地方の地震活動

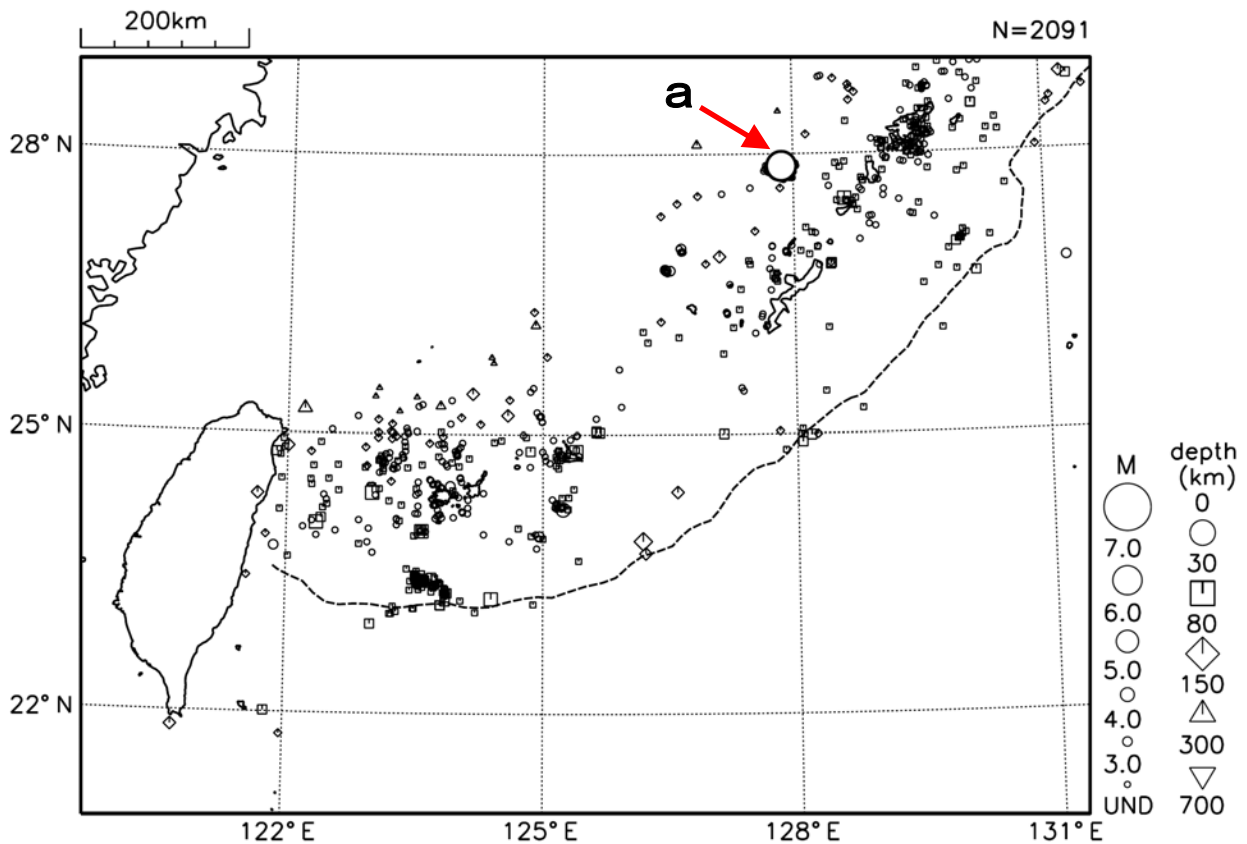


図 8 沖縄地方の震央分布図（2009 年 9 月 1 日～9 月 30 日）

### 【概況】

9 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 11 回（8 月は 12 回）であった。9 月中の主な活動は次のとおりである。

29 日 04 時 22 分に沖縄本島北西沖で M6.1 の地震（図 8 中の a、図 7 中の b）が発生し、奄美大島から沖縄本島にかけて震度 3～1 を観測した（沖縄地方の最大震度は 2）（p. 14 参照）。

30 日 02 時 48 分（日本時間）にサモア諸島で発生した地震により津波が発生し、日本の太平洋沿岸でも津波を観測した（p. 39～43 参照）。

## ●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

### [概況]

8月11日に駿河湾でマグニチュード（M）6.5の地震が発生したが、その後、余震は減少している。その他、特に目立った地震活動はなかった。

### [地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果]

9月28日に気象庁において第281回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会（定例会）を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表した（図2～図10）。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

#### 1. 地震活動の状況

8月11日に駿河湾でマグニチュード（M）6.5の地震が発生しましたが、その後、余震は減少しております。

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では地震の発生頻度が引き続き少ない状態になっています。一方、静岡県中西部の地殻内とフィリピン海プレート内、愛知県のフィリピン海プレート内では、地震活動がやや活発な状態となっています。その他の地域では概ね平常レベルです。

なお、8月30日から9月2日にかけて三重県で、また、8月31日から9月2日にかけて愛知県西部で深部低周波地震が発生しました。この付近では、本年5月から6月にかけて深部低周波地震が発生しています。

#### 2. 地殻変動の状況

8月11日に発生した駿河湾の地震（M6.5）に伴う地殻変動以降は、全般的に注目すべき特別な変化は観測されていません。

G P S 観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向はこれまでと同様に継続しています。

なお、上記の深部低周波地震活動と同期して、プレート境界付近における「短期的ゆっくり滑り」に起因すると見られる地殻変動が8月30日から31日と、9月1日から2日にかけて周辺の歪計で観測されました。「短期的ゆっくり滑り」に起因する地殻変動が観測されたのは、本年6月上旬以来です。

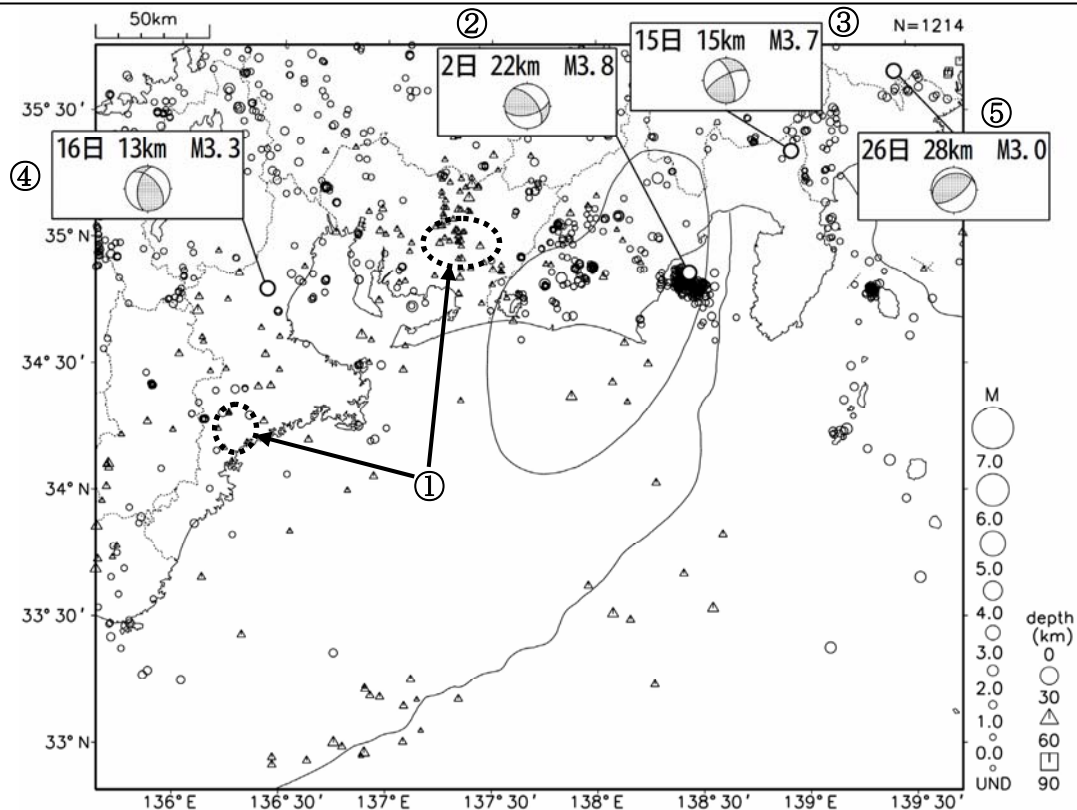


図1 震央分布図（2009年9月1日～30日：深さ0～90km、Mすべて。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。）

- ① 8月30日から9月2日にかけて三重県中部で、8月31日から9月2日にかけてと9月30日から10月7日にかけて愛知県で、深部低周波地震活動が観測された。
- ② 2日13時04分、駿河湾の深さ22kmでM3.8の地震が発生し、最大震度2を観測した。8月11日に駿河湾で発生した地震(M6.5)の余震で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。発震機構は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ型である。
- ③ 15日1時07分、静岡県東部の深さ15kmでM3.7の地震が発生し、最大震度2を観測した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。フィリピン海プレートの沈み込みに伴って発生した地震である。
- ④ 16日6時42分、三重県中部の深さ13kmでM3.3の地震が発生し、最大震度2を観測した。発震機構は西南西-東北東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。地殻内で発生した地震である。
- ⑤ 26日14時27分、東京都多摩東部の深さ28kmでM3.0の地震が発生し、最大震度1を観測した。発震機構は南南東-北北西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。フィリピン海プレートの沈み込みに伴って発生した地震である。
- 注：本文中の番号は、図1中の数字に対応する。

**〔東海地域の地震活動の頁で使われる用語〕**

・「想定震源域」(図1)と「固着域」(図2)

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」(図2)

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。図2の静岡県中西部の場合、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくり滑り(長期的スロースリップ)」(図2)

主に浜名湖周辺下のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で、2001年頃~2005年頃にかけて発生していたとされているゆっくりとした滑り。過去にも何回か同様の現象が発生していたと考えられている。

・「深部低周波地震」と「短期的ゆっくり滑り(短期的スロースリップ)」(図1, 図5~図8)

深さ約30km~40kmで発生する、長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部~日向灘にかけては帯状につながる「深部低周波地震」の震央分布が見られる。「深部低周波地震」の活動が観測されるときは、ほぼ同時に数日~1週間程度継続する「短期的ゆっくり滑り(短期的スロースリップ)」が観測されることが多い。「短期的ゆっくり滑り」は、「深部低周波地震」の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界の滑りと考えられている。「深部低周波地震」および「短期的ゆっくり滑り」の発生には、沈み込むフィリピン海プレートから解放される流体が関与していると考えられている。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和53年(1978年)12月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域」(以下、「強化地域」という。)として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成14年(2002年)4月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる166市町村(平成21年4月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード8クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度6弱以上(一部地域では震度5強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。

気象庁では、いつ発生してもおかしくない状態にある「東海地震」を予知すべく、東海地域の地震活動や地殻変動等の状況を監視している。また、これらの状況を定期的に評価するため、地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を取りまとめたコメント「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」(前頁参照)を発表している。

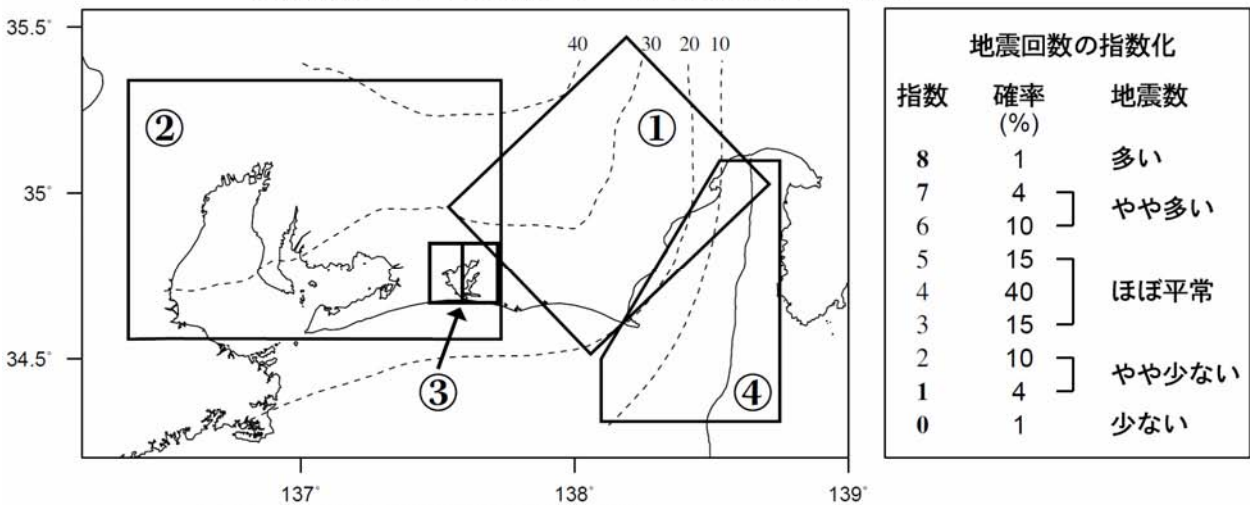
### 東海地域の地震活動指数 （クラスタを除いた地震回数による）

2009年9月23日 現在

	① 静岡県中西部		② 愛知県		③ 浜名湖周辺			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域
					全域	西側	東側	
短期活動指数	8	4	6	6	3	3	4	4
短期地震回数 （平均）	18 (6.31)	5 (5.91)	17 (13.23)	19 (14.08)	3 (5.99)	1 (2.46)	2 (3.53)	5 (6.06)
中期活動指数	8	7	5	7	1	3	1	4
中期地震回数 （平均）	39 (18.93)	25 (17.74)	45 (39.68)	56 (42.24)	5 (11.99)	3 (4.93)	2 (7.06)	12 (12.12)

- \* Mしきい値： 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：M≥1.1、駿河湾：M≥1.4
- \* クラスタ除去：震央距離が $\Delta r$ 以内、発生時間差が $\Delta t$ 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。  
静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺： $\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7$ 日  
駿河湾： $\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10$ 日
- \* 対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間  
浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間
- \* 基準期間： おおむね長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）発生前の地震活動を基準とする。  
静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、  
浜名湖周辺：1998年－2000年（3年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）

- [各領域の説明]
- ① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）
  - ② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。
  - ③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。
  - ④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。



\* プレート境界の等深線を破線で示す。

図2 東海地域の地震活動指数

中期活動指数を見ると、静岡県中西部の地殻内で活動指数が高く、静岡県中西部と愛知県のフィリピン海プレート内でやや高く、浜名湖周辺のフィリピン海プレート内でやや低い状態を示している。

## 地震活動指数の推移（中期活動指数）

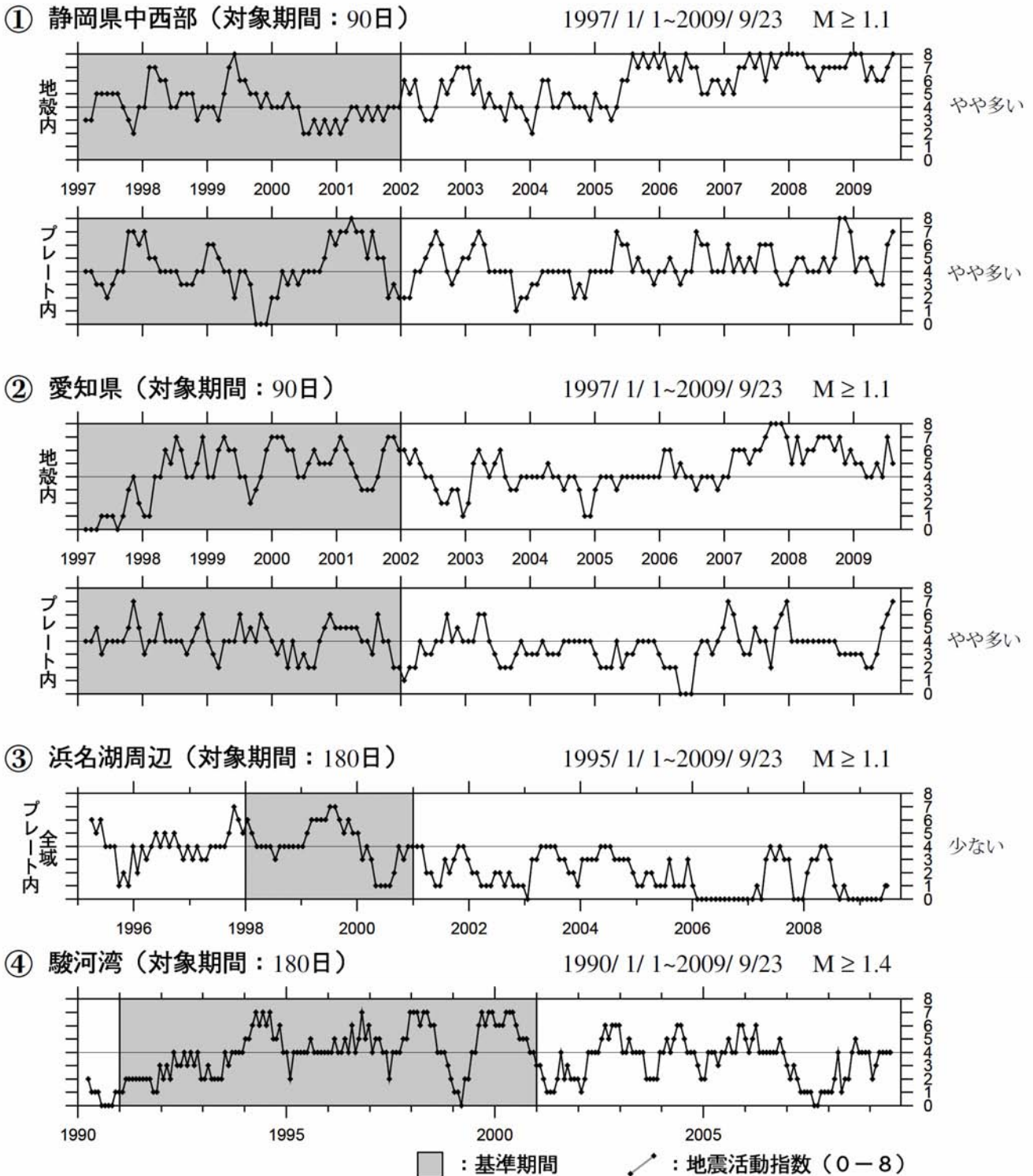


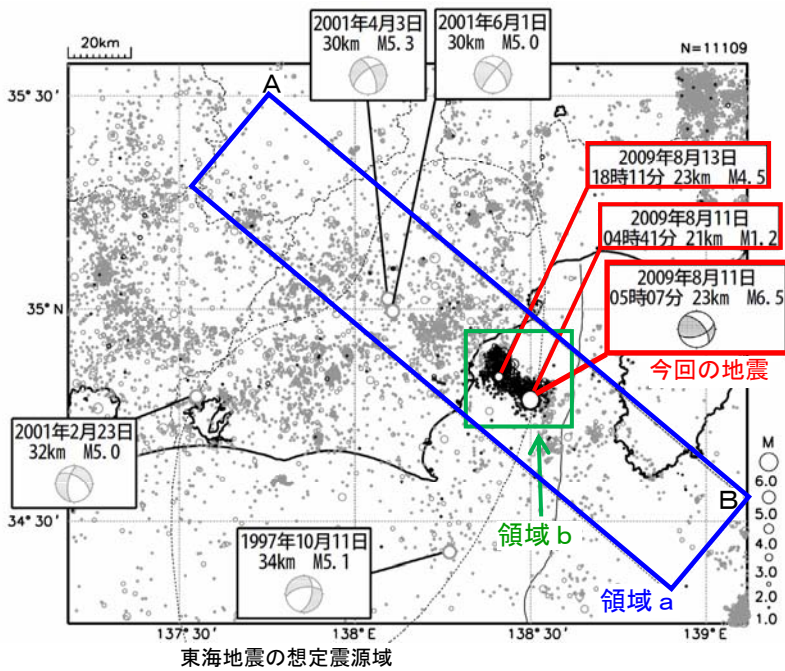
図3 東海地域の地震活動指数の推移

最近の地震活動指数を見ると、静岡県中西部の地殻内とフィリピン海プレート内、愛知県のフィリピン海プレート内では地震活動がやや活発である。浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、地震の発生頻度が少ない。その他の地域では概ね平常レベルである。

# 8月11日 駿河湾の地震(M6.5)とその余震活動

震央分布図(1997年10月1日~2009年9月23日、深さ0~60km、M $\geq$ 1.0)

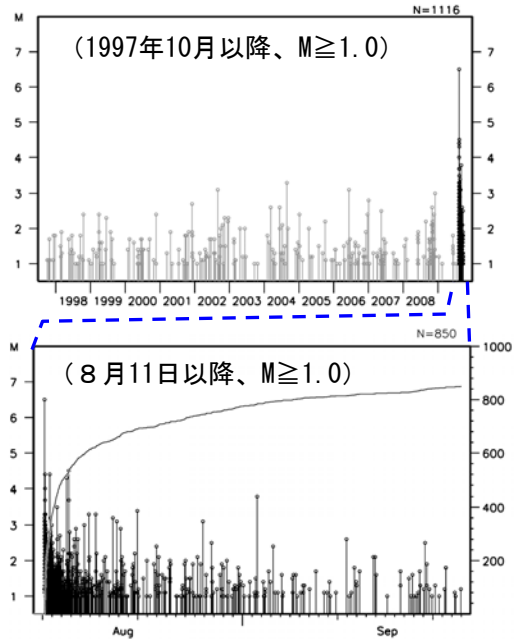
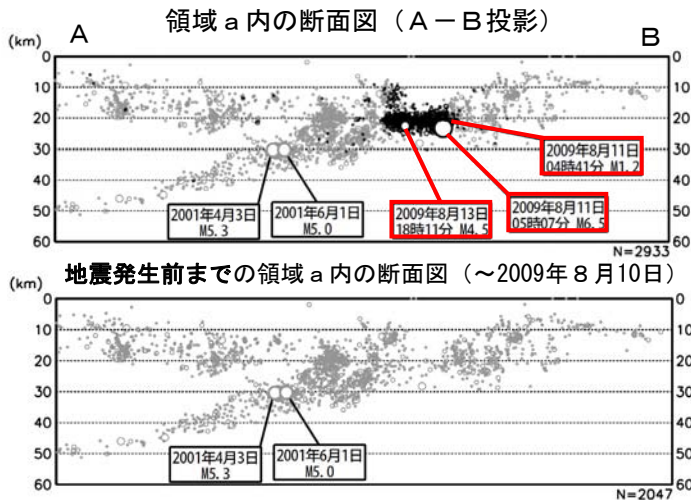
2009年8月11日以降の地震を濃く表示



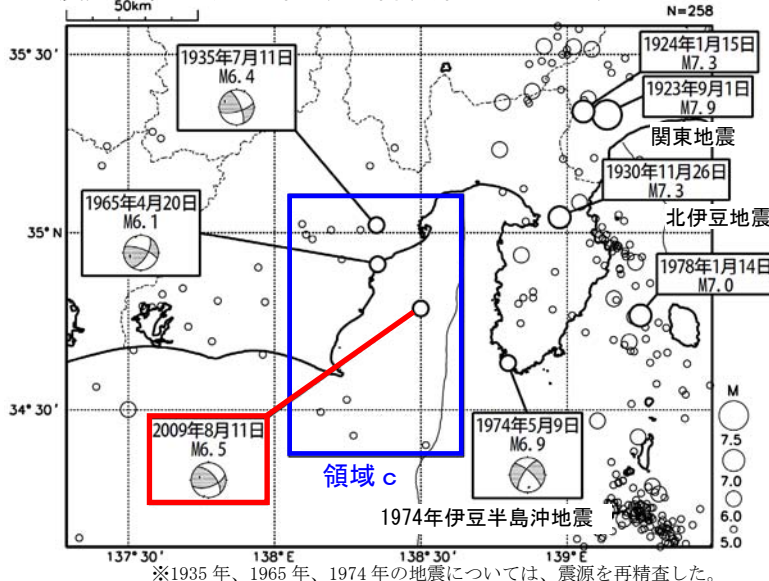
2009年8月11日05時07分に駿河湾の深さ23kmでM6.5の地震(最大震度6弱)が発生した。この地震により死者1名、負傷者319名などの被害が生じている(9月15日18時現在、総務省消防庁による)。発震機構は圧力軸が北北東-南南西方向の、横ずれ成分を持つ逆断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。余震は次第に減少している(これまでの最大は8月13日18時11分のM4.5の地震(最大震度3))。

なお、1997年10月以降、今回の震源付近(領域b)の地震活動は時々M2~3の地震が発生する程度で、周辺の地震活動に比べて比較的低調であった。

## 領域 b 内の M-T 図、回数積算図



震央分布図(1923年8月以降、深さ0~60km、M $\geq$ 5.0)



1923年8月以降、今回の震央周辺(領域c)では、1935年にM6.4の地震(静岡地震)、1965年にM6.1の地震が発生している。

## 領域 c 内の M-T 図

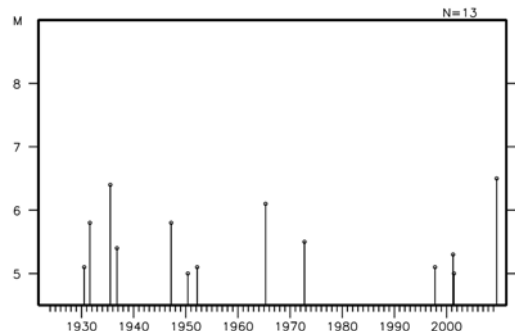
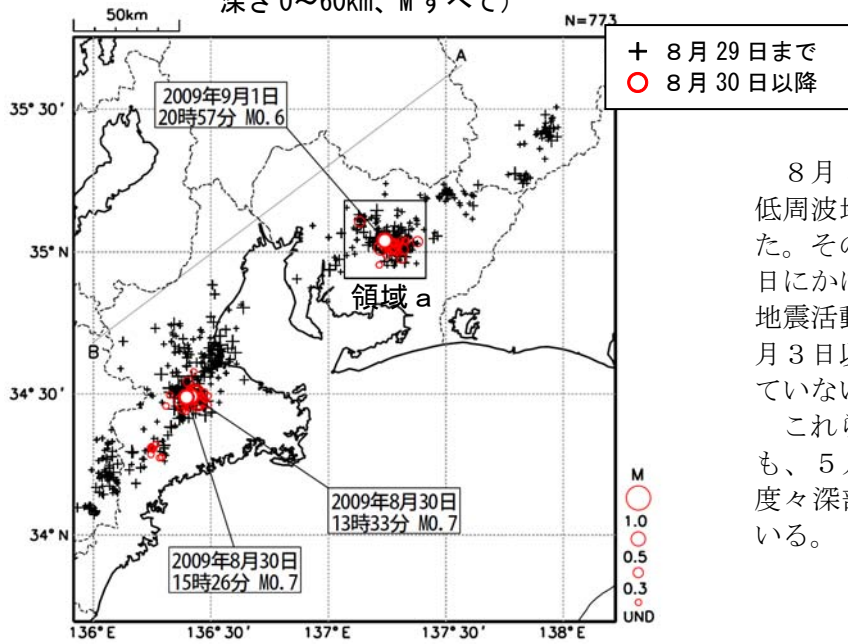


図4 8月11日に発生した駿河湾の地震(M6.5)とその余震活動

# 8 月 30 日～9 月 2 日 三重県～愛知県の深部低周波地震活動

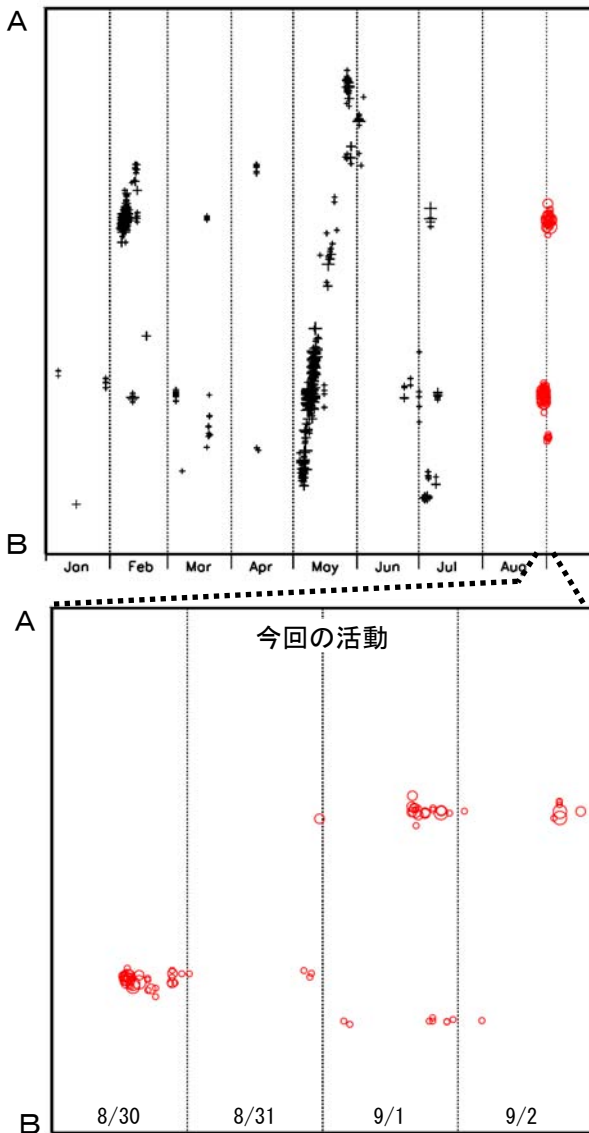
震央分布図（低周波地震のみ、2009 年 1 月 1 日～9 月 23 日、  
深さ 0～60km、M すべて）



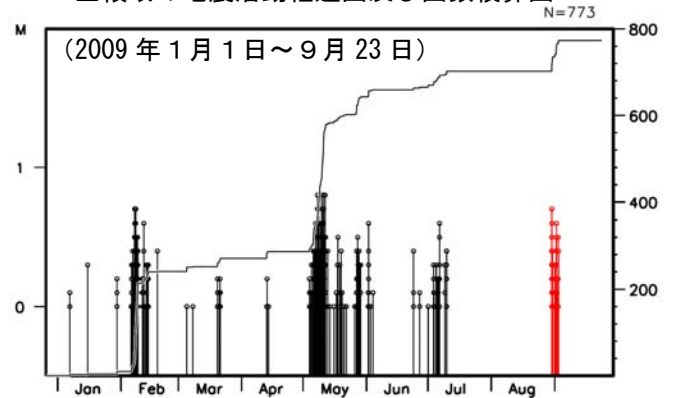
8 月 30 日昼過ぎから、三重県で深部低周波地震活動 (最大 M0.7) が観測された。その後、8 月 31 日深夜から 9 月 2 日にかけて、愛知県西部でも深部低周波地震活動 (最大 M0.6) が観測された。9 月 3 日以降は、どちらの活動も観測されていない。

これらの領域では、今年に入ってから、5 月や 6 月～7 月にかけてなど、度々深部低周波地震活動が観測されている。

時空間分布図 (2009 年 1 月 1 日～9 月 23 日、A-B 面投影)



全領域の地震活動経過図及び回数積算図



領域 a 内の地震活動経過図及び回数積算図

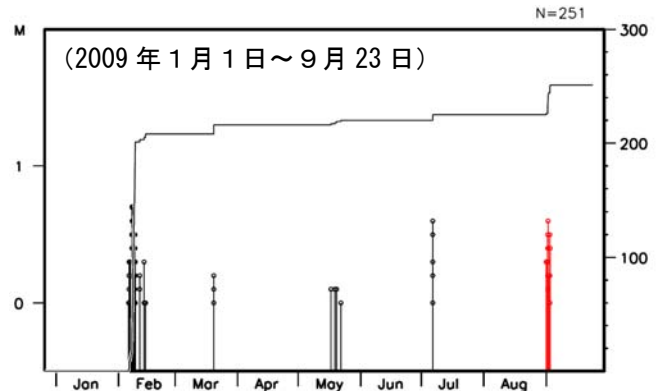


図 5 8 月 30 日から 9 月 2 日にかけて三重県および愛知県で観測された深部低周波地震活動



地殻体積歪変化

2009/08/21 --- 2009/09/07

EXP. | 5.0E-08 strain  
30 hPa  
30 mm/h  
20

- 蒲郡
- 1.578150E-09/DAY  
佐久間歪 1 (135)
- 6.165161E-09/DAY  
佐久間歪 2 (045)
- 8.988552E-09/DAY  
佐久間歪 3 (000)
- 6.804290E-09/DAY  
佐久間歪 4 (090)
- 8.808950E-09/DAY  
掛川歪 1 (177)
- 3.113455E-09/DAY  
掛川歪 2 (087)
- 8.532961E-09/DAY  
掛川歪 3 (042)
- 2.851974E-10/DAY  
掛川歪 4 (132)
- 3.885814E-09/DAY  
春野歪 1 (002)
- 3.747143E-09/DAY  
春野歪 2 (092)
- 3.684001E-09/DAY  
春野歪 3 (047)
- 1.158403E-08/DAY  
春野歪 4 (137)
- 1.351999E-08/DAY  
浜北歪 1 (004)
- 5.191862E-09/DAY  
浜北歪 2 (094)
- 5.500322E-09/DAY  
浜北歪 3 (229)
- 7.303651E-11/DAY  
浜北歪 4 (139)
- 2.028120E-09/DAY
- 天竜船明歪 (178\*5  
-2.477660E-09/DAY
- 蒲郡 気圧
- 愛知県低周波地震
- 三重県低周波地震
- 佐久間歪雨

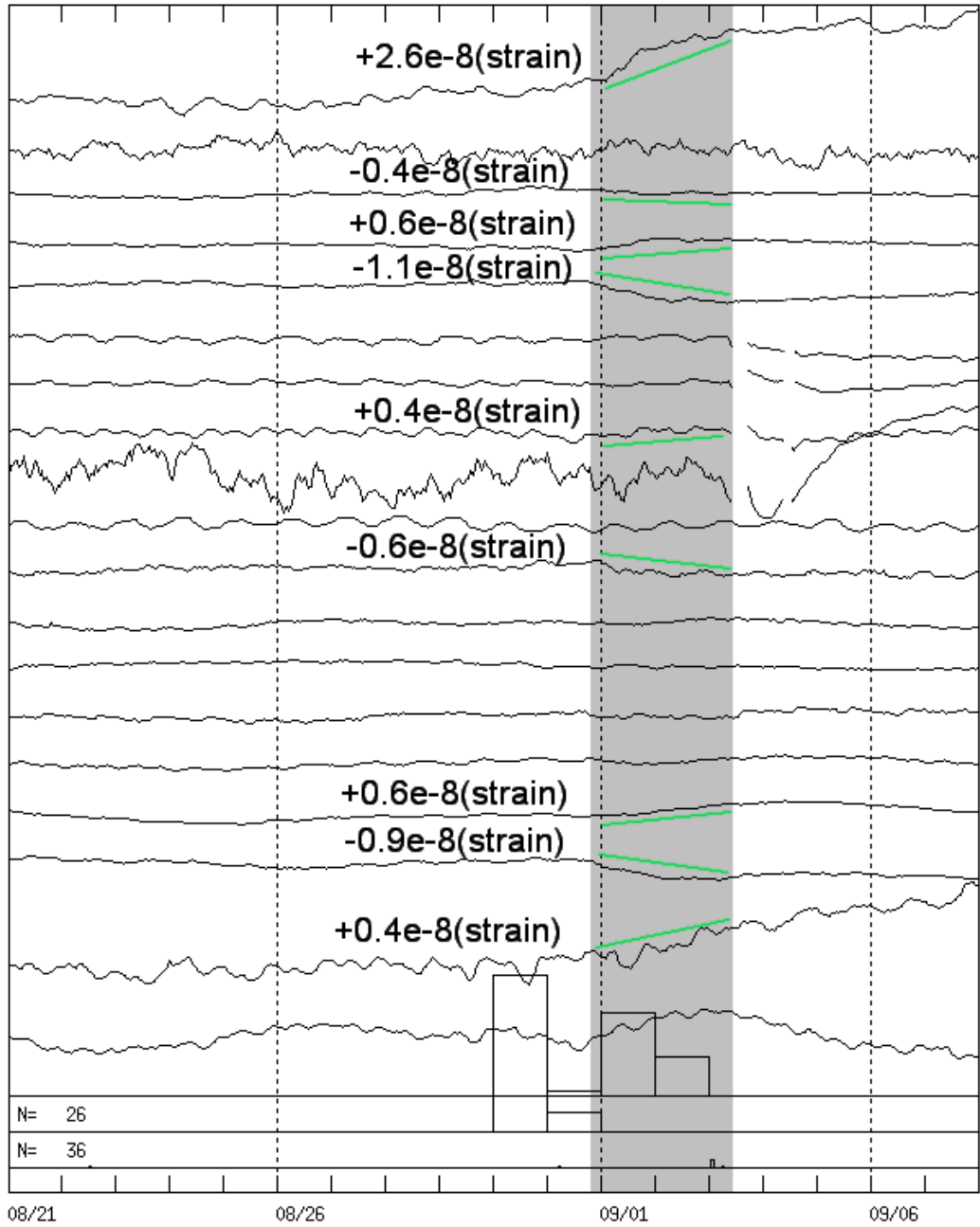


図 6 愛知県中部の深部低周波微動・地震活動に伴う歪変化

※観測データは気象庁、静岡県、気象研究所による。

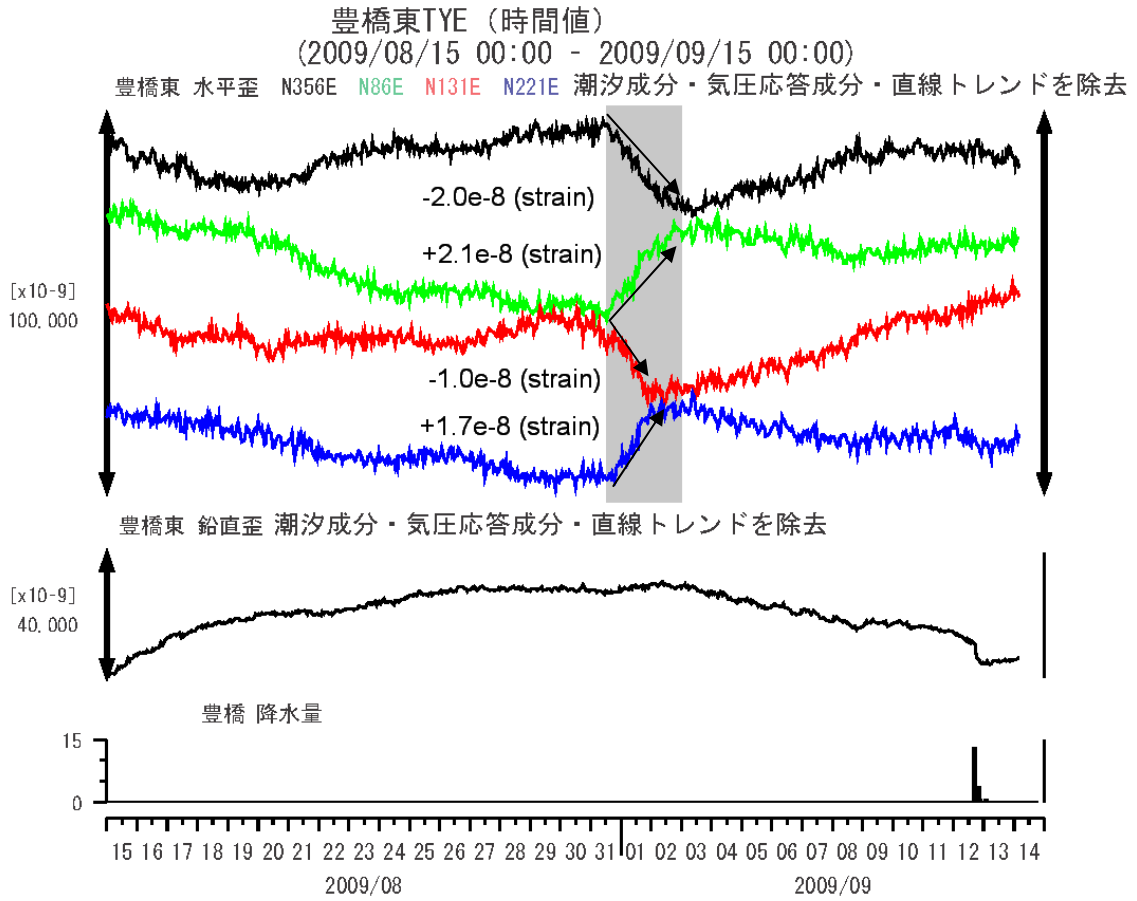
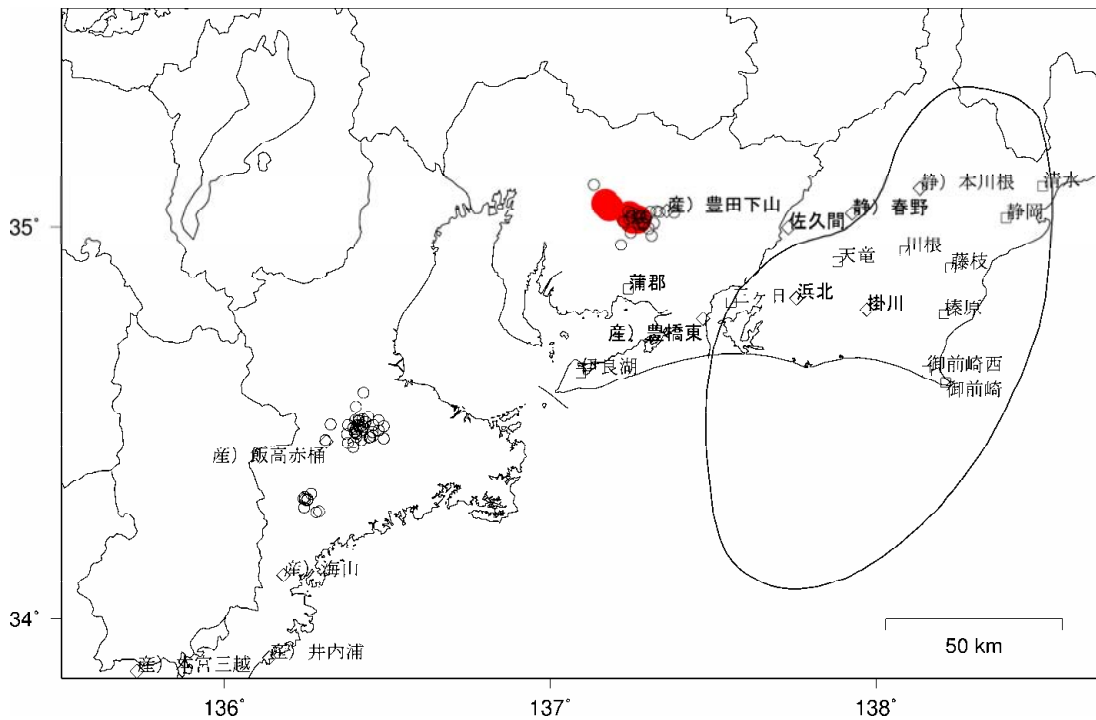


図 7 愛知県中部の深部低周波微動・地震活動に伴う歪変化

※観測データは産業総合技術研究所による。



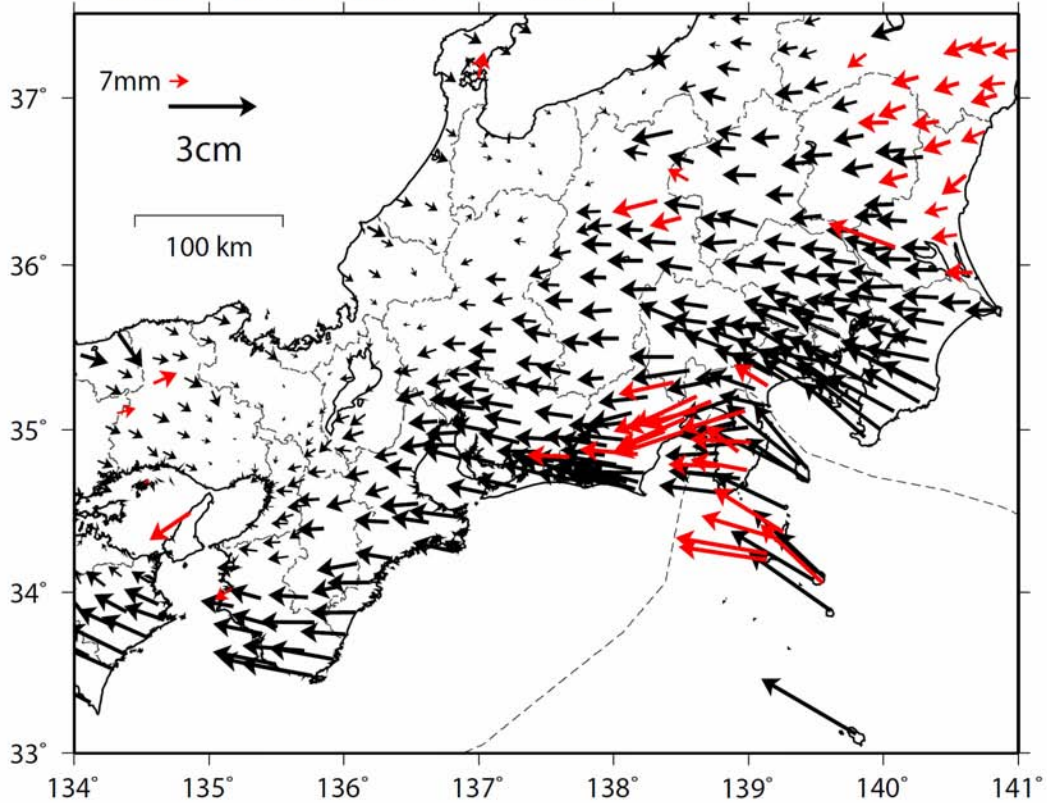
気象庁・産業技術総合研究所・気象研究所資料

図 8 歪変化から推定された短期的ゆっくりすべりの候補領域(赤；9月1～2日；Mw5.4～5.5)  
 2009年8月30日～9月2日に観測された深部低周波地震の震央を同時にプロットしている。

## 東海地方の最近の地殻変動（水平変動）【大湊固定】 （2008年8月～2009年8月）

基準期間：2008/8/20～2008/8/29 [F3：最終解]

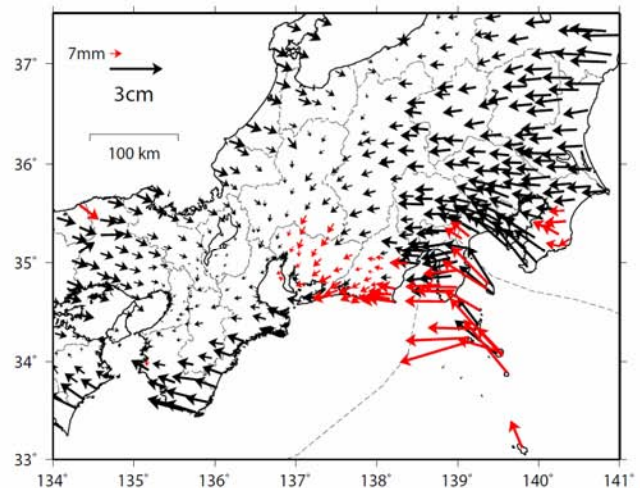
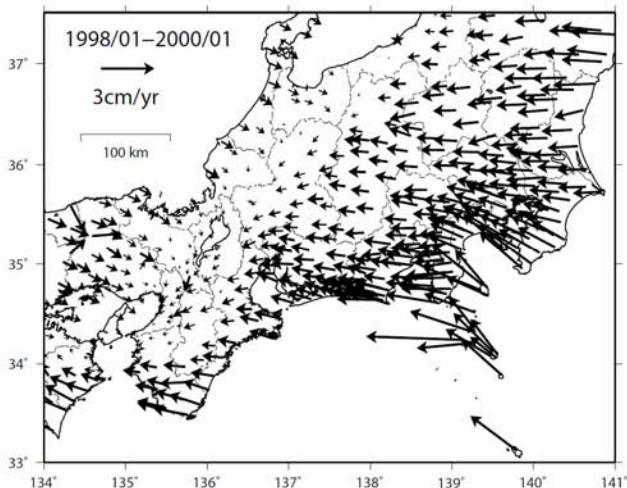
比較期間：2009/8/20～2009/8/29 [F3：最終解]



・スロースリップ開始前の変動速度ベクトル（左下図）との差の絶対値が7 mm 以上の変動ベクトルを赤矢印で表示している。

スロースリップ開始以前の地殻変動速度  
（1998年1月～2000年1月）

スロースリップ進行期の地殻変動速度  
（2001年1月～2004年1月）



国土地理院資料

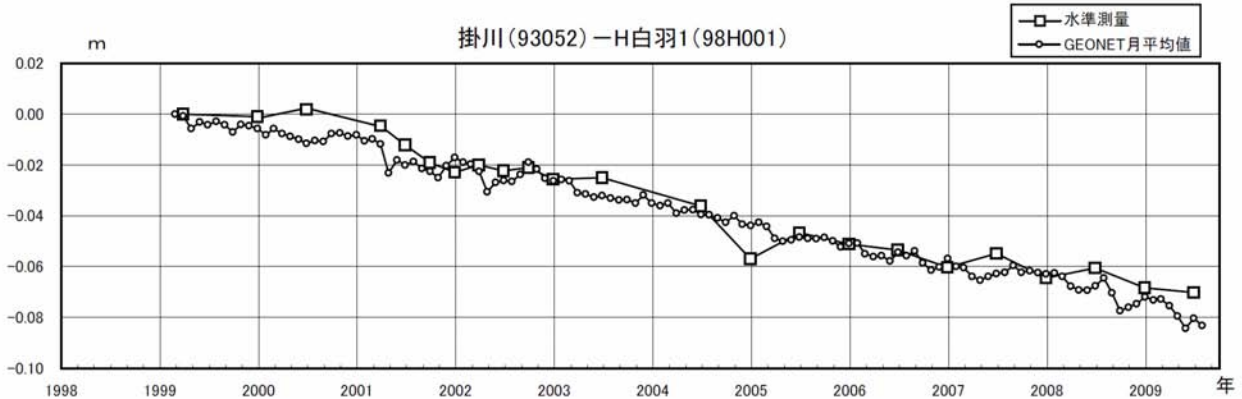
図9 国土地理院のGPS観測結果による東海地域の最近の地殻変動

上図は、最近（2009年8月20日～2009年8月29日）のGPS観測点が1年前と比べて水平方向にどの程度動いたかを示したものである（新潟県のGPS観測点大湊を固定）。長期的ゆっくり滑り（スロースリップ）開始前の変動速度ベクトルとの差の絶対値が7mm以上の変動ベクトルを、赤矢印で表示している。駿河湾周辺に見られる赤矢印は、8月11日の駿河湾の地震による影響であると考えられる。関東地方に見られる赤矢印は、2008年5月8日の茨城県沖の地震や2008年7月19日の福島県沖の地震の地震後の余効変動等の影響であると考えられる。

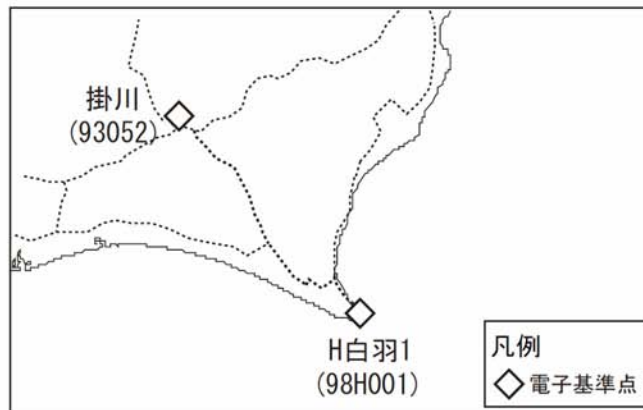
## 御前崎 電子基準点の上下変動

### 水準測量と GPS 観測の比較

水準測量と GPS 観測の結果は、よく一致している。  
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。



### 位置図



国土地理院資料

図 10 国土地理院のGPS観測結果および水準測量による御前崎の上下変動

掛川から見た御前崎(H白羽1観測点)の上下変動を示したものである。GPS観測(○)および水準測量(□)による結果は良く一致しており、掛川に対して御前崎が沈降するという長期的な傾向が継続していることがわかる。

## ●日本の主な火山活動

27 日、口永良部島に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げた。その他の火山で予報警報事項に変更はなかった。

9 月 30 日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表 1 のとおり。

表 1 9 月 30 日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル* 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	桜島
	レベル 2（火口周辺規制）	浅間山、三宅島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福徳岡ノ場
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	平常	上記以外の活火山

\*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図 1 9 月 30 日現在、噴火警報発表中の火山

表 2 平成 21 年 9 月の警報、予報及び情報の発表履歴（定期発表以外）

火山名	噴火警報及び 噴火予報の状況	発表した火山現象に関する警報・予報・情報		概 要
		種類、号数等	発表日時	
雌阿寒岳	噴火予報（噴火警戒 レベル 1、平常）	火山活動解説資料	7 日 11 時 30 分	6 日から 8 日にかけて火山性地震 が増加
樽前山	噴火予報（噴火警戒 レベル 1、平常）	火山活動解説資料	25 日 11 時 40 分	25 日 04 時 15 分頃および 06 時 07 分頃に火山性微動発生。地震、噴 煙等火山活動の状況
桜島	火口周辺警報 （噴火警戒レベル 3、入山規制）	解説情報第 60～61 号	4 日、7 日 16 時 00 分	噴火の状況、地震等火山活動の状 況
		解説情報第 62 号	11 日 16 時 00 分	9 日 23 時 31 分の噴火で火口周辺 にとどまる程度の火砕流発生
		解説情報第 63～66 号	14 日、18 日、25 日、 28 日 16 時 00 分	噴火の状況、地震等火山活動の状 況
口永良部島	火口周辺警報 （噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）	火口周辺警報	27 日 17 時 00 分	27 日、火山性地震が増加。火山活 動が高まったことから、噴火警戒 レベルを 1（平常）から 2（火口 周辺規制）に引上げ
		火山活動解説資料	27 日 19 時 25 分	地震、噴煙等火山活動の状況
		解説情報第 24 号	28 日 16 時 00 分	28 日に実施した上空からの観測結 果及び地震、噴煙等火山活動状況
		火山活動解説資料	28 日 18 時 30 分	28 日に実施した上空からの観測結 果及び地震、噴煙等火山活動状況
		解説情報第 25 号	29 日 16 時 00 分	地震、噴煙等火山活動の状況

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

## 各火山の 9 月の活動解説

### 【北海道地方】

#### <sup>め あかんだけ</sup> 雌阿寒岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

6 日から 8 日にかけて、体に感じない振幅の小さな火山性地震が増加した。6 日の地震回数は 347 回（暫定値）で、日回数が 300 回を超えたのは、2009 年 7 月 8 日（357 回）以来である。

その後、火山性地震は減少し、9 日以降少ない状態で推移している。震源は概ねポンマチネシリ火口の浅いところに分布しており、これまでと比べて特に変化はなかった。また、火山性微動は観測されなかった。

ポンマチネシリ火口からの噴煙は、火口縁上 100m 以下と低調な状態で推移した。GPS 観測では、火山活動によると考えられる変動は観測されていない。

雌阿寒岳の火山活動は落ち着いた状態となっており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

#### <sup>とかちだけ</sup> 十勝岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で経過した。

7 日から 10 日にかけて行った現地調査では、62-2 火口及びその他の火口の状況に特段の変化はなかった。

GPS 連続観測によると、62-2 火口浅部の膨張を示す局所的な地殻変動が 2006 年以降継続している。

62-2 火口周辺では今後の火山活動の推移に注意が必要である。

#### <sup>りしりざん</sup> 利尻山 [噴火予報（平常）]

17 日に北海道開発局の協力により行った上空からの観測では、噴気や地熱域<sup>1)</sup>は認められず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### <sup>たるまへさん</sup> 樽前山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

2 日、遠望カメラで A 火口の西側にこれまで認められていない噴気が確認された。同日午後に行った現地調査で、ドーム南東亀裂の東縁及び亀裂の延長上（A 火口の西側付近）に新たな噴気孔を確認した。なお、その他の火口の状況には変化はなく、噴煙活動は低調に経過した。

25 日 06 時 07 分頃に、継続時間が約 90 秒の振幅のやや大きな火山性微動が発生した。このほか、04

時 15 分頃にも、振幅の小さな火山性微動が発生した（火山性微動の発生は 2009 年 7 月 2 日以来）。微動発生前後において、噴煙の状況やその他の観測データにも特段の変化は認められなかった。火山性地震は少ない状態で経過した。

A 火口及び B 噴気孔群では高温の状態が続き、また、山頂溶岩ドーム付近の局所的な膨張を示す地殻変動が 2006 年以降継続している。

地震活動や噴煙活動は低調な状態であるが、今後の火山活動の推移に注意する必要がある。

#### <sup>くつたら</sup> 倶多楽 [噴火予報（平常）]

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

なお、登別市によると大正地獄では引き続きごく小規模な泥混じりの熱湯噴出が時々見られている。

#### <sup>うすざん</sup> 有珠山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に異常な変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### <sup>ほっかいどうこまがたけ</sup> 北海道駒ヶ岳

##### [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### <sup>えきざん</sup> 恵山 [噴火予報（平常）]

地震活動は概ね低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

### 【東北地方】

#### <sup>いわきざん</sup> 岩木山 [噴火予報（平常）]

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### <sup>いわてざん</sup> 岩手山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### <sup>あきたこまがたけ</sup> 秋田駒ヶ岳 [噴火予報（平常）]

3 日に岩手県の協力により実施した上空からの観測及び 7 日から 8 日にかけて実施した現地調査では、8 月 28 日に確認された女岳東北東斜面<sup>めだけ</sup>の植生の枯死域の状況に特段の変化は認めら

1) 赤外線熱映像装置または赤外線放射温度計による測定。これらは物体が放射する赤外線を感知して温度分布等を測定する測器である。熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

れず、赤外熱映像装置による地表面温度分布<sup>1)</sup>も、枯死域およびその上部斜面の地熱の高まりに変化は認められなかった。

火山性地震は少ない状態で推移している。

秋田駒ヶ岳では、ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、今後の火山活動の推移に注意する必要がある。

**栗駒山** **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**吾妻山** **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

大穴火口の噴気活動は、9 月以降は高さが 50 m 以下と、概ね低調な状態になっている。15 日に実施した現地調査では、大穴火口やその周辺の地表面温度分布<sup>1)</sup>に変化は認められなかった。

地震活動、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

火口内では噴気、火山ガスの噴出等が見られるので警戒が必要である。

**安達太良山** **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**磐梯山** **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**【関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島】**

**那須岳** **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす

噴火の兆候はみられない。

**草津白根山**

**【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

9 日から 10 日にかけて実施した現地調査及び、14 日に群馬県の協力により実施した上空からの観測では、北側噴気地帯及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で、引き続き明瞭な噴気を確認したが、前回（2009 年 6 月 3 日）と比べて、噴気の勢いや、地表面温度分布<sup>1)</sup>に特段の変化はなかった。また、東京工業大学の観測によると、湯釜火口内北東部の噴気孔周辺の地中温度は、高温の状態が継続している。

12 日 01 時から 02 時にかけて、湯釜火口直下を震源とする火山性地震が 9 回発生し、振幅の小さな火山性微動が発生した。その他の時間は、地震活動は静穏に経過し、地殻変動にも特段の変化は認められなかった。

山頂火口から概ね 500m の範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要である。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺の窪地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留する事があるため注意が必要である。

**浅間山**

**【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】**

山頂火口からの噴煙量は 4 月以降大きな変化はなく、噴煙高度は火口縁上 100～300m で推移した。

14 日に群馬県の協力により実施した上空からの観測では、山頂火口内の火口底中央部及びその周辺に引き続き高温領域が認められ、前回（4 月 22 日）と比べて、地表面温度分布<sup>1)</sup>に大きな変化はなかった。また、火口周辺に新たな噴出物は認められなかった。

8 日に実施した現地調査では、山頂からの二酸化硫黄放出量<sup>2)</sup>は、一日あたり 1,400～1,700 トンと、2 月の噴火以降減少しているが、2008 年 7

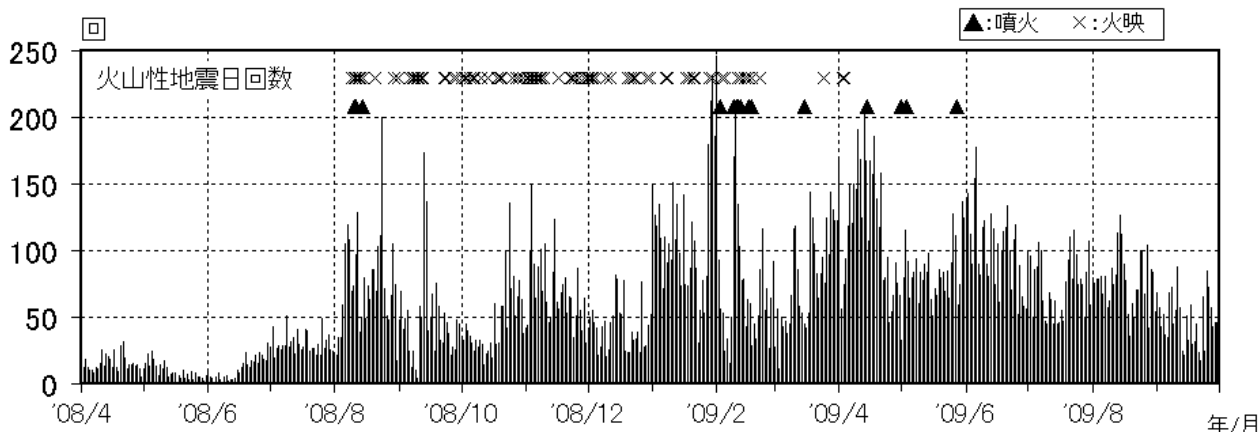


図 2 浅間山 火山性地震の日回数（2008 年 4 月 1 日～2009 年 9 月 30 日）

2) 小型紫外線スペクトロメータシステム (COMPASS) による。COMPASS は、紫外線のある波長帯の二酸化硫黄の吸収を利用して、二酸化硫黄濃度を測定する。



月以前の状態と比べて多い状態が続いている。

火山性地震及び火山性微動はやや多い状態が続いている。

山体周辺の GPS 連続観測では、2008 年 7 月初め頃からみられていた深部へのマグマの注入を示す伸びの傾向は、7 月頃から鈍化している。

浅間山では、今後も山頂火口から概ね 2 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、大きな噴石<sup>3)</sup>に警戒が必要である。また、風下側では、降灰および風の影響を受ける小さな噴石<sup>3)</sup>に注意が必要である。また、火山ガス放出量の多い状態が続いているので、風下側にあたる登山道等では、火山ガスに注意が必要である。

#### にいがたやけやま **新潟焼山** [噴火予報（平常）]

地震活動は低調な状態で、新潟県土木部砂防課の焼山温泉監視カメラでは噴煙活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### おんたけさん **御嶽山** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴気活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### はくきん **白山** [噴火予報（平常）]

地震活動は低調な状態で、国土交通省金沢河川国道事務所の土砂災害監視用カメラでは山頂部に噴気は認められず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### ふじさん **富士山** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

国土地理院の観測によると、山体周辺の GPS による地殻変動観測で、2008 年 8 月頃から地下深部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びの変化が認められる。地震活動は低調な状態で、その他の観測データで浅部の異常を示す変化はなく、噴火の兆候はみられない。

#### はこねやま **箱根山** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動は低調な状態で、環境省インターネット自然研究所の箱根・大涌谷カメラでは、大涌谷の噴気活動に特段の変化はなく、その他の観測データにも特段の変化はなかった。

箱根山では引き続き火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### いづとうぶかざんぐん **伊豆東部火山群** [噴火予報（平常）]

地震活動は低調な状態で、噴煙等の表面現象は認められず、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

#### いづおおしま **伊豆大島** [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

25 日に行った現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺に引き続き弱い噴気が認められた。三原山山頂火口内の中央火孔の温度や地表面温度分布<sup>1)</sup>は前回（2009 年 8 月 27 日）の観測と比べて特段の変化はなかった。

6 日から 8 日にかけて、島北部を震源とする地震が一時的に増加した。その後、地震活動は落ち着いた状態で経過している。

GPS、光波距離計<sup>4)</sup>による連続観測では、地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な島全体の膨張傾向が継続している。短期的には 2008 年夏からの伸びの変化が 1 月頃からほぼ停滞している。今後の活動に注意する必要があるが、現在は静穏な状況で、三原山山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

#### みやけじま **三宅島**

##### [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

噴煙高度は火口縁上概ね 200m で推移した。

三宅島の火山ガス濃度観測によると、山麓で時々高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

地磁気連続観測<sup>5)</sup>では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はなかった。

GPS 連続観測では、山体浅部の収縮がわずかながら継続している。

三宅島では、山頂火口周辺（雄山環状線内側）に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、山頂火口周辺では噴火に対する警戒が必要である。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要である。降雨時には土石流にも注意が必要である。

#### はちじょうじま **八丈島** [噴火予報（平常）]

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

3) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、それより小さく風の影響を受ける噴石は、例えば「風の影響を受ける小さな噴石」という表現を用いる。

4) レーザーなどを用いて山体に設置した反射鏡までの距離を測定する機器。山体の膨張や収縮による距離の変化を観測している。

5) プロトン磁力計による観測。火山は磁石のように磁気を帯びている。地下で温度上昇があると、熱源の北側で全磁力値が増加し、南側で減少がみられる。

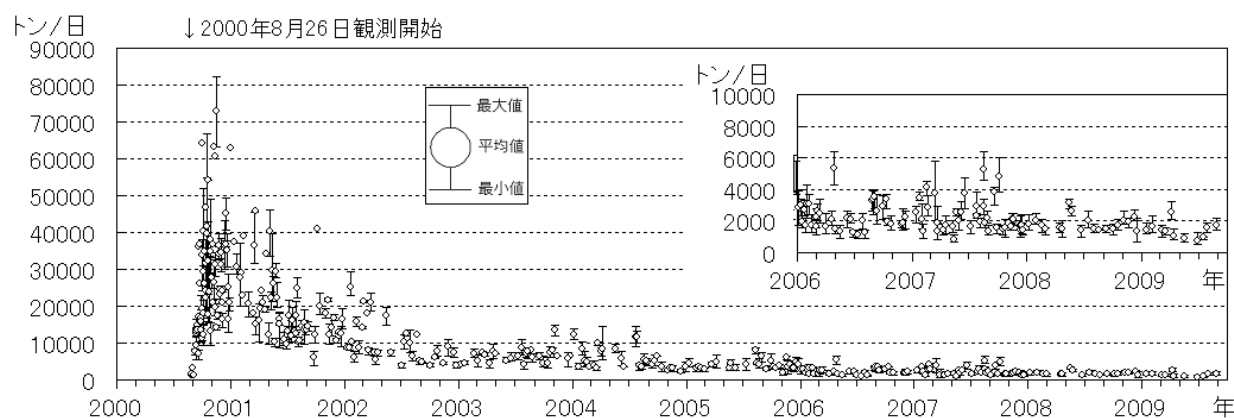


図3 三宅島 二酸化硫黄の放出量<sup>6)</sup>の推移(2000年8月～2009年9月)  
海上保安庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、東京消防庁及び警視庁の協力を得て観測を実施。

### 硫黄島 **【火口周辺警報(火口周辺危険)】**

独立行政法人防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過している。

国土地理院の観測によると、2006年8月以降見られている島全体が隆起する地殻変動は、2009年5月中旬頃から隆起の傾向が鈍化している。

硫黄島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要である。

### 福德岡ノ場 **【噴火警報(周辺海域警戒)及び火山現象に関する海上警報】**

28日に海上自衛隊による上空からの観測では、福德岡ノ場付近の海面に変色水等は確認されなかった。なお、これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊による上空からの観測で、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されている。

福德岡ノ場では引き続き小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要である。

## 【九州地方及び南西諸島】

### 九重山 **【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

### 阿蘇山 **【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】**

夜間に行った現地調査で、南側火口壁の噴気孔において火炎現象<sup>7)</sup>及び赤熱現象を観測した。いずれも火口内で発生した局所的な活動と考えら

れる。

二酸化硫黄の放出量<sup>2)</sup>は一日あたり400トンで前期間(2009年8月、一日あたり400トン)と同様、少ない状態で経過した。

中岳第一火口の湯だまりの量及び表面温度は前期間(2009年8月)と比べて大きな変化はなかった。

地磁気連続観測<sup>5)</sup>による火山体内部の熱の状況では、2006年夏頃から、中岳第一火口北側に近い観測点で全磁力のわずかな増加がみられていたが、2009年から、熱活動の高まりを示す傾向は認められなくなった。

その他の火山活動にも特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられないが、火口付近では火山ガスに対する注意が必要である。

### 雲仙岳 **【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

### 霧島山(新燃岳)

#### 【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

火口内及び火口外西側斜面では引き続き噴気がみられており、火口内に影響する程度の噴出現象が発生する可能性があるため、火山灰の噴出等に警戒が必要である。

### 霧島山(御鉢)

#### 【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変

6) 三宅島では、2005年4月までは紫外線相関スペクトロメータ(COSPEC)、同年5月以降は小型紫外線スペクトロメータシステム(COMPUSS)を用いて観測した二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の放出量の推移を示している。

7) 熱せられた噴出物が炎のように見える現象。

動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

**桜島**

**【火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）】**

昭和火口では、6月下旬から噴火活動のやや高まった状態が続いており、9月は噴火<sup>8)</sup>が82回発生した。そのうち55回が爆発的噴火<sup>9)</sup>で、大きな噴石<sup>3)</sup>が最大で4合目（昭和火口から800～1,300m）まで達した。9日23時31分の噴火では、火砕流が火口周辺にとどまる程度（昭和火口の東側約300mの範囲）に流下した。また、同火口では、夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映が、時々観測された。

南岳山頂火口では、28日にごく小規模な噴火が発生した。

16日、18日及び24日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量<sup>2)</sup>は、一日あたり2,500トン程度と多い状態であった。

国土地理院によるGPS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が継続しているが、桜島直下にマグマが新たに移動したことを示す地殻変動は観測されていない。

桜島の噴火活動は、2006年6月の噴火以降、次第に活発化している傾向がみられるため、今後の火山活動の推移に注意する必要がある。

桜島の昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。風下側では降灰及び小さな噴石<sup>3)</sup>（火山れき<sup>10)</sup>）に注意が必要である。降雨時には土石流に注意が必要である。

**薩摩硫黄島**

**【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】**

火山性地震はやや多い状態が続いている。硫黄岳山頂火口の噴煙活動は高い状態が続き、噴煙の高さは火口縁上100～200mで推移した。

薩摩硫黄島では、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要である。また、風下側では降灰及び小さな噴石<sup>3)</sup>にも注意が必要である。

**口永良部島**

**【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】**

**27日に噴火警戒レベル 1（平常）から引上げ。**

27日に火山性地震が増加したことから、火山活動が高まったと判断し、火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げた。

28日に気象庁機動調査班（JMA-MOT）が第十管区海上保安本部の協力を得て、京都大学と合同で実施した上空からの観測では、新岳火口及びその周辺の形状や地表面温度分布に特段の変化はなく、従来から見られている新岳火口からの噴煙が引き続き認められた。火山性地震は29日以降次第に減少している。

GPSによる地殻変動観測で、2008年9月以降続いていた新岳火口浅部の膨張を示す変化が2009年2月頃から鈍化し、6月以降は認められなくなり、その後変化はない。

口永良部島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口から1km程度の範囲では大きな噴石<sup>3)</sup>に警戒が必要である。風下側では降灰及び小さな噴石<sup>3)</sup>にも注意が必要である。

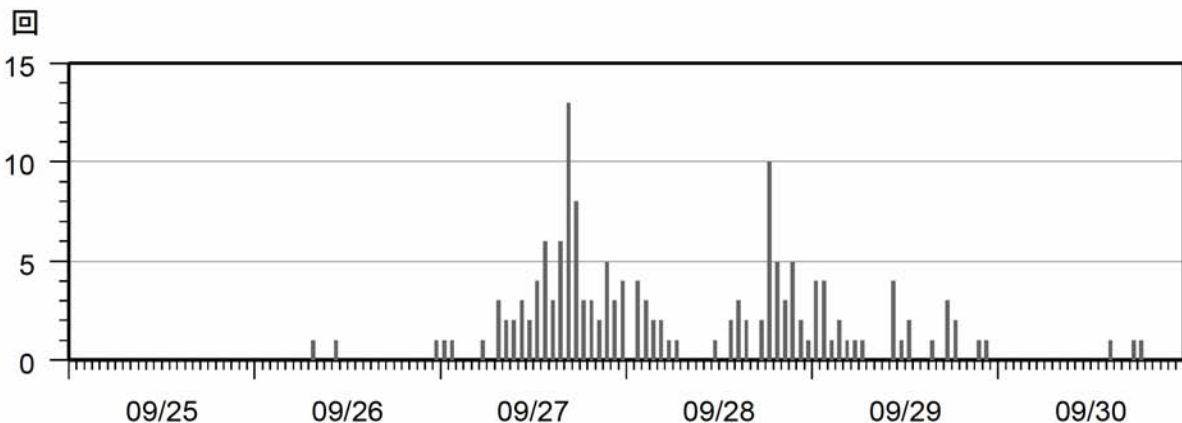


図4 口永良部島 火山性地震の時間別回数（2009年9月25日～2009年9月30日）

8) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的噴火もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが1,000m以上）の噴火の回数を計数している。基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火としている。  
 9) 桜島では、爆発地震を伴い、爆発音、体感空振、噴石の火口外への飛散、または気象台や島内の空振計で一定基準以上の空振のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としている。  
 10) 桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。

すわのせしま  
諏訪之瀬島

**【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】**

御岳火口では、小規模な噴火が断続的に発生し、そのうち爆発的噴火<sup>11)</sup>が 13 回発生した。

諏訪之瀬島では長期にわたり噴火を繰り返している。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返し

ながらやや多い状態が続いている。

諏訪之瀬島では、御岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では大きな噴石<sup>3)</sup>に警戒が必要である。また、風下側では降灰及び小さな噴石<sup>3)</sup>にも注意が必要である。

---

11) 諏訪之瀬島では、爆発地震を伴い、島内の空振計で一定基準以上の空振を観測した場合に爆発的噴火としている。

## 資料 1 全国の主な活火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ

## (1) 主な活火山

噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況 (平成 21 年 9 月 30 日現在)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 9 月 29 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 10 月 17 日 噴火予報（平常） 2008 年 11 月 17 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 12 月 16 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 12 月 16 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 6 月 9 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）切替
	浅間山	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008 年 8 月 8 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 4 月 7 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	白山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	三宅島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 3 月 31 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険）
福岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007 年 12 月 1 日 噴火警報（周辺海域警戒）	

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況 (平成 21 年 9 月 30 日現在)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	霧島山 (新燃岳)	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008 年 8 月 22 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 10 月 29 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	桜島	火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2008 年 2 月 20 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 4 月 8 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2008 年 7 月 14 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 7 月 28 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2008 年 8 月 28 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 2 月 2 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 2 月 19 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 3 月 2 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 3 月 10 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2009 年 4 月 24 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 7 月 19 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 1 月 25 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008 年 9 月 4 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 10 月 27 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 3 月 18 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 8 月 4 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009 年 9 月 27 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）

## (2) その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない。（平成 21 年 9 月 30 日現在）

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、婿婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

## ●世界の主な地震

平成 21 年（2009 年）9 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

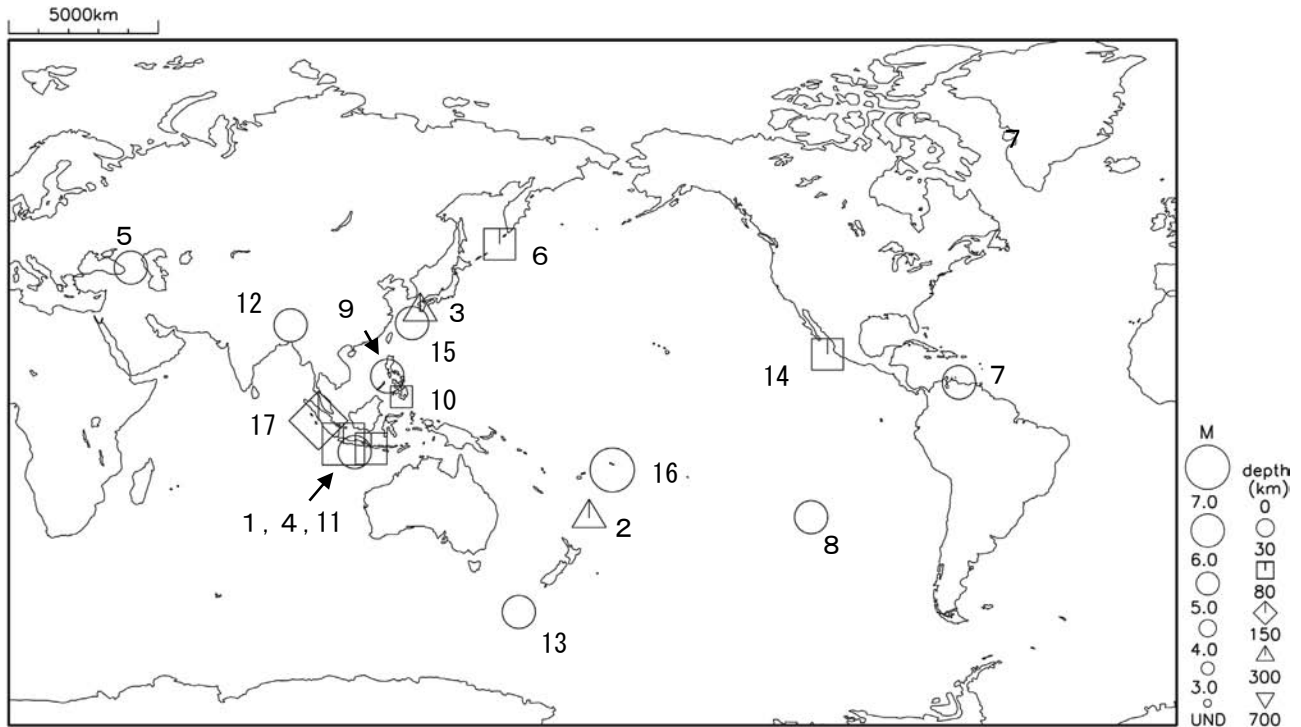


図 1 平成 21 年（2009 年）9 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

\*：震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

\*\*：数字は、表 1 の番号に対応する。

\*\*\*：マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 21 年（2009 年）9 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)
1	09月02日16時55分	S 7° 48.5'	E 107° 15.5'	46	6.7	7.0	(7.0)	インドネシア、ジャワ	死者79人以上、負傷者1,250人以上、TWI発表(p.37参照)
2	09月03日03時00分	S29° 21.3'	W178° 57.4'	275	5.8		6.2	ケルマデック諸島	
3	09月03日22時26分	N31° 07.5'	E 130° 18.0'	167		(6.0)	(6.0)	薩摩半島西方沖	(p.13参照)
4	09月08日01時12分	S10° 11.8'	E 110° 37.8'	23	6.1	5.9	6.2	インドネシア、ジャワ南方	
5	09月08日07時41分	N42° 39.7'	E 43° 26.6'	15	5.7	5.8	6.0	コーカサス西部	負傷者1人、建物被害1000棟以上
6	09月10日11時46分	N48° 19.6'	E 154° 10.8'	36	5.9	5.5	6.0	千島列島	
7	09月13日05時06分	N10° 43.2'	W 67° 57.0'	10	6.3	6.4	6.3	ベネズエラ沿岸	負傷者14人以上、建物被害17棟以上
8	09月18日08時21分	S29° 06.7'	W112° 19.2'	10	5.7		6.2	イースター島	
9	09月18日15時23分	N12° 36.9'	E 120° 25.8'	12	5.9	5.7	6.0	フィリピン諸島、ミンドロ	
10	09月18日20時53分	N 6° 31.5'	E 124° 42.2'	31			5.7	フィリピン諸島、ミンダナオ	負傷者91人以上、建物被害76棟以上
11	09月19日08時06分	S 9° 10.2'	E 115° 36.4'	74	6.0		5.7	インドネシア、バリ南方	
12	09月21日17時53分	N27° 19.4'	E 91° 25.2'	14	6.0	6.1	6.1	ブータン	死者11人以上、負傷者数十名、建物被害多数
13	09月23日11時59分	S52° 57.6'	E 159° 55.1'	10	5.3	5.4	6.0	マクオーリー島	
14	09月24日16時16分	N18° 58.9'	W107° 22.0'	37			6.3	メキシコ、ハリスコ州沖	
15	09月29日04時22分	N27° 52.1'	E 127° 51.4'	13		(6.1)	(6.1)	沖縄本島北西沖	(p.14参照)
16	09月30日02時48分	S15° 30.6'	W172° 02.0'	18	7.1	8.1	(7.9)	サモア諸島	死者168人以上、太平洋の広い範囲で津波を観測 日本国内に津波注意報発表、国内でも津波を観測(p.39～43参照)
17	09月30日19時16分	S 0° 43.5'	E 99° 51.3'	81	7.1		(7.5)	インドネシア、スマトラ南部	死者1,100人以上、負傷者2,181人以上、建物被害2,650棟以上など、TWI発表、震央周辺で津波を観測(p.44～45参照)

・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による（平成 21 年 10 月 7 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）は気象庁に、被害状況は総務省消防庁に、Mw の欄に括弧つきで記されている地震のモーメントマグニチュードは気象庁による。

・震源時は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。

・TWI は気象庁がインド洋沿岸諸国に暫定提供しているインド洋津波監視情報である（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）。

## 9月2日 ジャワ（インドネシア）の地震

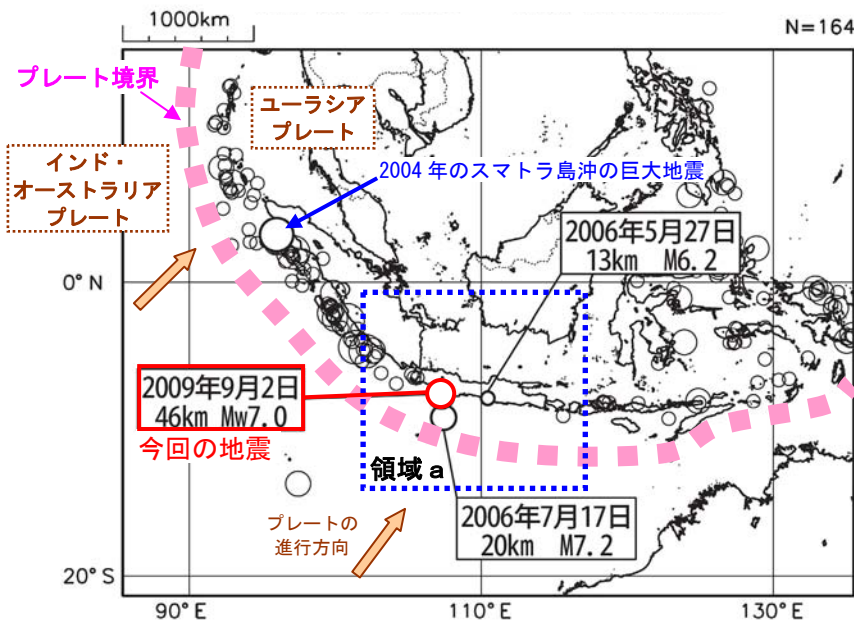
2009年9月2日16時55分（日本時間）にインドネシアのジャワ島付近の深さ46kmでMw7.0（震源は米国地質調査所〔以下、USGS〕、Mwは気象庁による）の地震が発生した。気象庁は、この地震について、17時15分に「インド洋津波監視情報」、17時20分に「遠地地震に関する情報」を発表した。この地震により、現地では死者72人以上などの被害が生じている（被害はUSGSによる）。

今回の地震は、インド・オーストラリアプレート内部で発生したと考えられる。発震機構（気象庁によるCMT解）は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

ジャワ島付近では、南からインド・オーストラリアプレートが沈み込んでおり、M7.0以上の地震が度々発生している。ジャワ島付近（領域c）で1900年以降に発生したMが最大の地震は1943年7月23日のM8.1の地震である。最近では、2006年5月27日の地震（M6.2）により死者5,749人、負傷者38,568人などの被害、2006年7月17日の地震（M7.2）で発生した津波により死者665人、負傷者9,275人などの被害が発生している（被害はUSGSによる）。

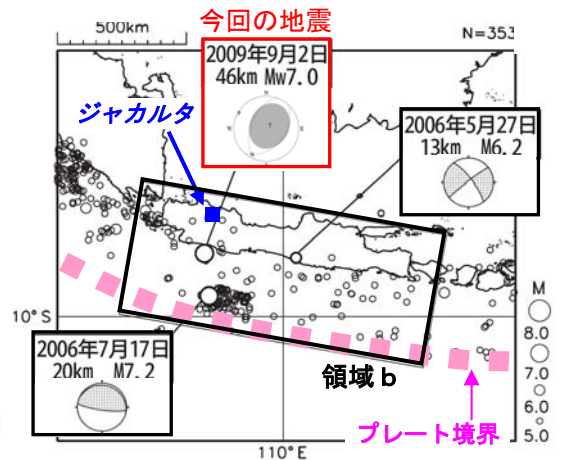
震央分布図（2000年1月以降、深さ0~100km、M≥6.0）

※震源はUSGSによる。ただし、今回の地震のMwは気象庁による。

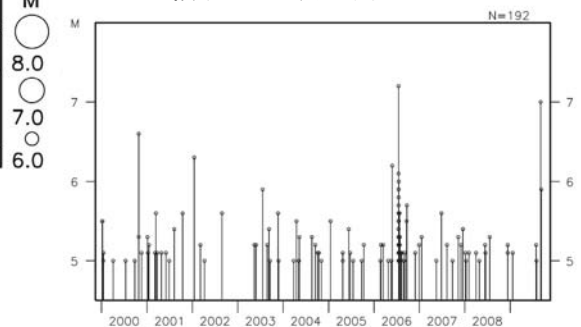


領域aの拡大図（M≥5.0）

※発震機構はGlobal CMT、今回の地震は気象庁による

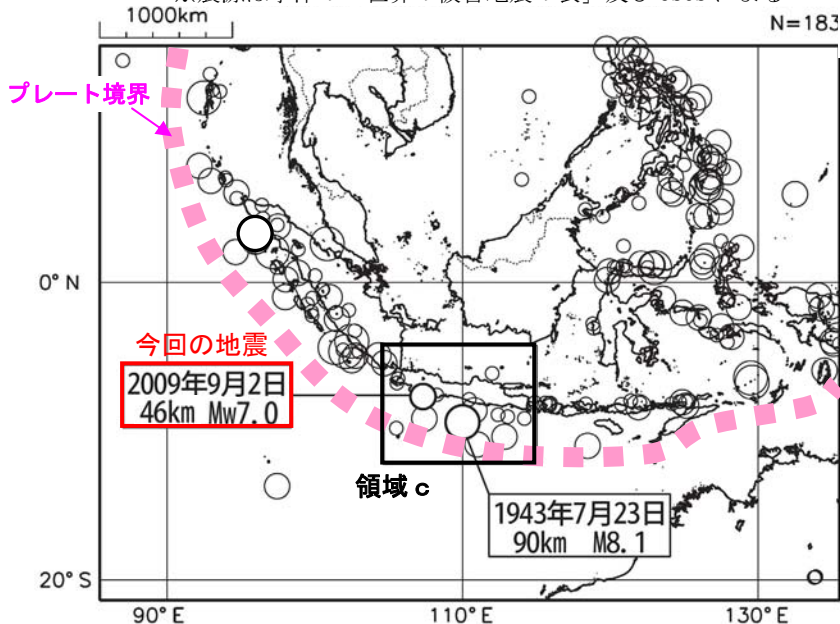


領域bの地震活動経過図



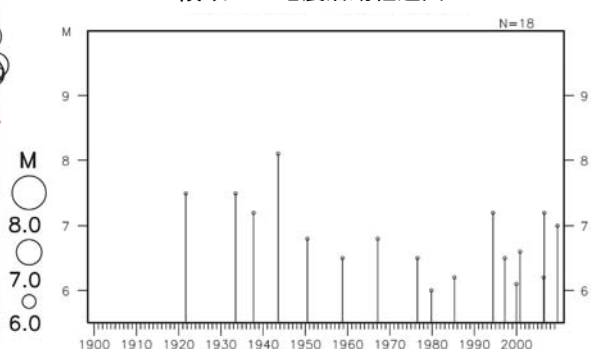
震央分布図（1900年1月以降、深さ0~100km、M≥6.0）

※震源は宇津の「世界の被害地震の表」及びUSGSによる



※本資料中の今回の地震のMwはすべて気象庁によるモーメントマグニチュードである。

領域cの地震活動経過図



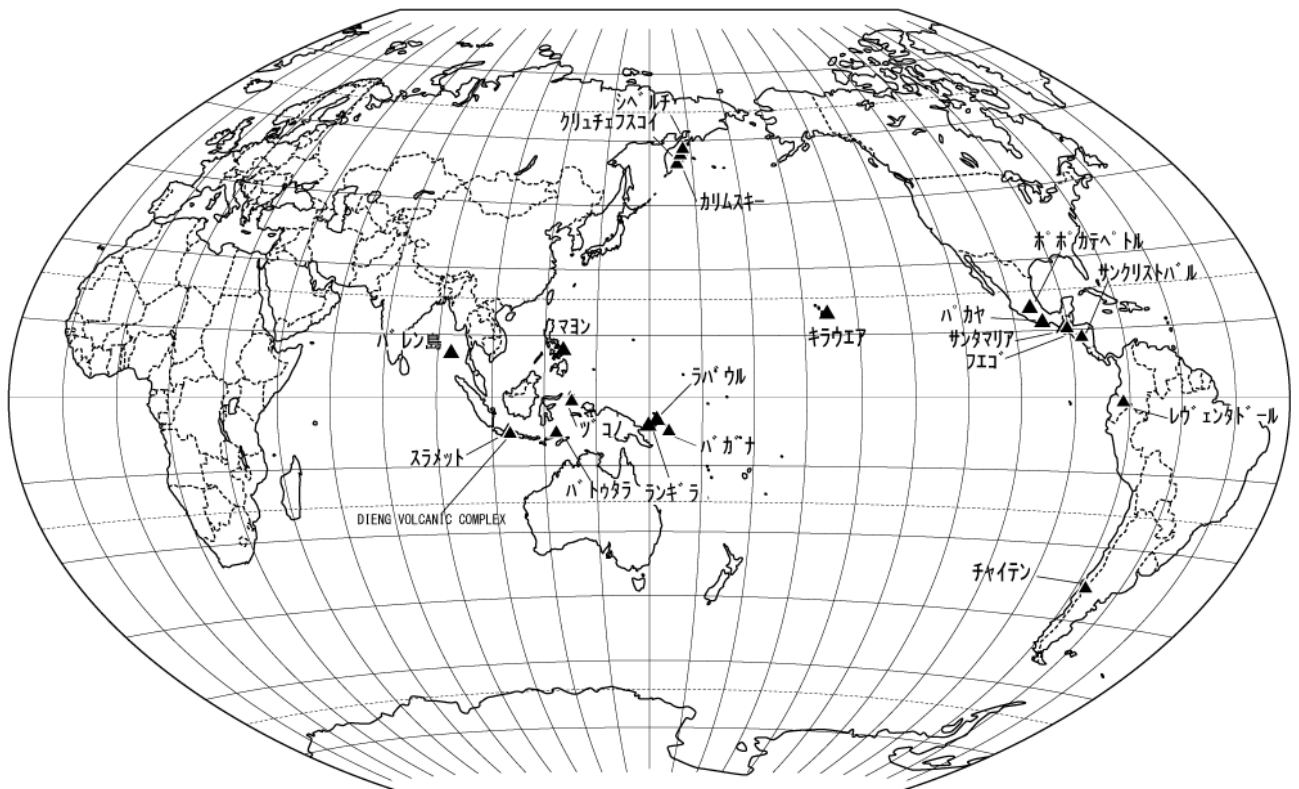


## ● 世界の主な火山活動

平成 21 年（2009 年）9 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

今期間は顕著な噴火の報告はなかった。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）



## ●特集. 9月30日のサモア諸島の地震

### (1) 概要

2009年9月30日02時48分(日本時間)、南太平洋のサモア諸島でMw7.9(震源は米国地質調査所[USGS]に、Mwは気象庁による)の地震が発生した。同日03時18分、気象庁は「遠地地震に関する情報」を発表した。また、同日03時03分、太平洋津波警報センター[PTWC]は津波情報を発表した。

気象庁は、この地震に対して以下の内容の津波注意報及び津波予報を発表した。

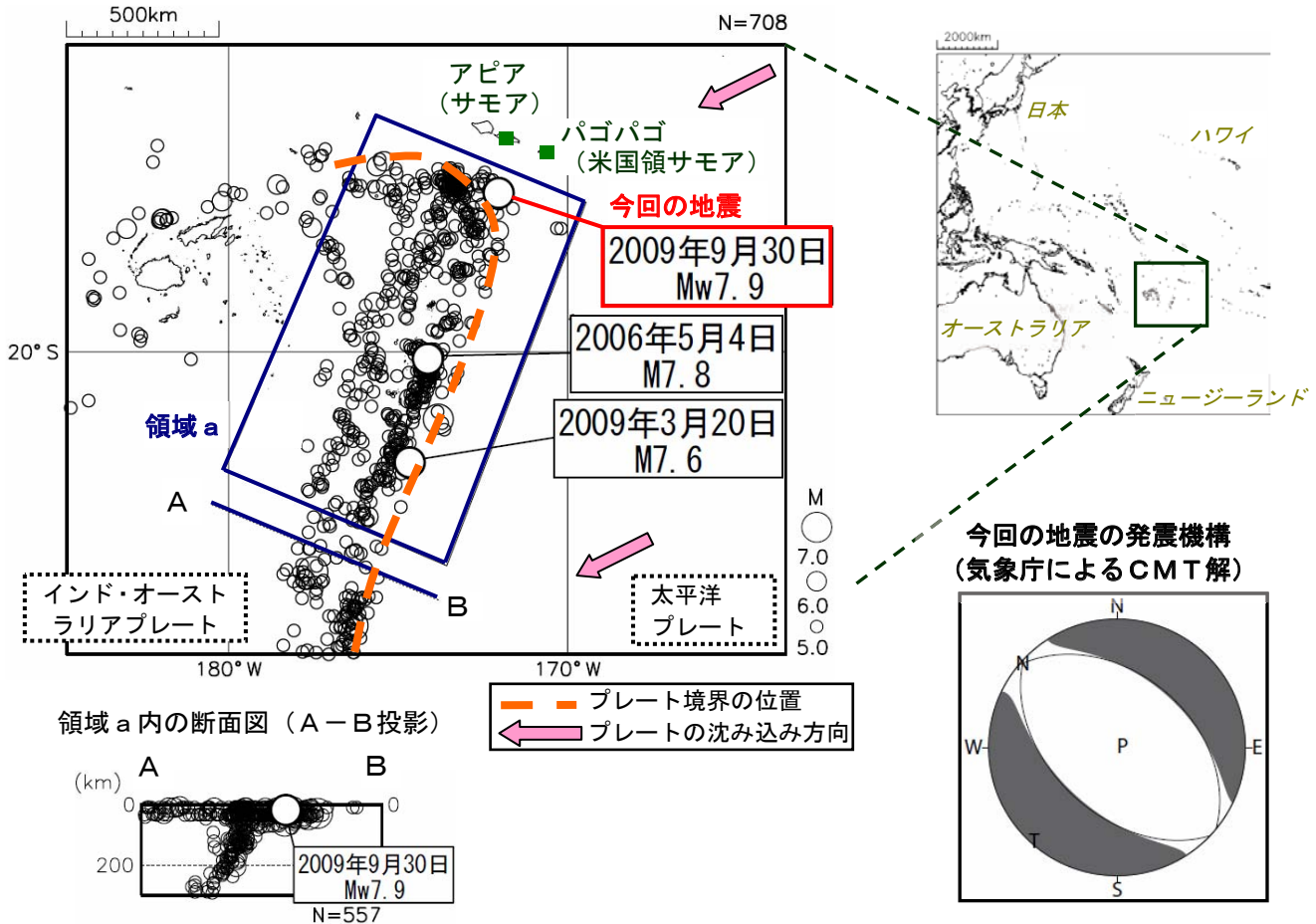
- 09時00分 北海道太平洋沿岸、東北地方太平洋沿岸、関東地方沿岸（東京湾内湾を除く）、伊豆・小笠原諸島、東海地方沿岸（伊勢・三河湾を除く）、近畿四国太平洋沿岸、宮崎県、鹿児島県東部、薩南諸島、沖縄地方に「津波注意報」を発表
- 13時09分 八丈島神湊で微弱な津波が観測された旨の「津波観測情報」を発表。以後、「津波観測情報」を合わせて6回発表
- 15時00分 「津波注意報」を解除
- 15時19分 「今後1日程度は海面変動が継続する可能性が高い」旨の「津波予報」を発表

これらの地震により、サモア諸島では最大4~6mの津波が到達し（AP通信による）、サモアでは139人以上、米国領サモアでは22人以上、トンガでは7人以上が死亡している（10月5日現在、USGSによる）。

この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に張力軸を持つ正断層型であり、太平洋プレートの内部で発生した地震であると考えられる。今回の地震の震源周辺では、1995年4月8日にはM8.0の地震が発生している（「宇津の世界の被害地震の表」による）。なお、1995年の地震では、今回の地震に比べて津波は小さく、震源に近いパゴパゴで観測された津波の高さは約0.1mであった。

震央分布図（2000年1月1日～2009年9月30日、  
深さ0～300km、M≥5.0）

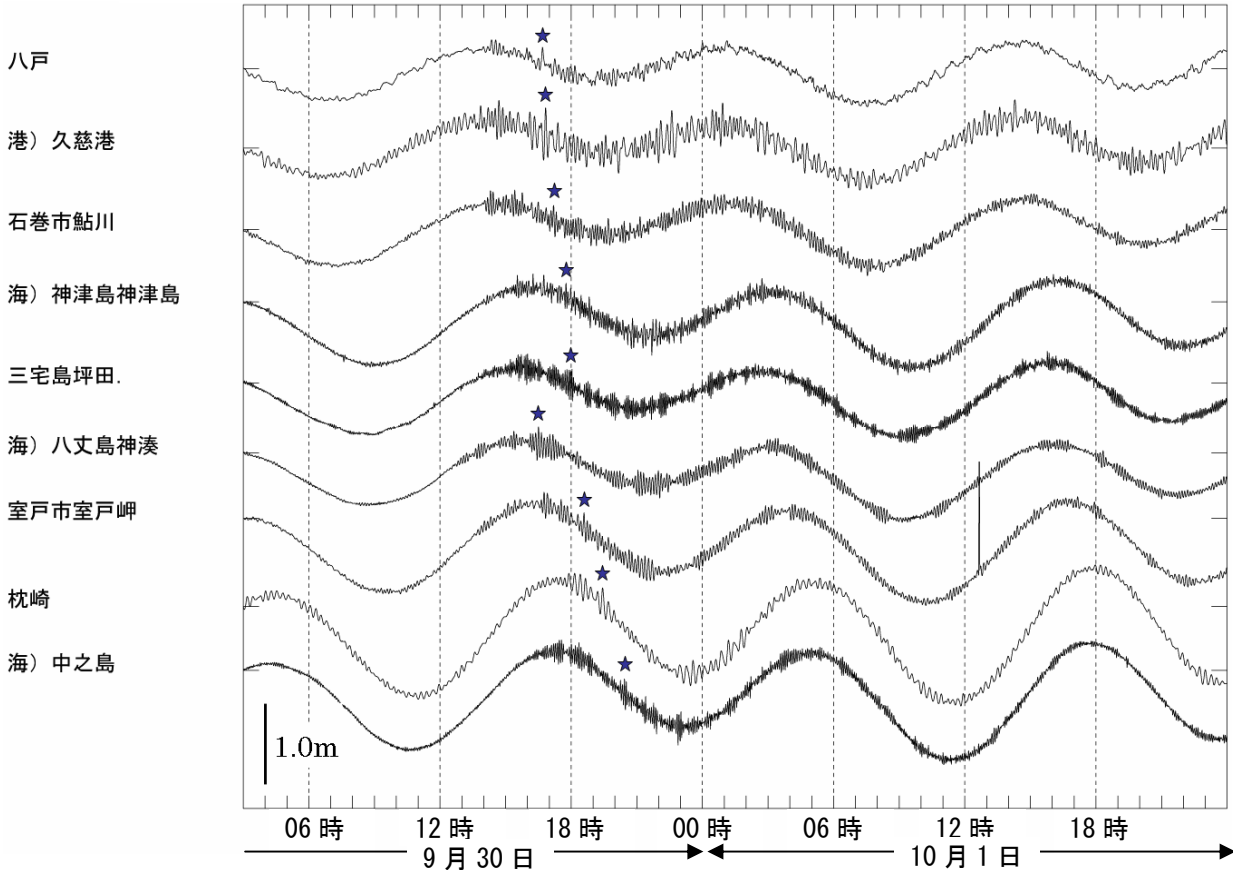
※震源要素はUSGSによる。ただし今回の地震のMwは気象庁による。



（2）国内で観測された津波

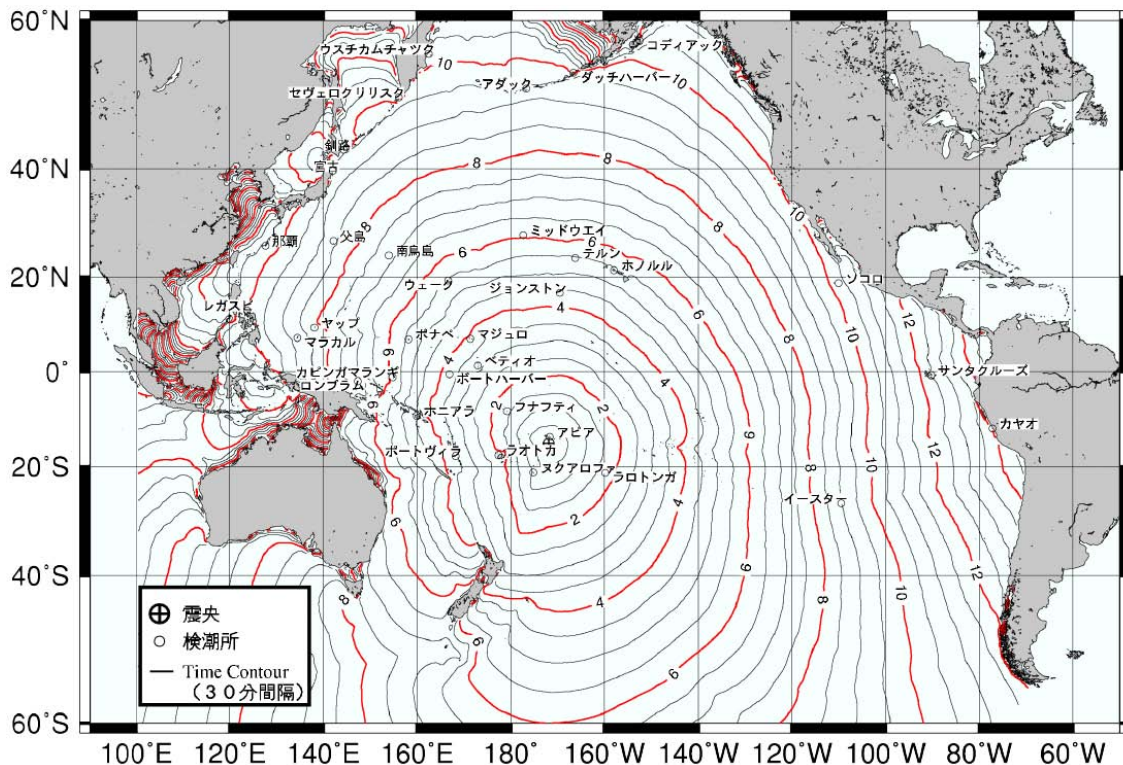
この地震により、日本でも、北海道から九州にかけての太平洋側と南西諸島、伊豆・小笠原諸島の各地で 10～40cm 程度の津波を観測した。多くの検潮所では、第一波は 9 月 30 日の 12 時から 14 時頃に到達し、半日から 1 日程度海面変動が続いた。

日本国内の主な検潮所の潮位記録（最大の高さ 20cm 以上の津波を観測した点）

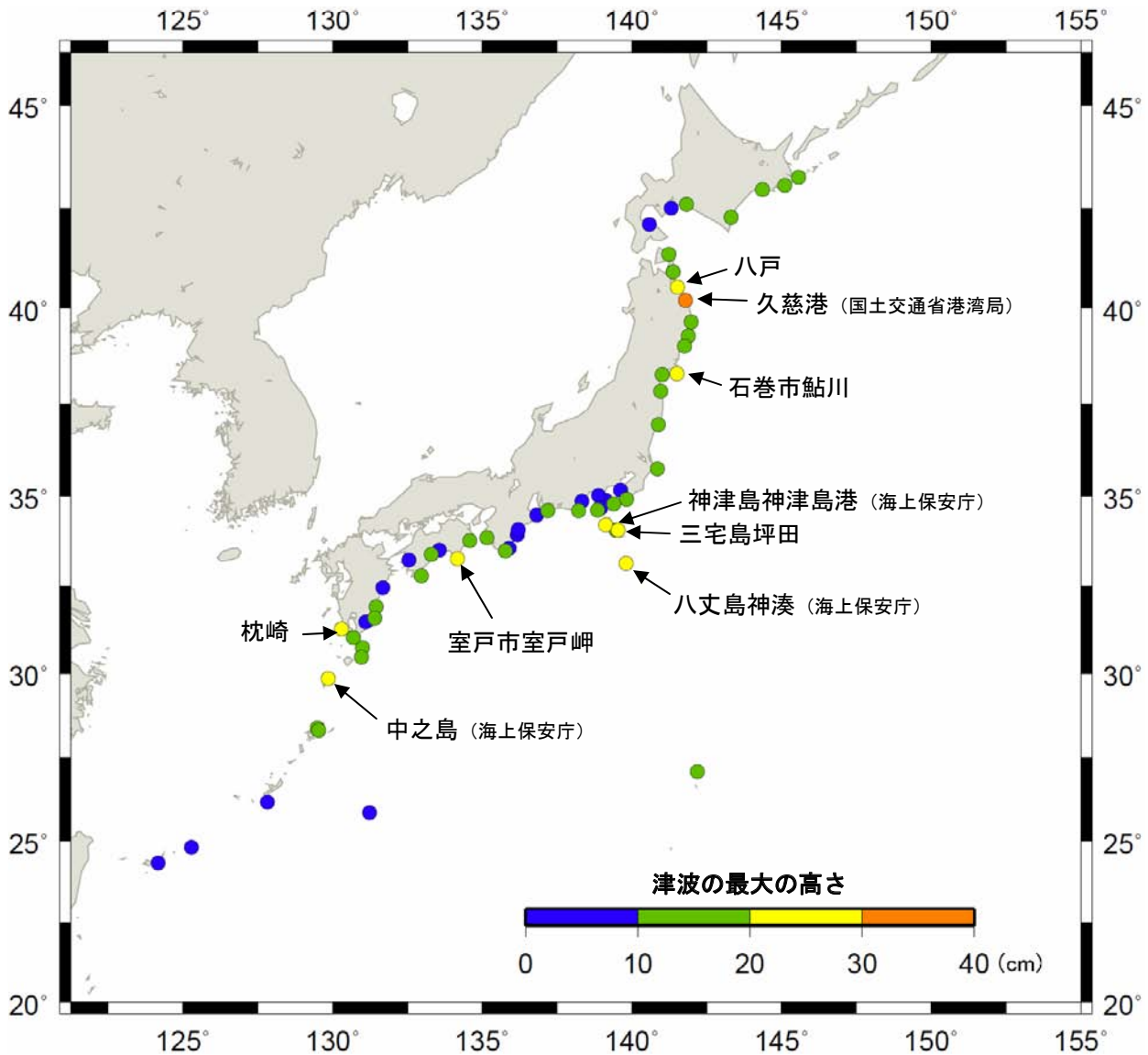


港) は国土交通省港湾局、海) は海上保安庁、無印は気象庁の検潮所である。  
★ は最大の高さが発現した時刻を示す。

津波の伝播予想図



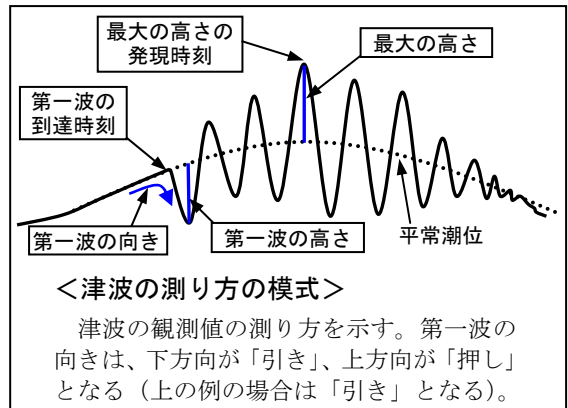
各検潮所において観測した津波の最大の高さ（津波を観測した点のみ表示）  
 ※国土交通省港湾局、国土地理院、海上保安庁、宮崎県の検潮所の記録を含む。



日本国内の主な検潮所での津波の最大の高さ（高さ 20cm 以上）

※値は速報値であり、後日変更される場合がある。

津波情報 発表地点名	所管	最大の高さ	
		発現時刻	高さ (cm)
八戸	気象庁	30日16時41分	20
石巻市鮎川	気象庁	30日17時11分	21
三宅島坪田	気象庁	30日17時58分	25
室戸市室戸岬	気象庁	30日18時35分	20
枕崎	気象庁	30日19時26分	21
久慈港	国土交通省 港湾局	30日16時47分	36
神津島神津島港	海上保安庁	30日17時44分	23
八丈島神湊	海上保安庁	30日16時28分	23
中之島	海上保安庁	30日20時24分	20



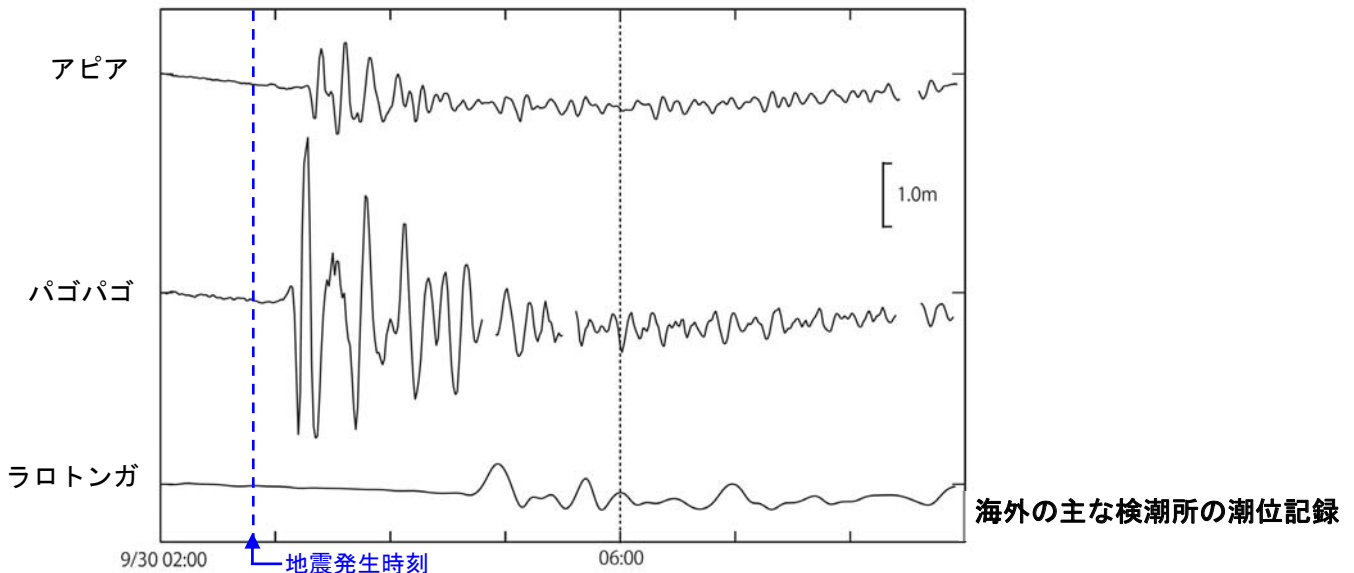
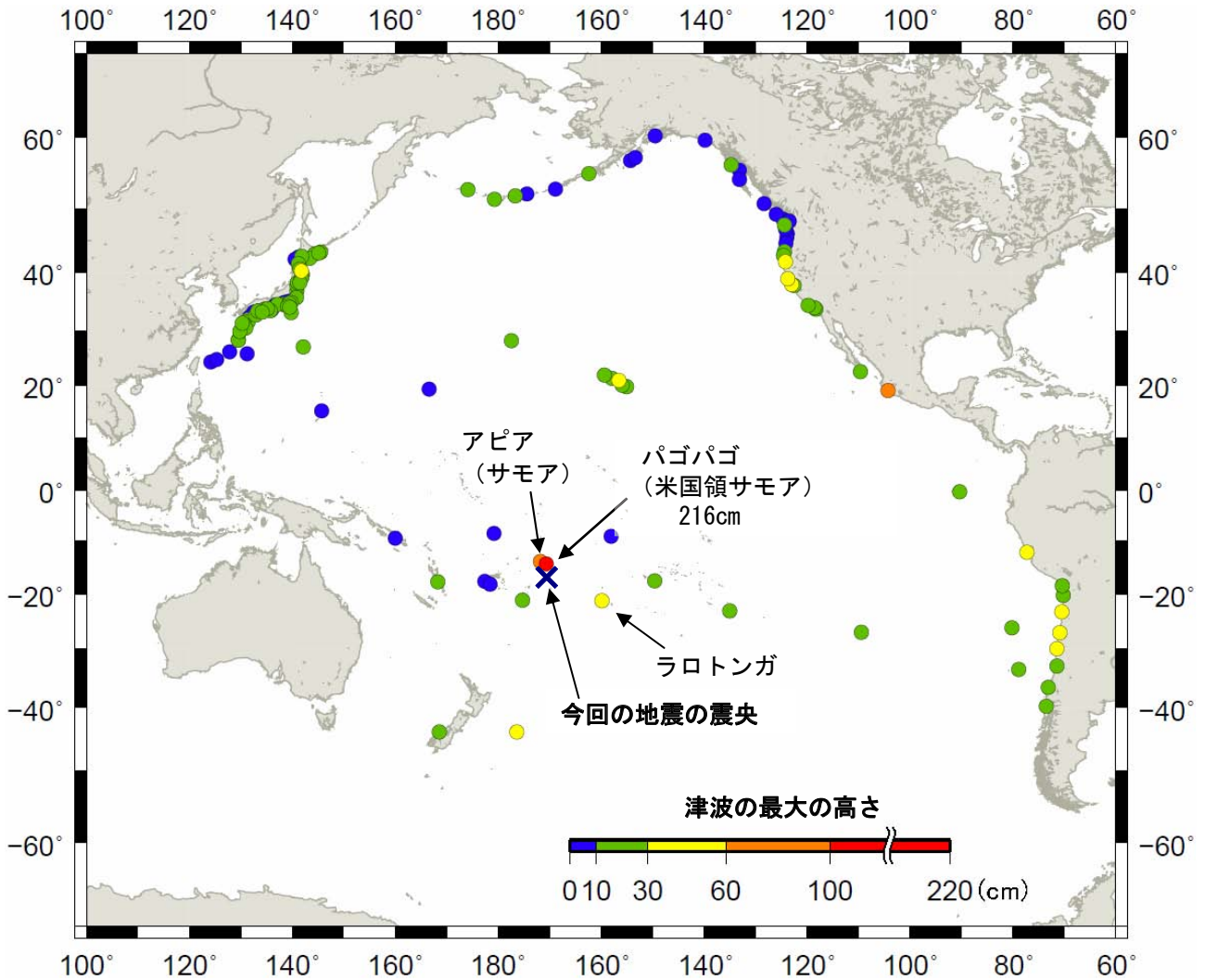
（3）海外で観測された津波

この地震では、震源に近いサモア、米国領サモア及びトンガで、津波による甚大な被害が発生している。米国領サモアのパゴパゴでは 216cm、サモアの首都アピアでは 78cm の津波を観測した。ただしこれらは検潮所で観測した値であり、地形等の条件によってはこの数倍の高さの津波が到達した可能性がある。AP 通信によると、これらの地域では最大 4~6m の津波が到達している。

海外の各検潮所において観測した津波の最大の高さ

※ PTWC（太平洋津波警報センター）及び WC/ATWC（西岸・アラスカ津波警報センター）による読み取り値。

※ 日本国内は気象庁による読み取り値（詳細は、p. 41 の図を参照）。

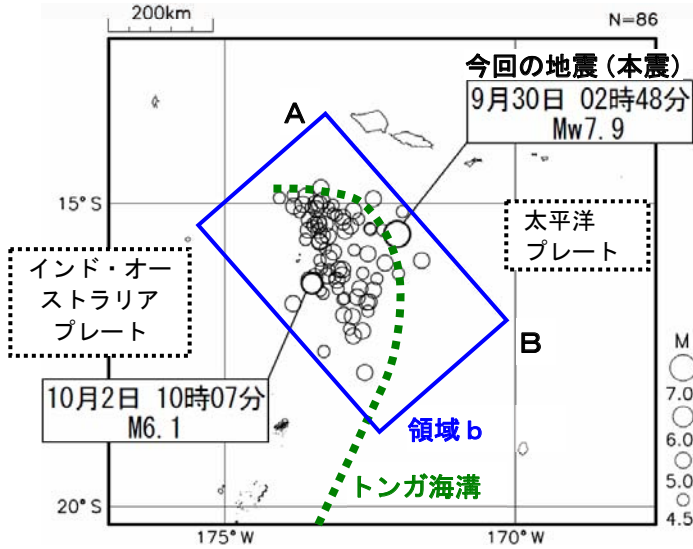


海外の主な検潮所の潮位記録

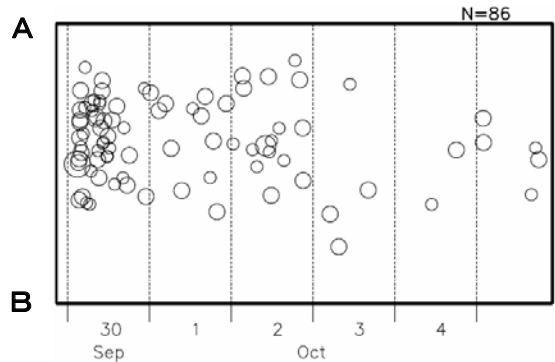
(4) 余震活動

10月5日19時現在、M4.5以上の余震が85回発生している。余震域は、トンガ海溝からインド・オーストラリアプレート側に分布している。最大の余震は10月2日10時07分（日本時間）のMw6.1の地震である（USGSによる）。

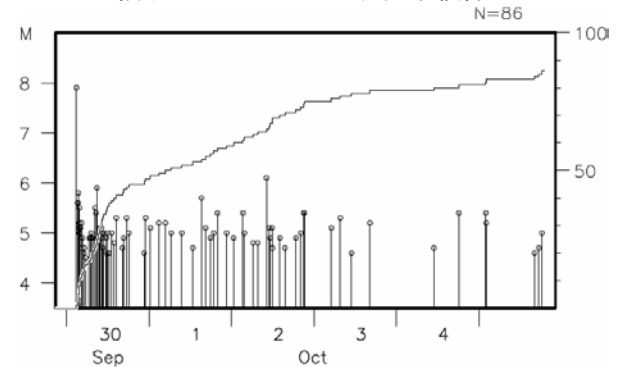
今回の地震の震央周辺の震央分布図  
(2009年9月30日～10月5日19時、  
深さ0～100km、M≥4.5)  
震源要素はUSGSによる。  
ただし本震のマグニチュードは気象庁による。



領域b内の時空間分布図（A-B投影）



領域b内のM-T図、回数積算図

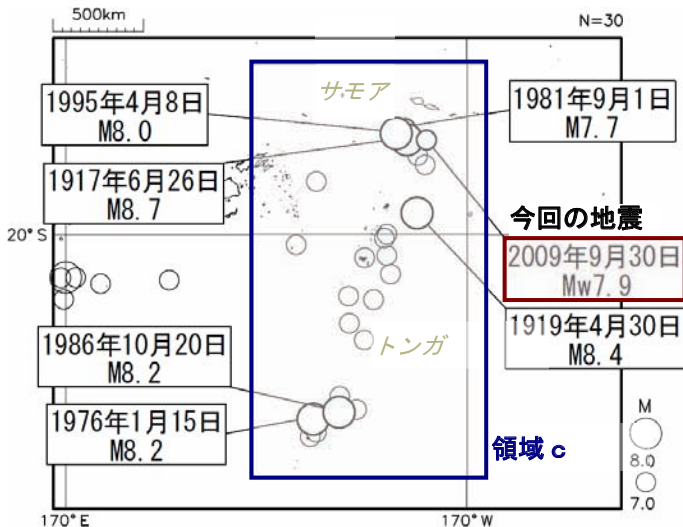


(5) 過去の地震活動及び津波

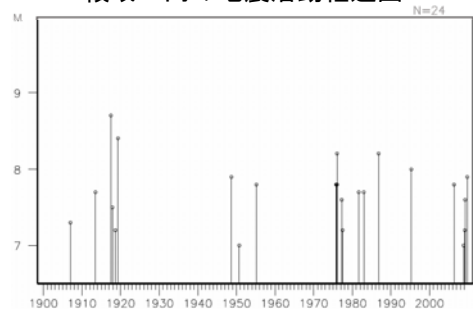
今回の地震の震源周辺における1900年以降の地震活動を見ると、M8.0以上の地震が時々発生している。1917年6月26日にはM8.7の地震が発生し最大の高さ12mの津波を記録したほか、1919年4月30日にもM8.4の地震によりトンガで2.5mの津波を記録している。高さ数十センチメートル程度の津波も含めると、サモア諸島では数年に一回程度の頻度で津波を観測している（米国海洋大気庁[NOAA]による）。

今回の地震の震央周辺の震央分布図  
(1900年1月1日以降、深さ0～100km、M≥7.0)

震源要素は「宇津の世界の被害地震の表」及びUSGSによる。ただし今回の地震のマグニチュードは気象庁による。



領域c内の地震活動経過図



1900年以降、サモア諸島またはトンガで発生し、1m以上の津波を観測した地震

※震源要素はUSGSに、津波波高はNOAAによる  
※津波の高さはサモアまたは米国領サモアにおける津波の最大の高さ

年月日	震源	M	津波の高さ
1917年6月26日	サモア諸島	8.7	12.2m
1919年4月30日	トンガ	8.4	2.5m
1981年9月1日	サモア諸島	7.7	1.0m
2009年9月30日	サモア諸島	7.9	2.2m

## ● 特集 2. 9 月 30 日のスマトラ南部（インドネシア）の地震

### （1）概要

2009 年 9 月 30 日 19 時 16 分（日本時間）、インドネシアのスマトラ南部で Mw7.5（Mw は気象庁による）の地震が発生した。気象庁はこの地震について、同日 19 時 38 分と 20 時 55 分に「インド洋津波監視情報」を、同日 19 時 42 分と 20 時 49 分に「遠地地震に関する情報」（日本国内向け、日本への津波の影響はない）を発表した。

この地震は、スマトラ島の下に沈み込むインド・オーストラリアプレートの内部で発生した地震で、発震機構（気象庁 CMT 解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ型であった。この地震により、津波が発生し、震央周辺のパダン（インドネシア）では 0.3m 程度の津波を観測した。今回の地震により、死者 1,100 人以上、負傷者 2,181 人以上という非常に大きな被害が生じた（被害は米国地質調査所 [以下、USGS] による）。

スマトラ島周辺は、2004 年 12 月の M9.1 の地震（発生した津波により死者 28 万人以上）など、非常に大きな被害を伴う規模の大きな地震が度々発生している場所である。

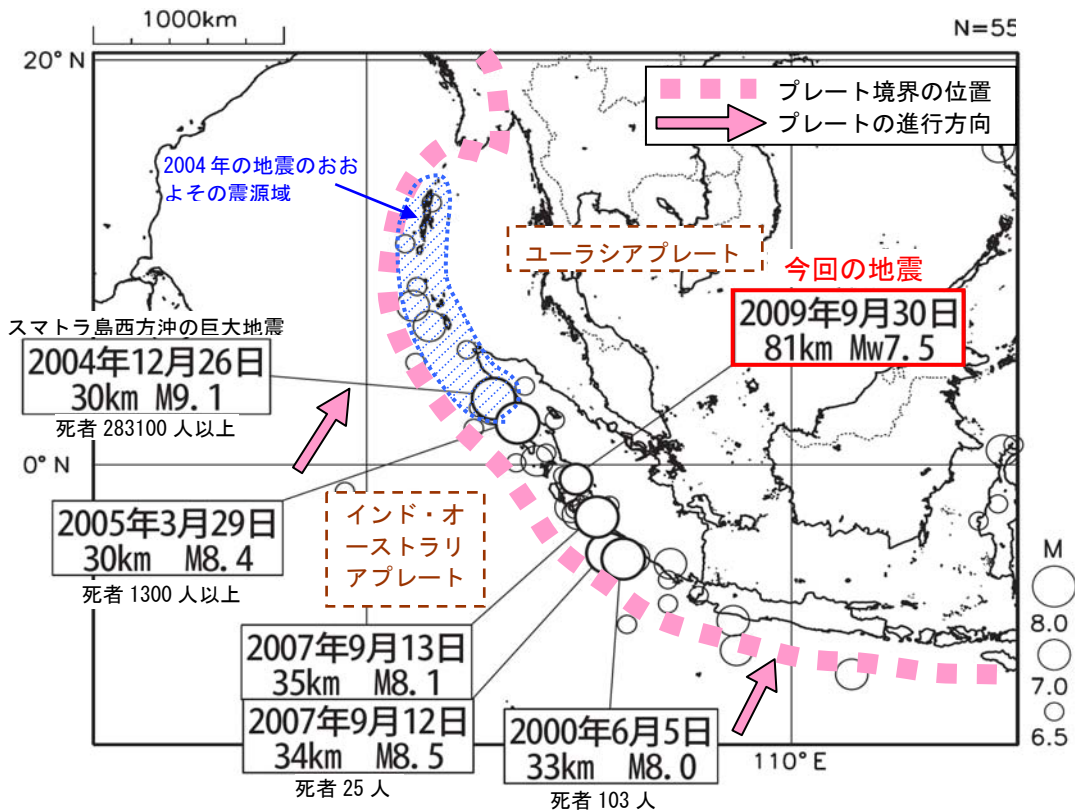


図 1 1980 年以降にスマトラ島周辺で発生した規模の大きな地震の震央分布  
1980 年 1 月 1 日～2009 年 9 月 30 日に発生した、深さ 0～100km、 $M \geq 6.5$  の地震を表示。震源要素、被害は USGS による。ただし、今回の地震の Mw は気象庁による。

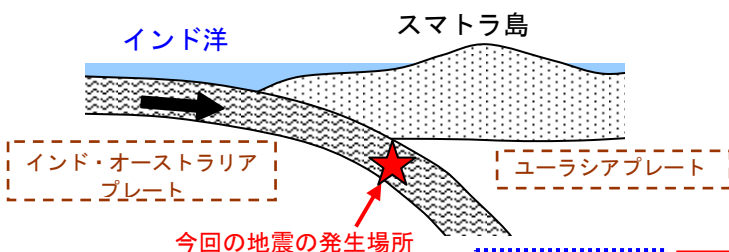
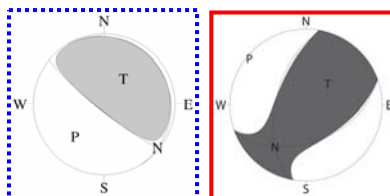


図 2 スマトラ島周辺のテクトニクス

スマトラ島付近では、西側からインド・オーストラリアプレートが沈み込んでいる。

今回の地震は、震源が 81km とやや深く、発震機構もプレート境界で発生する地震とは異なるものであったことから、沈み込むプレートの内部で発生した地震である。

プレート境界の地震の発震機構  
北東－南西方向に圧力軸を持つ逆断層型  
(2004 年のスマトラ島西方沖の巨大地震の発震機構 (Global CMT 解))



今回の地震の発震機構（気象庁 CMT 解）  
北西－南東方向に圧力軸を持つ型

### (2) 本震及び余震の状況

今回の地震は、2005 年の地震 (M8.4) の余震域と、2007 年の地震 (M8.5, M8.1) の余震域の間の領域で発生した。余震活動は活発でなく、M4.0 以上の余震は 9 月 30 日 19 時 38 分 (日本時間) に発生した M5.5 の地震の 1 回のみである。

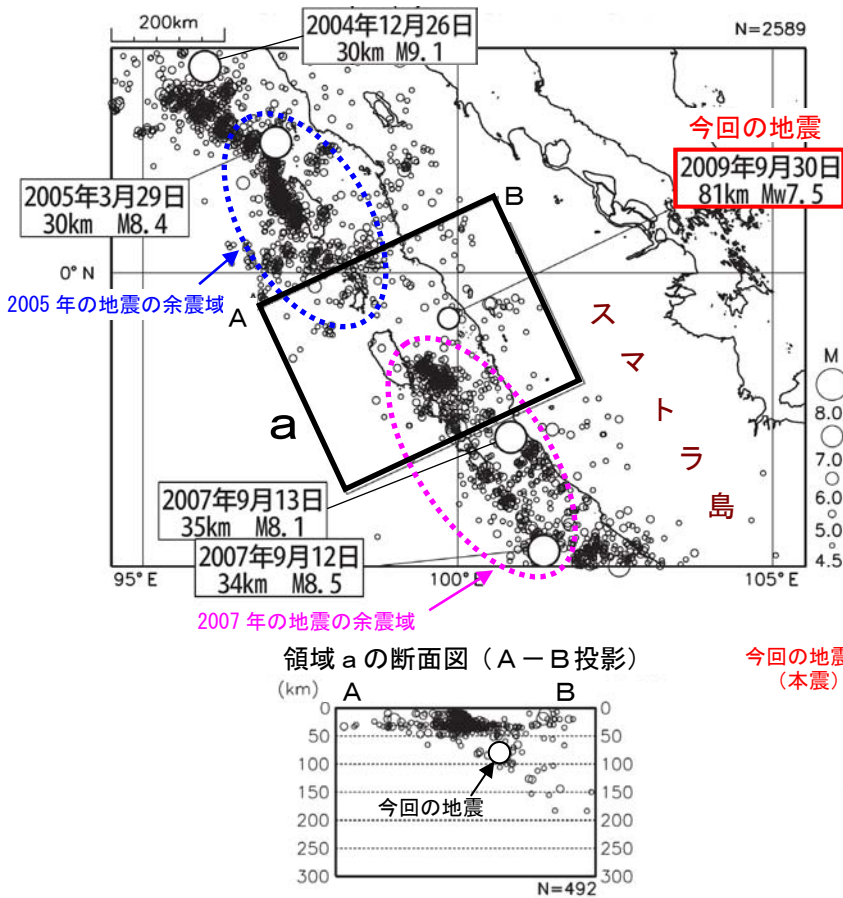


図3 今回の地震の震源周辺の震央分布と断面図  
2000 年 1 月 1 日～2009 年 9 月 30 日に発生した、深さ 0～300km、 $M \geq 4.5$  の地震を表示。震源要素は USGS による。ただし、今回の地震の  $M_w$  は気象庁による。

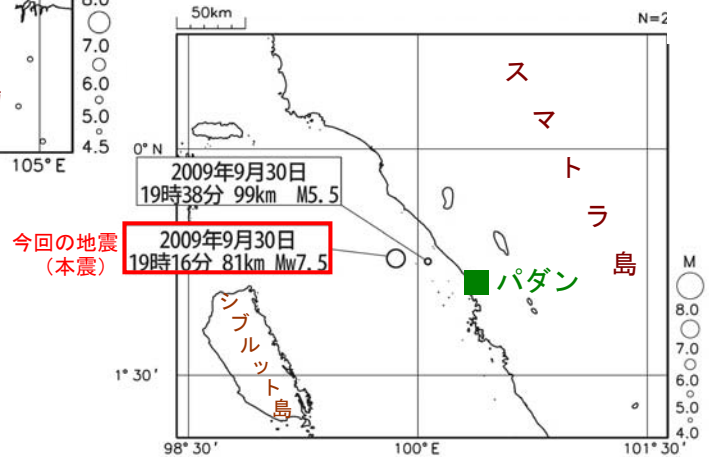
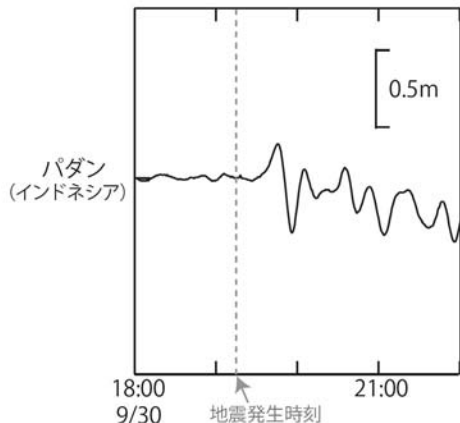


図4 余震の発生状況  
2009 年 9 月 30 日～10 月 4 日に発生した、深さ 0～150km、 $M \geq 4.0$  の地震を表示。震源要素は USGS による。ただし、今回の地震 (本震) の  $M_w$  は気象庁による。

### (3) 津波

今回の地震により、震源に近いスマトラ島のパダンで 0.3m 程度の津波を観測したが、それ以外のインド洋沿岸では津波は観測されなかった。





## ●付表 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※地震の震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は「地震・火山月報（カタログ編）」、震度データは「地震年報」に掲載する。震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（各年の地震・火山月報（防災編）12月号の付録1参照）を記す。なお、\*のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。

※震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 01 49	大分県西部 大分県 2 中津市三光* <b>=1.8</b> 中津市耶馬溪町* <b>=1.7</b> 1 中津市上宮永=0.8	33° 22.5' N	130° 54.9' E	12km	M: 2.8
2	1 02 37	沖縄本島近海 鹿児島県 2 知名町知名* <b>=2.1</b> 和泊町国頭=2.0 天城町平土野* <b>=2.0</b> 和泊町和泊* <b>=1.8</b> 伊仙町伊仙* <b>=1.8</b> 1 与論町茶花* <b>=1.2</b> 天城町当部=0.8 徳之島町亀津* <b>=0.7</b>	27° 30.8' N	128° 36.5' E	39km	M: 4.0
3	1 04 47	長崎県南西部 佐賀県 1 太良町多良=0.5 長崎県 1 諫早市多良見町* <b>=0.8</b> 諫早市高来町* <b>=0.8</b> 諫早市小長井町* <b>=0.7</b> 諫早市堂崎町* <b>=0.5</b> 諫早市東小路町=0.5	32° 57.9' N	130° 05.2' E	10km	M: 2.6
4	1 06 16	新潟県上越地方 新潟県 1 上越市浦川原区釜淵* <b>=1.0</b> 上越市安塚区安塚* <b>=0.7</b>	37° 08.7' N	138° 25.2' E	19km	M: 2.1
5	1 14 04	宮城県沖 岩手県 1 陸前高田市高田町* <b>=0.5</b> 宮城県 1 気仙沼市唐桑町* <b>=0.9</b> 気仙沼市笹が陣* <b>=0.6</b> 南三陸町歌津* <b>=0.6</b>	38° 47.3' N	141° 37.7' E	70km	M: 3.3
6	1 15 49	福島県沖 福島県 2 楢葉町北田* <b>=1.8</b> 富岡町本岡* <b>=1.5</b> 1 福島広野町下北迫大谷地原* <b>=1.4</b> いわき市三和町=1.2 大熊町下野上* <b>=1.2</b> 浪江町幾世橋=1.0 玉川村小高* <b>=0.9</b> いわき市小名浜=0.9 いわき市錦町* <b>=0.7</b> 小野町小野新町* <b>=0.6</b> 白河市新白河* <b>=0.6</b> 棚倉町棚倉中居野=0.5 いわき市平四ツ波* <b>=0.5</b> 福島広野町下北迫苗代替* <b>=0.5</b> 茨城県 1 高萩市安良川* <b>=0.7</b>	37° 09.6' N	141° 20.5' E	48km	M: 3.9
7	1 16 40	釧路支庁中南部 北海道 1 本別町向陽町* <b>=0.5</b>	42° 57.1' N	143° 48.6' E	87km	M: 3.0
8	1 18 43	和歌山県北部 和歌山県 2 みなべ町谷口* <b>=1.8</b> 日高川町土生* <b>=1.8</b> 白浜町日置* <b>=1.8</b> 田辺市中屋敷町* <b>=1.7</b> 1 みなべ町芝* <b>=1.4</b> 田辺市本宮町本宮* <b>=1.3</b> 上富田町朝来* <b>=1.3</b> みなべ町土井=1.1 田辺市中辺路町栗栖川* <b>=1.1</b> 由良町里* <b>=1.0</b> 御坊市菌=1.0 和歌山日高町高家* <b>=0.9</b> 有田川町金屋* <b>=0.8</b> 白浜町湯崎=0.8 和歌山印南町印南* <b>=0.8</b> 田辺市龍神村西* <b>=0.7</b> すさみ町周参見* <b>=0.7</b> 古座川町峯=0.7 和歌山美浜町和田* <b>=0.6</b> 串本町串本* <b>=0.6</b> 和歌山広川町広* <b>=0.5</b> 湯浅町湯浅* <b>=0.5</b> 奈良県 1 十津川村平谷* <b>=0.7</b> 黒滝村寺戸* <b>=0.7</b> 天川村沢谷* <b>=0.6</b> 十津川村小原* <b>=0.6</b>	33° 53.6' N	135° 22.0' E	52km	M: 3.5
9	1 21 02	千葉県東方沖 茨城県 2 稲敷市結佐* <b>=1.6</b> 神栖市溝口* <b>=1.6</b> 神栖市波崎* <b>=1.5</b> 茨城鹿嶋市鉢形=1.5 1 稲敷市役所* <b>=1.4</b> 小美玉市上玉里* <b>=1.3</b> 潮来市辻* <b>=1.3</b> 取手市井野* <b>=1.2</b> 稲敷市江戸崎甲* <b>=1.2</b> 茨城鹿嶋市宮中* <b>=1.2</b> 稲敷市柴崎* <b>=1.1</b> 土浦市下高津* <b>=1.0</b> 稲敷市須賀津* <b>=1.0</b> ひたちなか市南神敷台* <b>=1.0</b> 土浦市常名=0.9 つくば市天王台* <b>=0.9</b> 筑西市舟生=0.9 鉾田市鉾田=0.9 石岡市柿岡=0.9 利根町布川=0.7 坂東市岩井=0.6 水戸市金町=0.6 水戸市千波町* <b>=0.5</b> 千葉県 2 旭市南堀之内* <b>=2.0</b> 横芝光町宮川* <b>=1.9</b> 銚子市若宮町* <b>=1.8</b> いすみ市岬町長者* <b>=1.8</b> 旭市萩園* <b>=1.7</b> 多古町多古=1.7 香取市佐原下川岸=1.7 香取市羽根川* <b>=1.7</b> 香取市仁良* <b>=1.7</b> 東金市日吉台* <b>=1.7</b> 成田市花崎町=1.7 旭市高生* <b>=1.7</b> 匝瑳市八日市場* <b>=1.6</b> 旭市二* <b>=1.6</b> 香取市役所* <b>=1.6</b> 銚子市川口町=1.6 横芝光町横芝* <b>=1.6</b> 山武市殿台* <b>=1.6</b> 東金市東岩崎* <b>=1.6</b> 白子町関* <b>=1.6</b> 九十九里町片貝* <b>=1.5</b> 芝山町小池* <b>=1.5</b> 東金市東新宿=1.5 匝瑳市今泉* <b>=1.5</b> 山武市蓮沼ハ* <b>=1.5</b> 山武市松尾町松尾* <b>=1.5</b> 千葉中央区都町* <b>=1.5</b> 東庄町笹川* <b>=1.5</b> 1 睦沢町下之郷* <b>=1.4</b> 成田市役所* <b>=1.4</b> 本埜村笠神* <b>=1.4</b> いすみ市国府台* <b>=1.4</b> 山武市埴谷* <b>=1.3</b> 成田国際空港=1.3 成田市中台* <b>=1.3</b> 市原市姉崎* <b>=1.3</b> 富里市七栄* <b>=1.3</b> 長生村本郷* <b>=1.3</b> 千葉佐倉市海隣寺町* <b>=1.2</b> 千葉一宮町一宮=1.2 成田市松子* <b>=1.1</b> 大網白里町大網* <b>=1.1</b> 千葉中央区中央港=1.1 長南町長南* <b>=1.1</b> 香取市佐原諏訪台* <b>=1.1</b> 八街市八街* <b>=1.0</b> 千葉花見川区花島町* <b>=1.0</b> 茂原市道表* <b>=0.9</b> 千葉稲毛区園生町* <b>=0.9</b> 千葉若葉区小倉台* <b>=0.9</b> 君津市久留里市場* <b>=0.9</b> 銚子市天王台=0.8 鴨川市横渚* <b>=0.7</b> 館山市長須賀=0.6 勝浦市墨名=0.6 長柄町大津倉=0.6 栃木県 1 真岡市田町* <b>=0.5</b> 埼玉県 1 春日部市谷原新田* <b>=1.2</b> さいたま大宮区天沼町* <b>=0.7</b> 東京都 1 東京足立区伊興* <b>=0.9</b> 東京足立区神明南* <b>=0.9</b> 東京荒川区東尾久* <b>=0.8</b> 東京墨田区東向島* <b>=0.7</b>	35° 36.6' N	141° 05.5' E	36km	M: 4.9

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
10	1 21 51	神奈川県 1 横浜中区山手町=0.8 中井町比奈窪*=0.5				
		福岡県北西沖 福岡県 1 福岡西区玄界島=0.5	33° 40.8' N	130° 21.1' E	7km	M: 2.6
11	2 00 14	沖縄本島近海 沖縄県 1 国頭村奥=0.8 国頭村辺土名*=0.8	26° 48.7' N	128° 26.0' E	31km	M: 3.0
12	2 00 26	奄美大島北東沖 鹿児島県 1 鹿児島十島村口之島出張所*=1.3 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.0	29° 48.1' N	130° 21.3' E	19km	M: 4.5
13	2 04 56	釧路沖 北海道 2 根室市厚床*=1.6 1 浜中町霧多布*=1.3 中標津町養老牛=0.6 根室市牧の内*=0.6 標茶町塘路*=0.5 根室市瑠瑠瑠*=0.5	42° 50.5' N	145° 33.1' E	45km	M: 4.1
14	2 06 40	伊予灘 広島県 2 呉市川尻町*=2.3 呉市倉橋町蔦ヶ巣=2.1 呉市倉橋町支所*=1.9 呉市中央*=1.7 江田島市沖美町*=1.6 1 江田島市能美町*=1.4 呉市宝町=1.3 呉市広*=1.3 呉市下蒲刈町*=1.1 呉市安浦町*=1.1 廿日市市大野*=1.0 廿日市市下平良*=0.9 江田島市江田島町*=0.9 府中町大通り*=0.8 東広島市黒瀬町=0.8 呉市蒲刈町*=0.8 広島中区羽衣町*=0.8 大崎上島町東野*=0.7 呉市焼山*=0.7 呉市豊浜町*=0.7 広島西区己斐*=0.6 坂町役場*=0.6 広島佐伯区湯来町運動広場*=0.6 廿日市市津田*=0.6 三原市久井町*=0.6 海田町上市*=0.5 大竹市小方*=0.5 広島安佐北区可部南*=0.5	33° 45.9' N	132° 24.1' E	51km	M: 3.9
		愛媛県 2 大洲市長浜*=2.4 久万高原町久万*=1.9 今治市菊間町*=1.8 松山市中島大浦*=1.7 松山市富久町*=1.7 八幡浜市五反田*=1.6 松山市北条辻*=1.5 松山市北持田町=1.5 1 八幡浜市保内町*=1.4 大洲市大洲*=1.2 内子町平岡*=1.2 伊予市下吾川*=1.2 今治市吉海町*=1.2 大洲市肱川町*=1.2 砥部町総津*=1.1 砥部町宮内*=1.1 伊方町湊浦*=1.0 伊予市中山町*=0.9 伊予市双海町*=0.9 愛媛松前町筒井*=0.9 今治市南宝来町二丁目=0.9 西予市三瓶町*=0.9 西条市丹原町鞍瀬=0.8 西予市明浜町*=0.8 八幡浜市広瀬=0.8 今治市大西町*=0.8 内子町内子*=0.7 宇和島市丸穂*=0.7 内子町小田*=0.7 今治市南宝来町一丁目*=0.7 宇和島市三間町*=0.6 松野町松丸*=0.5 西予市野村町=0.5				
		山口県 2 周防大島町東和総合支所*=2.4 周防大島町平野*=2.1 田布施町役場*=1.9 平生町平生*=1.6 田布施町下田布施=1.6 防府市西浦*=1.5 柳井市南町*=1.5 1 光市中央*=1.3 柳井市大島*=1.3 上関町長島*=1.3 周南市呼坂*=1.2 岩国市横山*=1.2 周防大島町久賀*=1.1 岩国市今津=1.0 周防大島町西安下庄*=1.0 防府市寿=0.9 和木町和木*=0.9 周防大島町小松*=0.9 山口市秋徳東*=0.9 岩国市玖珂町阿山*=0.8 岩国市玖珂総合支所*=0.8 岩国市周東町下久原*=0.8 光市岩田*=0.7 岩国市錦町広瀬*=0.7 岩国市美川町高ヶ原*=0.6 岩国市由宇町*=0.6 下松市大手町*=0.5				
		大分県 1 国東市田深*=1.0 国東市鶴川=0.7 豊後高田市御玉*=0.6				
15	2 07 30	新潟県中越地方 新潟県 1 十日町市千歳町*=1.2 十日町市高山*=1.1	37° 08.7' N	138° 49.6' E	7km	M: 2.6
16	2 13 04	駿河湾 静岡県 2 静岡駿河区曲金=1.5 1 静岡葵区駒形通*=1.3 静岡清水区庵原町*=1.2 静岡葵区追手町市役所*=0.9 静岡葵区追手町県庁*=0.9 静岡清水区旭町*=0.7 焼津市東小川*=0.6 静岡葵区梅ヶ島*=0.6 牧之原市相良*=0.5	34° 52.0' N	138° 26.7' E	22km	M: 3.8
		長野県 1 天龍村天龍小学校*=0.5				
17	2 14 18	北海道東方沖 北海道 1 標津町北2条*=0.7 根室市落石東*=0.6	43° 41.6' N	147° 14.7' E	30km	M: 4.6
18	2 17 37	豊後水道 愛媛県 1 大洲市肱川町*=1.1 宇和島市三間町*=1.0 宇和島市丸穂*=0.9 大洲市長浜*=0.9 大洲市大洲*=0.9 八幡浜市保内町*=0.9 伊方町湊浦*=0.8 西予市宇和町*=0.8 宇和島市津島町*=0.8 西予市三瓶町*=0.7 松野町松丸*=0.6 愛南町船越*=0.6 伊方町三崎*=0.5	33° 18.9' N	132° 07.5' E	47km	M: 3.6
		高知県 1 宿毛市桜町*=1.2 四万十市西土佐江川崎*=0.7				
		宮崎県 1 高千穂町三田井=0.8 延岡市北川町川内名白石*=0.7				
19	2 18 30	沖縄本島近海 沖縄県 1 座間味村座間味*=1.4 粟国村浜=0.8 本部町役場*=0.8 粟国村役場*=0.7 名護市港*=0.6 久米島町謝名堂=0.6 今帰仁村仲宗根*=0.5	26° 42.3' N	127° 45.6' E	52km	M: 3.8
20	2 21 24	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東*=1.0 根室市瑠瑠瑠*=0.9 標津町北2条*=0.5	43° 33.0' N	147° 41.8' E	15km	M: 4.6
21	3 10 12	新島・神津島近海 東京都 1 神津島村金長=0.5	34° 14.0' N	139° 09.5' E	10km	M: 2.0
22	3 18 32	宮城県沖 岩手県 1 北上市二子町*=1.1 大船渡市大船渡町=0.9 陸前高田市高田町*=0.7 藤沢町藤沢*=0.6	37° 59.9' N	142° 39.6' E	51km	M: 4.3

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
23	3 22 26	<p>宮城県 釜石市中妻町*0.5 1 石巻市桃生町*1.3 涌谷町新町*1.2 栗原市金成*0.9 名取市増田*0.8 宮城川崎町前川*0.8 気仙沼市笹が陣*0.8 大衡村大衡*0.8 石巻市泉町*0.7 南三陸町歌津*0.7 登米市中田町*0.6 気仙沼市赤岩*0.6 石巻市門脇*0.6 大崎市田尻*0.6 栗原市栗駒*0.5 石巻市北上町*0.5 蔵王町円田*0.5 栗原市瀬峰*0.5</p> <p><b>薩摩半島西方沖</b> 宮崎県 4 都城市高崎町大牟田*3.6 3 日南市中央通*2.9 高原町西麓*2.9 高千穂町三田井*2.9 都城市菖蒲原*2.8 都城市姫城町*2.8 宮崎市橋通東*2.8 野尻町東麓*2.8 宮崎市高岡町内山*2.8 宮崎市松橋*2.8 日南市南郷町南町*2.7 日南市吾田東*2.7 都城市北原*2.6 串間市都井*2.6 延岡市古城町*2.6 宮崎市霧島*2.5 延岡市北川町川内名白石*2.5 高鍋町上江*2.5 日南市油津*2.5</p> <p>2 西都市上の宮*2.4 宮崎市田野町体育館*2.4 国富町本庄*2.4 都城市山之口町花木*2.4 三股町五本松*2.4 新富町上富田*2.3 西都市聖陵町*2.3 小林市真方(旧)*2.2 宮崎都農町役場*2.2 都城市山田町山田*2.1 宮崎美郷町田代*2.1 延岡市北方町卯*2.1 綾町南俣健康センター*2.0 延岡市北浦町古江*2.0 椎葉村総合運動公園*2.0 延岡市東本小路*2.0 川南町川南*1.9 えびの市加久藤*1.9 串間市奈留*1.9 清武町船引*1.9 綾町役場*1.9 都城市高城町穂満坊*1.8 小林市役所*1.8 小林市中原*1.8 椎葉村下福良*1.8 宮崎市佐土原町下田島*1.8 日南市北郷町郷之原*1.8 延岡市北方町未*1.8 木城町高城*1.7 日向市東郷町山陰*1.6 高千穂町寺迫*1.6 延岡市天神小路*1.6 宮崎市田野支所*1.6 延岡市北川町総合支所*1.5 都城市高崎町江平*1.5 小林市細野*1.5 門川町本町*1.5 宮崎美郷町神門*1.5</p> <p>1 宮崎都農町川北*1.2 宮崎美郷町宇納間*1.2 日之影町岩井川*1.1 五ヶ瀬町三ヶ所*1.1 日向市亀崎*1.0 西米良村村所*0.9 西米良村板谷*0.8 諸塚村家代*0.8 日向市富高*0.7</p> <p>3 佐伯市蒲江*2.6 佐伯市鶴見*2.6 佐伯市上浦*2.5 佐伯市役所*2.5</p> <p>2 臼杵市臼杵*2.4 佐伯市春日町*2.4 竹田市荻町*2.2 大分市佐賀関*2.0 佐伯市米水津*2.0 豊後大野市清川町*2.0 竹田市直入町*2.0 大分市長浜*1.9 津久見市宮本町*1.9 佐伯市弥生*1.9 豊後大野市犬飼町犬飼*1.7 大分市碩田町*1.7 津久見市立花町*1.7 豊後大野市三重町*1.6 国東市田深*1.6 大分市舞鶴町*1.6 豊後大野市千歳町*1.5 国東市鶴川*1.5</p> <p>1 別府市鶴見*1.4 杵築市南杵築*1.1 竹田市竹田小学校*1.1 臼杵市乙見*0.8 佐伯市宇目*0.8 豊後大野市犬飼町黒松*0.7 豊後高田市御玉*0.6 竹田市直入小学校*0.6</p> <p>3 大崎町仮宿*3.4 鹿児島市喜入町*2.9 鹿屋市輝北町上百引*2.8 鹿屋市串良町岡崎(旧)*2.8 鹿屋市札元*2.7 錦江町田代支所*2.7 肝付町新富*2.7 南種子町中之上*2.7 鹿屋市新栄町*2.6 中種子町野間*2.6 鹿屋市吾平町麓*2.5 肝付町北方*2.5</p> <p>2 鹿児島市祇園之洲町*2.4 曾於市大隅町中之内*2.4 志布志市志布志町志布志*2.4 三島村竹島*2.4 南九州市知覧町郡*2.3 錦江町城元*2.3 加治木町本町*2.3 屋久島町尾之間*2.3 霧島市国分中央*2.2 鹿児島市東郡元*2.2 曾於市末吉町二之方*2.2 志布志市有明町野井倉*2.2 西之表市住吉*2.2 指宿市山川新生町*2.2 屋久島町小瀬田*2.2 南大隅町根占*2.1 鹿児島十島村口之島出張所*2.1 西之表市西之表*2.1 南種子町西之表*2.1 屋久島町口永良部島公民館*2.1 南大隅町佐多伊座敷*2.0 鹿児島十島村中之島徳之尾*2.0 南さつま市金峰町尾下*2.0 垂水市田神*2.0 東串良町川西*2.0 瀬戸内町西古見*2.0 鹿児島市上谷口*1.9 始良町宮島町*1.9 蒲生町上久徳*1.9 西之表市役所*1.9 いちき串木野市湊町*1.9 屋久島町宮之浦*1.9 瀬戸内町請島*1.9 奄美市名瀬港*1.9 曾於市財部町南俣*1.8 枕崎市高見町*1.8 湧水町栗野*1.8 湧水町吉松*1.8 いちき串木野市緑町*1.8 伊佐市菱刈前目*1.8 鹿児島市本城*1.7 指宿市十町*1.7 鹿児島十島村諏訪之瀬島*1.7 三島村硫黄島*1.7 鹿児島空港*1.7 南九州市穎娃町牧之内*1.7 瀬戸内町加計呂麻島*1.7 天城町平土野*1.7 伊仙町伊仙*1.7 指宿市開聞十町*1.6 志布志市松山町新橋*1.6 薩摩川内市市田町*1.6 日置市日吉町日置*1.6 日置市伊集院町郡*1.6 鹿児島市郡山*1.6 瀬戸内町与路島*1.6 喜界町滝川*1.6 奄美市笠利町里*1.6 薩摩川内市祁答院町*1.5 さつま町神子*1.5 鹿児島十島村悪石島*1.5 霧島市牧園町窪田*1.5</p> <p>1 薩摩川内市入来町*1.4 薩摩川内市東郷町*1.4 南さつま市大浦町*1.4 霧島市隼人町内山田*1.4 喜界町湾*1.4 奄美市住用町西仲間*1.4 鹿児島市下福元*1.3 薩摩川内市中郷*1.3 さつま町宮之城保健センタ*1.3 南さつま市加世田川畑*1.3 霧島市霧島口*1.3 南九州市川辺町平山*1.3 伊佐市大口鳥巢*1.3 大和村思勝*1.3 奄美市名瀬幸町*1.3 阿久根市鶴見町*1.2 さつま町宮之城屋地*1.2 瀬戸内町古仁屋*1.2 阿久根市赤瀬川*1.1 枕崎市若葉町*1.0 屋久島町口永良部島池田*0.9 龍郷町屋入*0.9 南さつま市坊津町久志*0.8 薩摩川内市上甌町*0.8 天城町当部*0.8 薩摩川内市下甌町手打*0.7 薩摩川内市下甌町青瀬*0.5</p> <p>和歌山県 2 日高川町土生*2.1 和歌山日高町高家*1.5 1 有田市箕島*1.4 みなべ町谷口*1.4 由良町里*1.3 みなべ町芝*1.3 和歌山美浜町和田*1.2 御坊市菌*1.2 田辺市中屋敷町*1.2 和歌山印南町印南*1.0 和歌山市男野芝丁*1.0 湯浅町湯浅*1.0 上富田町朝来*0.9 海南市日方*0.7 紀の川市粉河*0.6 和歌山広川町広*0.6 新宮市熊野川町日足*0.6 古座川町高池*0.6 紀の川市那賀支所*0.5 和歌山市一番丁*0.5</p> <p>岡山県 2 玉野市宇野*1.8 岡山北区御津金川*1.6 1 瀬戸内市長船町*1.4 岡山南区灘崎町*1.4 矢掛町矢掛*1.3 岡山北区新屋敷*1.3 真庭市下方*1.3 岡山東区西大寺上*1.2 倉敷市児島小川町*1.2 倉敷市水島北幸町*1.2 岡山東区瀬戸町*1.1 備前市東片上*1.1 和気町矢田*1.1 倉敷市新田*1.1 倉敷市玉島阿賀崎*1.1 和気町尺所*1.0 早島町前湯*1.0 岡山南区浦安南町*1.0 里庄町里見*1.0 岡山北区桑田町*1.0 倉敷市真備町*1.0 瀬戸内市邑久町*0.9 高梁市松原通*0.9 真庭市落合垂水*0.9 赤磐市松木*0.8 浅口市天草公園*0.8 倉敷市沖*0.8 岡山北区大供*0.8 倉敷市下津井*0.8 鏡野町上齋原*0.8 赤磐市上市*0.8 岡山北区建部町*0.7 真庭市久世*0.7 新見市哲西町矢田*0.7 吉備中央町豊野*0.7 倉敷市白染町*0.6</p>	31° 07.5' N	130° 18.0' E	167km	M: 6.0

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		真庭市下皆部*0.6 笠岡市笠岡*0.6 井原市井原町*0.6 浅口市寄島町*0.5 浅口市鴨方町*0.5 真庭市蒜山下福田*0.5 鏡野町竹田*0.5				
		広島県 2 呉市川尻町*1.7 1 呉市倉橋町支所*1.4 呉市安浦町*1.4 三原市円一町=1.2 三原市本郷南*1.2 大崎上島町東野*1.1 尾道市因島土生町*1.1 呉市広*1.1 府中町大通り*1.0 竹原市中央*1.0 大崎上島町中野*1.0 三原市久井町*1.0 福山市松永町=1.0 世羅町西上原*1.0 呉市下蒲刈町*0.9 呉市豊町*0.9 大竹市小方*0.9 江田島市沖美町*0.9 尾道市瀬戸田町*0.9 呉市宝町=0.8 呉市中央*0.8 安芸高田市向原町*0.8 呉市豊浜町*0.8 尾道市向島町*0.8 東広島市黒瀬町=0.8 大崎上島町木江*0.8 尾道市久保*0.7 福山市駅家町*0.7 福山市内海町*0.7 廿日市市大野*0.7 神石高原町油木*0.7 広島西区己斐*0.6 広島安芸区中野*0.6 福山市神辺町*0.6 世羅町東神崎*0.6 広島府中市府川町*0.5 東広島市河内町*0.5 三原市館町*0.5 広島中区上八丁堀=0.5 広島安佐北区可部南*0.5 広島佐伯区湯来町運動広場*0.5 福山市沼隈町*0.5				
		徳島県 2 徳島三好市池田総合体育館=1.9 徳島市津田町*1.8 美馬市美馬町*1.8 美馬市穴吹町*1.7 美波町西の地*1.7 神山町神領*1.6 つるぎ町貞光宮下*1.6 徳島三好市西祖谷山村一字*1.5 藍住町奥野*1.5 1 徳島市大和町=1.4 つるぎ町半田木ノ内*1.4 美馬市脇町=1.3 美馬市木屋平*1.2 徳島三好市三野町芝生*1.2 東みよし町加茂*1.2 海陽町久保*1.2 小松島市横須町*1.2 石井町高川原*1.2 牟岐町中村*1.1 東みよし町昼間*1.0 阿南市山口町*0.9 鳴門市鳴門町*0.9 吉野川市鴨島町=0.9 阿南市富岡町=0.8 鳴門市撫養町=0.7 徳島三好市池田中学校*0.5				
		香川県 2 小豆島町安田*2.0 小豆島町池田*1.9 土庄町甲=1.8 観音寺市坂本町=1.7 観音寺市瀬戸町*1.6 東かがわ市三本松=1.5 綾川町山田下*1.5 さぬき市大川町*1.5 1 直島町役場*1.4 高松市牟礼町*1.3 高松市国分寺町*1.3 東かがわ市湊*1.3 土庄町大部*1.3 小豆島町馬木*1.3 三豊市豊中町*1.3 高松市庵治町*1.2 さぬき市寒川町*1.2 さぬき市長尾東*1.2 宇多津町役場*1.2 三豊市高瀬町*1.2 三豊市三野町*1.2 善通寺市文京町*1.1 観音寺市豊浜町*1.1 多度津町家中=1.1 高松市香川町*1.1 三豊市財田町*1.1 まんのう町生間*1.1 高松市伏石町=1.0 綾川町滝宮*1.0 さぬき市長尾総合公園*1.0 さぬき市志度*1.0 丸亀市大手町*1.0 坂出市室町*0.9 三豊市山本町*0.9 三木町氷上*0.9 高松市塩江町*0.8 多度津町栄町*0.8 高松市香南町*0.8 丸亀市新田町*0.8 観音寺市大野原町*0.7				
		愛媛県 2 今治市吉海町*2.1 西予市三瓶町*2.1 西予市明浜町*2.1 大洲市肱川町*2.0 伊方町湊浦*2.0 西予市宇和町*1.9 宇和島市丸穂*1.8 宇和島市津島町*1.8 八幡浜市保内町*1.8 愛南町柏*1.7 宇和島市住吉町=1.7 八幡浜市五反田*1.7 宇和島市吉田町*1.6 愛南町船越*1.6 今治市大三島町*1.6 愛南町一本松*1.6 大洲市大洲*1.5 今治市大西町*1.5 愛南町城辺*1.5 今治市菊間町*1.5 1 今治市宮窪町*1.4 西条市丹原町鞍瀬=1.4 上島町岩城*1.4 松野町松丸*1.4 大洲市長浜*1.3 内子町内子*1.3 西予市野村町=1.3 今治市南宝来町二丁目=1.3 西条市新田*1.3 松山市北条辻*1.3 松山市中島大浦*1.3 久万高原町久万*1.3 宇和島市三間町*1.3 今治市南宝来町一丁目*1.2 上島町弓削*1.2 松山市富久町*1.2 伊予市下吾川*1.2 内子町小田*1.2 伊予市中山町*1.1 東温市南方*1.1 内子町平岡*1.1 愛南町御荘*1.1 今治市波方町*1.1 今治市上浦町*1.1 愛媛鬼北町近永*1.0 上島町生名*1.0 砥部町総津*1.0 伊方町三机*0.9 新居浜市別子山*0.9 上島町魚島*0.9 松山市北持田町=0.9 愛媛松前町筒井*0.9 西予市城川町*0.8 愛媛鬼北町成川=0.8 新居浜市一宮町=0.8 四国中央市三島宮川*0.7 伊方町三崎*0.7 新居浜市中筋町*0.7 八幡浜市広瀬=0.6 今治市伯方町*0.6 愛媛鬼北町下鍵山*0.6				
		高知県 2 高知市役所*2.4 宿毛市桜町*2.4 高知市丸ノ内*2.2 高知香南市夜須町坪井*2.2 高知市本町=2.1 四万十市八反原児童公園*1.9 香美市物部町大栃*1.8 宿毛市片島=1.8 黒潮町佐賀*1.8 土佐市蓮池*1.8 室戸市室津*1.7 安田町安田*1.7 土佐町土居*1.6 田野町役場*1.6 安芸市西浜=1.5 中土佐町久礼*1.5 奈半利町役場*1.5 四万十市西土佐江川崎*1.5 1 安芸市矢ノ丸*1.4 芸西村和食*1.4 高知市鏡小浜*1.4 土佐清水市足摺岬=1.4 土佐清水市中浜*1.4 黒潮町入野=1.4 本山町本山*1.3 大月町弘見*1.3 南国市オオソネ*1.2 大川村小松*1.2 高知香南市吉川町吉原*1.2 高知香南市赤岡支所*1.2 香美市土佐山田町宝町=1.2 土佐清水市天神町*1.2 香美市物部町神池=1.1 香美市役所*1.1 四万十町大正*1.1 四万十町十川*1.1 須崎市西純町*1.1 大豊町高須*1.1 いの町脇ノ山*1.0 いの町上八川*1.0 香美市香北町美良布*0.9 四万十市中村大橋通*0.9 馬路村馬路*0.9 大豊町川口*0.9 佐川町役場*0.9 いの町長沢*0.9 香美市土佐山田町岩積*0.9 室戸市室戸岬町=0.8 北川村野友*0.8 高知市春野町西分*0.8 高知香南市香我美町下分*0.8 高知市土佐山*0.7 四万十町茂串町*0.7 高知香南市野市町西野*0.7 東洋町生見*0.6 いの町役場*0.6 中土佐町大野見吉野*0.5 椿原町椿原*0.5 三原村来栖野*0.5 越知町越知*0.5 高知津野町力石*0.5 土佐清水市有永=0.5				
		熊本県 2 産山村山鹿*1.9 熊本高森町高森*1.7 阿蘇市波野*1.7 八代市平山新町=1.7 山都町今*1.7 天草市五和町*1.7 八代市千丁町*1.6 熊本市富合町*1.5 八代市鏡町*1.5 1 南阿蘇村河陽*1.4 宇城市小川町*1.4 山都町大平*1.4 吉市西間下町=1.4 多良木町上球磨消防署*1.4 八代市松江城町*1.3 熊本美里町永富*1.3 吉市蟹作町*1.3 錦町一武*1.3 多良木町多良木=1.3 湯前町役場*1.3 上天草市大矢野町=1.3 南阿蘇村吉田*1.2 菊池市旭志*1.2 宇土市浦田町*1.2 あさぎり町免田東*1.2 熊本市京町=1.1 芦北町芦北=1.0 阿蘇市一の宮町*1.0 山都町浜町*1.0 宇城市松橋町=0.9 水上村岩野*0.9 五木村甲*0.9 熊本市東町*0.7 宇城市三角町*0.7 南阿蘇村中松=0.7 水俣市牧ノ内*0.6 八代市泉町=0.5				
		岐阜県 1 笠松町司町*0.9 瑞穂市別府*0.9 大垣市墨俣町*0.9				
		愛知県 1 一宮市緑*0.5				
		滋賀県 1 彦根市城町=0.6				

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		大阪府 兵庫県 鳥取県 山口県 福岡県 長崎県				
		1 大阪岬町深日*=0.5 1 淡路市志筑*=1.3 豊岡市桜町=1.1 南あわじ市福良=0.9 南あわじ市広田*=0.8 上郡町大持*=0.7 たつの市御津町*=0.7 淡路市久留麻*=0.5 たつの市新宮町*=0.5 南あわじ市湊*=0.5 1 米子市東町*=0.7 智頭町智頭=0.6 鳥取市吉方=0.6 1 上関町長島*=1.3 周防大島町平野*=1.3 周防大島町久賀*=1.3 柳井市大島*=1.2 田布施町役場*=1.2 平生町平生*=1.2 周防大島町東和総合支所*=1.2 柳井市南町*=1.2 山口市阿知須*=0.9 防府市西浦*=0.9 周防大島町小松*=0.9 周防大島町西安下庄*=0.9 阿東町徳佐*=0.8 岩国市今津=0.8 岩国市横山*=0.8 田布施町下田布施=0.7 岩国市由宇町*=0.6 山口市周布=0.5 下松市大手町*=0.5 岩国市玖珂総合支所*=0.5 1 大川市酒見*=1.3 久留米市津福本町=1.1 柳川市三橋町*=1.1 柳川市本町*=1.0 柳川市大和町*=1.0 みやま市瀬高町*=1.0 久留米市北野町*=0.9 久留米市城島町*=0.9 大木町八町傘田*=0.9 筑後市山ノ井*=0.8 遠賀町今古賀*=0.8 久留米市城南町*=0.7 久留米市田主丸町*=0.7 八女市本町*=0.7 みやま市高田町*=0.7 うきは市吉井町*=0.6 福岡中央区舞鶴*=0.6 水巻町項末*=0.6 久留米市三藩町*=0.5 大刀洗町富多*=0.5 筑前町篠隈*=0.5 1 南島原市布津町*=1.0 南島原市口之津町*=0.9 南島原市加津佐町*=0.9 南島原市有家町*=0.9 諫早市森山町*=0.6 南島原市北有馬町*=0.6 南島原市南有馬町*=0.5 南島原市深江町*=0.5				
24	4 10 18	房総半島南方沖 千葉県	34° 15.7' N	140° 51.0' E	51km	M: 4.5
		1 鴨川市横渚*=0.8 鴨川市八色=0.7 勝浦市墨名=0.5				
25	4 10 42	青森県東方沖 青森県	41° 00.6' N	142° 17.2' E	47km	M: 3.9
		1 五戸町古館=1.0 八戸市湊町=0.9 八戸市内丸*=0.7 野辺地町野辺地*=0.6 東通村小田野沢*=0.6 七戸町森ノ上*=0.5				
26	4 11 29	奄美大島近海 鹿児島県	28° 04.2' N	129° 26.7' E	38km	M: 3.7
		1 瀬戸内町請島*=1.2 奄美市名瀬港町=1.0 奄美市笠利町里*=0.8 奄美市住用町西仲間*=0.6				
27	4 11 30	千葉県西北部 東京都	35° 48.8' N	140° 05.5' E	67km	M: 4.5
		3 東京江東区枝川*=2.5 2 東京台東区千束*=2.4 東京墨田区東向島*=2.4 東京品川区北品川*=2.3 東京墨田区吾妻橋*=2.3 東京江東区亀戸*=2.2 東京江戸川区鹿骨*=2.1 東京江戸川区中央=2.1 東京足立区千住*=2.0 東京足立区神明南*=2.0 東京葛飾区立石*=2.0 東京葛飾区金町*=2.0 東京江戸川区船堀*=2.0 東京千代田区大手町=2.0 東京中央区勝どき*=2.0 東京文京区本郷*=2.0 東京国際空港=2.0 東京荒川区荒川*=2.0 東京江東区森下*=1.9 東京大田区本羽田*=1.9 東京渋谷区宇田川町*=1.9 東京北区西ヶ原*=1.9 東京荒川区東尾久*=1.9 東京新宿区上落合*=1.9 東京台東区東上野*=1.9 東京板橋区相生町*=1.8 東京港区白金*=1.8 東京江東区東陽*=1.8 調布市つつじヶ丘*=1.7 町田市中町*=1.7 伊豆大島町岡田*=1.7 東京目黒区中央町*=1.7 東京世田谷区三軒茶屋*=1.7 東京世田谷区中町*=1.7 東京中野区中野*=1.7 東京北区赤羽南*=1.7 東京練馬区東大泉*=1.6 東京足立区伊興*=1.6 東京千代田区麹町*=1.6 東京大田区多摩川*=1.6 東京世田谷区成城*=1.6 東京港区南青山*=1.6 東京新宿区百人町*=1.6 東京文京区スポーツセンター*=1.6 東京千代田区九段南*=1.5 東京板橋区高島平*=1.5 東京文京区大塚*=1.5 八王子市堀之内*=1.5 武蔵野市吉祥寺東町*=1.5 東京品川区広町*=1.5 小金井市本町*=1.5 東大和市中央*=1.5 清瀬市中里*=1.5 東京大田区大森東*=1.5 1 東京中央区日本橋兜町*=1.4 東京杉並区桃井*=1.4 東京杉並区高井戸*=1.4 東京練馬区光が丘*=1.4 東京足立区中央本町*=1.4 三鷹市野崎*=1.4 狛江市和泉本町*=1.4 東京板橋区板橋*=1.3 町田市役所*=1.3 国分寺市本多*=1.3 東京港区芝公園*=1.3 東京世田谷区世田谷*=1.3 国分寺市戸倉=1.2 稲城市東長沼*=1.2 東京中野区江古田*=1.2 八王子市川町*=1.2 町田市忠生*=1.2 東京大田区蒲田*=1.1 東京中野区中央*=1.1 日野市神明*=1.1 清瀬市中清戸*=1.1 東京新宿区歌舞伎町*=1.0 立川市錦町*=1.0 武蔵野市緑町*=1.0 調布市小島町*=1.0 武蔵村山市本町*=1.0 青梅市日向和田*=1.0 あきる野市伊奈*=1.0 多摩市関戸*=0.9 東京豊島区東池袋*=0.9 伊豆大島町元町=0.9 東京府中市本町*=0.9 西東京市中町*=0.9 東京杉並区阿佐谷=0.9 東京練馬区豊玉北*=0.8 昭島市田中町*=0.7 八王子市大横町=0.7 立川市泉町*=0.7 伊豆大島町波浮港*=0.5 神奈川県 3 横浜神奈川区神大寺*=2.6 2 横浜鶴見区馬場*=2.4 横浜中区山手町=2.3 横浜中区山田町*=2.3 横浜緑区白山*=2.3 伊勢原市下谷*=2.3 横浜中区山下町*=2.2 横浜神奈川区白幡上町*=2.2 横浜中区山吹町*=2.1 厚木市長谷*=2.1 厚木市酒井*=2.1 横浜港北区日吉本町*=2.0 横浜港南区丸山台東部*=2.0 横浜緑区十日市場町*=2.0 横浜青葉区市ヶ尾町*=2.0 川崎川崎区宮前町*=2.0 厚木市飯山*=2.0 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.9 横浜瀬谷区中屋敷*=1.9 川崎宮前区宮前平*=1.9 三浦市城山町*=1.9 大和市下鶴間*=1.9 横浜南区別所*=1.8 横浜磯子区洋光台*=1.8 横浜瀬谷区三ツ境*=1.8 川崎中原区小杉町*=1.8 横浜西区浜松町*=1.7 横浜戸塚区平戸町*=1.7 川崎幸区戸手本町*=1.7 横浜磯子区磯子*=1.6 横浜金沢区白帆*=1.6 横浜旭区上白根町*=1.6 横浜青葉区榎が丘*=1.6 横浜西区みなとみらい*=1.6 座間市緑ヶ丘*=1.6 厚木市中町*=1.6 清川村煤ヶ谷*=1.6 横浜栄区小菅ヶ谷*=1.5 横浜都筑区池辺町*=1.5 川崎中原区小杉陣屋町=1.5 川崎宮前区野川*=1.5 1 横浜鶴見区鶴見*=1.4 横浜戸塚区戸塚町*=1.4 横浜旭区大池町*=1.4 横浜旭区今宿東町*=1.4 川崎高津区下作延*=1.4 茅ヶ崎市茅ヶ崎*=1.4 海老名市大谷*=1.4 綾瀬市深谷*=1.4 小田原市荻窪*=1.4 相模原市相模大野*=1.4 相模原市上溝*=1.4 箱根町湯本*=1.4 横浜港南区丸山台北部*=1.3 横浜港北区太尾町*=1.2 横浜栄区桂台南*=1.2 横浜泉区岡津町*=1.2 横浜都筑区茅ヶ崎*=1.2 寒川町宮山*=1.2 相模原市中央=1.2 相模原市田名*=1.2 相模原市相原*=1.2 厚木市寿町*=1.2 中井町比奈窪*=1.2 神奈川山北町山北*=1.2 愛川町角田*=1.2 横浜泉区和泉町*=1.1 川崎多摩区登戸*=1.1 横須賀市光の丘=1.1 相模原市津久井町中野*=1.1 秦野市曾屋=1.1 平塚市浅間町*=1.0 藤沢市朝日町*=1.0 相模原市城山町久保沢*=1.0 厚木市七沢*=1.0 松田町松田惣領*=1.0 横浜南区六ツ川*=0.9				

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>横濱金沢区寺前*0.9 厚木市三田*0.9 南足柄市関本*0.9 神奈川大井町金子*0.9 真鶴町真鶴*0.9 川崎麻生区万福寺*0.9 横須賀市坂本町*0.9 鎌倉市由比ガ浜*0.9 逗子市桜山*0.8 葉山町堀内*0.7 小田原市久野*0.7 鎌倉市御成町*0.6 秦野市平沢*0.6 2 取手市寺田*2.4 つくば市小基*2.4 鉾田市当間*2.4 坂東市岩井*2.1 笠間市中央*2.1 土浦市常名*2.0 筑西市門井*2.0 つくば市谷田部*1.9 取手市井野*1.9 牛久中央*1.9 笠間市下郷*1.8 笠間市石井*1.8 つくばみらい市福田*1.8 土浦市下高津*1.8 坂東市馬立*1.8 稲敷市江戸崎甲*1.7 石岡市八郷*1.7 かすみがうら市上土田*1.7 小美玉市上玉里*1.7 土浦市藤沢*1.7 石岡市柿岡*1.7 坂東市役所*1.7 小美玉市小川*1.6 石岡市石岡*1.6 守谷市大柏*1.6 小美玉市堅倉*1.6 取手市藤代*1.5 桜川市真壁*1.5 桜川市羽田*1.5 水戸市内原町*1.5 茨城町小堤*1.5 つくばみらい市加藤*1.5 茨城古河市仁連*1.5 筑西市舟生*1.5 日立市役所*1.5 1 常陸大宮市野口*1.4 下妻市本城町*1.4 つくば市天王台*1.4 茨城鹿嶋市鉢形*1.4 美浦村受領*1.4 稲敷市役所*1.4 稲敷市結佐*1.4 かすみがうら市大和田*1.4 桜川市岩瀬*1.4 常総市水海道諏訪町*1.4 鉾田市鉾田*1.3 筑西市海老ヶ島*1.3 常総市新石下*1.3 稲敷市柴崎*1.3 龍ヶ崎市寺後*1.3 結城市結城*1.2 阿見町中央*1.2 河内町源清田*1.2 境町旭町*1.2 利根町布川*1.2 坂東市山*1.2 下妻市鬼怒*1.2 鉾田市造谷*1.1 鉾田市汲上*1.1 水戸市中央*1.1 行方市山田*1.1 行方市玉造*1.1 五霞町小福田*1.1 茨城古河市下大野*1.1 水戸市金町*1.0 水戸市千波町*1.0 行方市麻生*1.0 八千代町菅谷*1.0 潮来市辻*1.0 神栖市溝口*0.9 茨城鹿嶋市宮中*0.9 城里町阿波山*0.9 常陸大宮市北町*0.9 常陸大宮市山方*0.8 稲敷市須賀津*0.8 大子町池田*0.7 日立市助川小学校*0.7 常陸大宮市上小瀬*0.6 高萩市安良川*0.5</p>				
		<p>2 真岡市石島*2.4 壬生町通町*1.8 下野市小金井*1.8 市貝町市塙*1.7 下野市石橋*1.5 宇都宮市明保野町*1.5 鹿沼市晃望台*1.5 1 栃木市旭町*1.4 真岡市田町*1.4 益子町益子*1.4 真岡市荒町*1.3 鹿沼市今宮町*1.2 西方町本城*1.1 岩舟町静*1.1 塩谷町玉生*1.1 宇都宮市中里町*1.1 足利市大正町*1.1 佐野市高砂町*1.1 鹿沼市口栗野*1.1 日光市鬼怒川温泉大原*1.0 日光市湯元*1.0 大田原市湯津上*1.0 茂木町茂木*1.0 芳賀町祖母井*1.0 高根沢町石末*1.0 小山市神鳥谷*0.9 都賀町家中*0.9 日光市中鉢石町*0.9 栃木藤岡町藤岡*0.8 日光市今市本町*0.8 大平町富田*0.7 日光市足尾町中才*0.6 上三川町しらさぎ*0.6 日光市瀬川*0.6 宇都宮市塙田*0.5 那須烏山市中央*0.5 日光市足尾町松原*0.5 2 宮代町笠原*2.2 春日部市谷原新田*2.1 白岡町千駄野*2.0 春日部市中央*1.9 春日部市金崎*1.9 志木市中宗岡*1.9 草加市高砂*1.8 和光市広沢*1.8 八潮市中央*1.8 吉川市吉川*1.8 杉戸町清地*1.8 さいたま大宮区天沼町*1.8 久喜市下早見*1.8 三郷市幸房*1.7 さいたま浦和区高砂*1.7 越谷市越ヶ谷*1.7 新座市野火止*1.7 久喜市青葉*1.6 川口市中青木分室*1.6 さいたま中央区下落合*1.6 富士見市鶴馬*1.6 幸手市東*1.6 熊谷市大里*1.5 埼玉三芳町藤久保*1.5 所沢市北有楽町*1.5 さいたま岩槻区本町*1.5 戸田市上戸田*1.5 朝霞市本町*1.5 1 狭山市入間川*1.4 蕨市中央*1.4 入間市豊岡*1.4 鳩ヶ谷市三ツ和*1.4 桶川市泉*1.4 鴻巣市中央*1.3 川口市青木*1.3 上尾市本町*1.3 川島町平沼*1.3 騎西町騎西*1.2 吉見町下細谷*1.0 所沢市並木*1.0 さいたま浦和区常盤*1.0 東松山市松葉町*0.9 行田市本丸*0.8 毛呂山町岩井*0.8 川越市旭町*0.7 行田市南河原*0.7 加須市下三俣*0.7 東松山市市ノ川*0.7 北本市本町*0.7 滑川町福田*0.6 埼玉美里町木部*0.6 熊谷市桜町*0.6 熊谷市妻沼*0.6 本庄市児玉町*0.6 飯能市征矢町*0.5 越生町越生*0.5 長瀨町野上下郷*0.5 2 成田市花崎町*2.1 千葉中央区都町*2.1 千葉花見川区花島町*2.1 柏市旭町*2.0 木更津市貝渕*2.0 千葉美浜区真砂*2.0 成田市中台*2.0 浦安市猫実*1.9 木更津市役所*1.9 千葉稲毛区園生町*1.9 我孫子市我孫子*1.8 千葉中央区千葉市役所*1.8 市川市八幡*1.7 船橋市湊町*1.7 野田市鶴奉*1.7 市原市姉崎*1.7 流山市平和台*1.7 千葉若葉区小倉台*1.7 千葉緑区おゆみ野*1.7 千葉美浜区稲毛海岸*1.7 大多喜町大多喜*1.6 香取市佐原下川岸*1.6 千葉中央区中央港*1.6 千葉佐倉市海隣寺町*1.6 習志野市鷺沼*1.5 香取市役所*1.5 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.5 君津市久留里市場*1.5 1 芝山町小池*1.4 野田市東宝珠花*1.4 成田国際空港*1.4 成田市松子*1.4 柏市大島田*1.4 印西市大森*1.4 印旛村瀬戸*1.4 本埜村笠神*1.4 千葉栄町安食台*1.4 松戸市根本*1.3 八千代市大和田新田*1.3 白井市復*1.3 東金市日吉台*1.3 富津市下飯野*1.2 鋸南町下佐久間*1.2 南房総市富浦町青木*1.2 成田市役所*1.2 八街市八街*1.2 富里市七栄*1.1 木更津市太田*1.1 東金市東岩崎*1.1 旭市南堀之内*1.1 香取市仁良*1.1 柏市柏*1.1 市原市国分寺台中央*1.1 四街道市鹿渡*1.1 長柄町大津倉*1.0 南房総市谷向*1.0 長南町長南*1.0 香取市佐原諏訪台*1.0 千葉酒々井町中央台*1.0 茂原市道表*1.0 東金市東新宿*1.0 千葉神崎町神崎本宿*1.0 多古町多古*1.0 館山市長須賀*0.9 長柄町桜谷*0.9 君津市久保*0.8 千葉一宮町一宮*0.8 鴨川市横渚*0.7 袖ヶ浦市坂戸市場*0.7 大網白里町大網*0.7 香取市岩部*0.5</p>				
		<p>1 葛尾村落合関下*1.0 玉川村小高*0.8 1 沼田市白沢町*1.3 邑楽町中野*1.2 前橋市柏川町*1.1 群馬千代田町赤岩*1.1 前橋市堀越町*1.0 大泉町日の出*1.0 沼田市利根町*0.9 桐生市元宿町*0.9 桐生市黒保根町*0.9 伊勢崎市西久保町*0.9 太田市西本町*0.9 桐生市新里町*0.8 片品村東小川*0.8 みどり市大間々町*0.7 館林市美園町*0.7 群馬明和町新里*0.7 板倉町板倉*0.6 前橋市富士見町*0.6 片品村鎌田*0.6 太田市浜町*0.6 沼田市下久屋町*0.6 館林市城町*0.5 1 富士河口湖町長浜*1.3 富士河口湖町船津*1.2 笛吹市境川町藤袋*1.1 甲府市飯田*0.8 大月市御太刀*0.6 甲府市相生*0.5 市川三郷町岩間*0.5 1 長野南牧村海ノ口*0.7 1 東伊豆町奈良本*1.4 熱海市網代*1.3 熱海市泉*0.9 富士宮市野中*0.9 静岡葵区駒形通*0.7</p>				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
28	5 02 02	岐阜県美濃中西部 愛知県	35° 12.3' N	136° 41.9' E	15km	M: 2.9
		1 甚目寺町甚目寺二伴田*0.8 一宮市緑*0.7 一宮市西五城*0.6				
29	5 02 37	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 17.9' N	141° 51.1' E	47km	M: 3.7
		1 一関市室根町*0.7 一関市千厩町*0.5 1 石巻市北上町*0.7 石巻市鮎川浜*0.5				
30	5 10 59	栃木県北部 茨城県	36° 58.0' N	140° 10.8' E	100km	M: 4.2
		3 鉦田市当間*2.8 小美玉市堅倉*2.6 2 日立市助川小学校*2.3 笠間市中央*2.3 水戸市内原町*2.2 水戸市千波町*2.2 ひたちなか市東石川*2.2 常陸大宮市野口*2.2 小美玉市小川*2.2 土浦市下高津*2.2 ひたちなか市南神敷台*2.1 土浦市常名*2.1 常陸太田市大中町*2.1 石岡市八郷*2.1 常陸大宮市上小瀬*2.0 城里町阿波山*2.0 日立市十王町友部*2.0 高萩市安良川*2.0 常陸大宮市北町*2.0 常陸太田市高柿町*2.0 茨城鹿嶋市鉢形*2.0 茨城鹿嶋市宮中*2.0 石岡市柿岡*1.9 笠間市石井*1.9 水戸市金町*1.9 笠間市下郷*1.9 かすみがうら市土上土田*1.9 常陸太田市町田町*1.8 日立市役所*1.8 常陸太田市町屋町*1.8 桜川市羽田*1.7 大子町池田*1.7 水戸市中央*1.7 つくば市谷田部*1.7 小美玉市上玉里*1.7 筑西市門井*1.7 桜川市岩瀬*1.6 石岡市石岡*1.6 大洗町磯浜町*1.6 常陸大宮市高部*1.6 城里町石塚*1.6 潮来市辻*1.6 坂東市馬立*1.6 坂東市役所*1.6 土浦市藤沢*1.6 茨城町小堤*1.6 坂東市山*1.5 稲敷市江戸崎甲*1.5 行方市玉造*1.5 鉦田市波上*1.5 那珂市福田*1.5 1 高萩市本町*1.4 取手市寺田*1.4 つくば市天王台*1.4 境町旭町*1.4 かすみがうら市大和田*1.4 行方市麻生*1.4 鉦田市造谷*1.4 稲敷市役所*1.3 筑西市舟生*1.3 常陸太田市金井町*1.3 行方市山田*1.3 茨城古河市下大野*1.3 美浦町家中*1.0 下妻市鬼怒*1.2 筑西市海老ヶ島*1.2 つくば市小茎*1.2 桜川市真壁*1.2 鉦田市鉦田*1.2 城里町徳蔵*1.2 稲敷市柴崎*1.1 下妻市本城町*1.1 神栖市溝口*1.1 北茨城市磯原町*1.1 常総市水海道諏訪町*1.0 那珂市瓜連*1.0 稲敷市須賀津*1.0 結城市結城*1.0 阿見町中央*0.9 常総市新石下*0.9 稲敷市結佐*0.9 坂東市岩井*0.8 常陸大宮市中富町*0.8 茨城古河市長谷町*0.8 五霞町小福田*0.8 東海村東海*0.8 守谷市大柏*0.7 牛久市中央*0.7 つくばみらい市福田*0.6 利根町布川*0.5 栃木県 3 茂木町茂木*2.5 2 那須烏山市中央*2.0 下野市小金井*2.0 下野市石橋*1.9 宇都宮市明保野町*1.8 高根沢町石末*1.8 下野市田中*1.8 鹿沼市晃望台*1.7 真岡市田町*1.7 大田原市湯津上*1.6 宇都宮市中里町*1.6 市貝町市岡*1.6 栃木那珂川町馬頭*1.6 栃木市入舟町*1.5 佐野市中町*1.5 壬生町通町*1.5 大平町富田*1.5 1 佐野市田沼町*1.4 那須烏山市大金*1.4 栃木那珂川町小川*1.4 那須町寺子*1.3 栃木市旭町*1.3 鹿沼市今宮町*1.3 真岡市荒町*1.3 芳賀町祖母井*1.3 岩舟町静*1.3 小山市神鳥谷*1.2 真岡市石島*1.2 大田原市本町*1.2 栃木さくら市喜連川*1.1 足利市大正町*1.1 那須烏山市役所*1.0 西方町本城*1.0 都賀町家中*1.0 益子町益子*0.9 佐野市葛生東*0.9 日光市中鉢石町*0.9 佐野市高砂町*0.8 鹿沼市口栗野*0.8 栃木さくら市氏家*0.7 日光市今市本町*0.7 上三川町しらさぎ*0.7 宇都宮市旭*0.7 栃木藤岡町藤岡*0.7 宇都宮市塙田*0.6 日光市足尾町中才*0.6 大田原市黒羽田町*0.6 塩谷町玉生*0.6 那須塩原市鍋掛*0.6 那須塩原市塩原庁舎*0.6 日光市鬼怒川温泉大原*0.5 日光市足尾町松原*0.5 福島県 2 矢祭町東館館本*2.2 白河市表郷*2.1 浪江町幾世橋*1.9 白河市新白河*1.9 楡葉町北田*1.9 葛尾村落合関下*1.8 矢祭町東館下上野内*1.8 いわき市三和町*1.8 浅川町浅川*1.7 福島広野町下北迫大谷地原*1.7 双葉町新山*1.6 二本松市針道*1.5 棚倉町棚倉中居野*1.5 田村市大越町*1.5 田村市都路町*1.5 いわき市小名浜*1.5 白河市東*1.5 1 小野町中通*1.4 いわき市錦町*1.4 富岡町本岡*1.3 川内村上川内早渡*1.3 玉川村小高*1.3 小野町小野新町*1.3 平田村永田*1.3 鏡石町不時沼*1.2 大熊町下野上*1.2 福島広野町下北迫苗代替*1.2 田村市滝根町*1.2 いわき市平四ツ波*1.1 大熊町野上*1.1 古殿町松川*1.1 田村市船引町*1.1 塙町塙*1.1 川内村下川内*1.1 南相馬市鹿島区*1.0 二本松市郭内*1.0 天栄村下松本*1.0 西郷村熊倉*1.0 泉崎村泉崎*1.0 二本松市油井*1.0 川俣町五百田*1.0 田村市常葉町*1.0 本宮市糠沢*1.0 南相馬市原町区高見町*1.0 相馬市中村*0.9 白河市郭内*0.9 郡山市開成*0.8 須賀川市岩瀬支所*0.8 鮫川村赤坂中野*0.8 川内村上川内小山平*0.8 郡山市湖南町*0.7 葛尾村落合落合*0.7 南相馬市原町区三島町*0.7 石川町下泉*0.7 郡山市朝日*0.7 須賀川市八幡山*0.7 棚倉町棚倉館ヶ丘*0.6 群馬県 2 邑楽町中野*1.7 1 館林市美園町*1.4 大泉町日の出*1.3 館林市城町*1.2 群馬千代田町赤岩*1.1 太田市西本町*0.9 群馬明和町新里*0.9 宮城県 1 岩沼市桜*1.4 角田市角田*0.7 山元町浅生原*0.6 亙理町下小路*0.6 名取市増田*0.5 埼玉県 1 久喜市下早見*1.2 滑川町福田*1.1 東松山市松葉町*0.7 嵐山町杉山*0.7 東松山市市ノ川*0.6 久喜市青葉*0.6 上尾市本町*0.6 行田市南河原*0.5 熊谷市妻沼*0.5 千葉県 1 成田市花崎町*1.3 香取市役所*1.2 香取市仁良*1.2 千葉稲毛区園生町*1.2 香取市佐原下川岸*1.1 香取市佐原諏訪台*1.1 千葉佐倉市海隣寺町*1.1 千葉神崎町神崎本宿*1.0 香取市羽根川*1.0 成田市松子*1.0 白井市復*1.0 千葉花見川区花島町*0.9 成田国際空港*0.9 成田市中台*0.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*0.9 印旛村瀬戸*0.9 千葉中央区都町*0.7 千葉美浜区稲毛海岸*0.7 富里市七栄*0.7 柏市旭町*0.6 多古町多古*0.5 芝山町小池*0.5 千葉栄町安食台*0.5				
31	5 15 14	豊後水道 高知県 愛媛県	33° 12.6' N	132° 20.8' E	38km	M: 3.2
		2 宿毛市桜町*1.6 1 宇和島市丸穂*1.1 愛南町船越*0.6				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
32	6 20 52	宮古島近海 沖縄県 2 宮古島市平良西仲宗根=1.8 1 宮古島市平良狩俣*=1.2 宮古島市城辺福北=1.1 宮古島市平良西里*=1.0 宮古島市平良下里=0.9 宮古島市城辺福西*=0.7	24° 49.1' N	125° 23.4' E	49km	M: 4.0
33	7 00 17	大分県西部 大分県 1 日田市三本松=0.8	33° 22.3' N	130° 55.0' E	12km	M: 2.7
34	7 04 42	八丈島東方沖 東京都 1 八丈町大賀郷金土川*=0.5	32° 52.0' N	140° 44.9' E	56km	M: 4.0
35	7 06 16	伊豆大島近海 東京都 1 伊豆大島町岡田*=0.5	34° 47.9' N	139° 18.5' E	1km	M: 1.6
36	7 13 42	三陸沖 宮城県 1 石巻市桃生町*=0.9 大崎市田尻*=0.7	38° 28.2' N	143° 10.2' E	26km	M: 4.5
37	8 01 04	長野県南部 長野県 1 王滝村鈴ヶ沢*=0.7	35° 51.5' N	137° 29.9' E	6km	M: 2.2
38	8 01 17	伊豆大島近海 東京都 2 伊豆大島町岡田*=1.9 1 伊豆大島町元町=0.9 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=0.6	34° 47.5' N	139° 19.4' E	7km	M: 2.3
39	8 01 18	伊豆大島近海 東京都 1 伊豆大島町岡田*=0.5	34° 48.0' N	139° 19.9' E	7km	M: 1.4
40	8 01 19	伊豆大島近海 東京都 2 伊豆大島町岡田*=1.5	34° 47.6' N	139° 19.3' E	6km	M: 1.8
41	8 01 24	<b>日高支庁東部</b> 北海道 4 浦河町潮見(旧)=3.7 3 浦河町築地*=3.2 浦河町野深=2.9 新ひだか町静内山手町=2.5 2 新ひだか町三石旭町*=2.4 芽室町東2条*=2.4 幕別町忠類錦町*=2.4 浦幌町桜町*=2.4 函館市泊町*=2.2 新冠町北星町*=2.2 広尾町西4条*=2.2 新ひだか町静内御幸町*=2.1 様似町栄町*=2.1 十勝大樹町東本通*=2.0 むかわ町穂別*=1.9 鹿追町東町*=1.8 十勝大樹町生花*=1.8 十勝池田町西1条*=1.8 安平町早来北進*=1.8 更別村更別*=1.8 むかわ町松風*=1.7 千歳市若草*=1.7 平取町振内*=1.7 広尾町並木通=1.7 豊頃町茂岩本町*=1.6 厚真町京町*=1.5 千歳市支笏湖温泉*=1.5 釧路市音別町直別*=1.5 1 函館市川汲町*=1.4 三笠市若松町*=1.4 室蘭市寿町*=1.4 安平町追分柏が丘*=1.4 日高支庁日高町門別*=1.4 えりも町目黒*=1.4 新得町2条*=1.4 十勝清水町南4条=1.4 本別町向陽町*=1.3 中札内村東2条*=1.3 釧路市阿寒町中央*=1.3 帯広市東6条*=1.3 新ひだか町静内農屋*=1.3 新千歳空港=1.2 恵庭市京町*=1.2 江別市緑町*=1.2 帯広市東4条=1.2 岩見沢市栗沢町東本町*=1.2 音更町元町*=1.2 平取町本町*=1.2 美唄市西5条=1.1 小樽市勝納町=1.1 本別町北2丁目=1.1 南幌町栄町*=1.1 長沼町中央*=1.1 釧路市音別町尺別=1.1 栗山町松風*=1.1 胆振伊達市大滝区本町*=1.1 足寄町南1条*=1.1 千歳市北栄=1.1 登別市桜木町*=1.1 札幌北区太平*=1.0 中富良野町市街地*=1.0 幕別町本町*=1.0 北広島市共栄*=0.9 えりも町えりも岬*=0.9 苫小牧市旭町*=0.9 日高支庁日高町日高*=0.9 白糠町西1条*=0.8 白老町大町=0.8 江別市高砂町=0.8 月形町円山公園*=0.7 苫小牧市末広町=0.7 函館市尾札部町=0.7 岩見沢市5条=0.7 上士幌町清水谷*=0.7 士幌町士幌*=0.7 上士幌町上士幌*=0.7 幕別町忠類明和=0.7 平取町仁世宇=0.6 胆振伊達市梅本=0.6 上砂川町上砂川*=0.6 函館市日ノ浜町*=0.6 南富良野町役場*=0.6 占冠村中央*=0.6 由仁町新光*=0.5 浦臼町ウラウスナイ*=0.5 石狩市花川=0.5 七飯町本町*=0.5 青森県 2 東通村小田野沢*=2.1 東通村砂子又*=1.9 大間町大間*=1.8 八戸市南郷区*=1.5 階上町道仏*=1.5 1 野辺地町田狭沢*=1.4 むつ市大畑町中島*=1.4 七戸町森ノ上*=1.3 野辺地町野辺地*=1.1 東北町上北南*=1.1 五戸町古館=1.1 むつ市金曲=1.1 むつ市金谷*=1.0 八戸市湊町=1.0 八戸市内丸*=1.0 おいらせ町中下田*=0.9 むつ市川内町*=0.9 三沢市桜町*=0.9 五戸町倉石中市*=0.9 青森南部町沖田面*=0.9 七戸町七戸*=0.8 青森南部町苦米地*=0.8 横浜町林ノ脇*=0.8 横浜町寺下*=0.7 つがる市稲垣町*=0.7 六ヶ所村尾駈=0.7 田舎館村田舎館*=0.7 風間浦村易国間*=0.6 佐井村佐井*=0.6 おいらせ町上明堂*=0.6 十和田市西十二番町*=0.5 青森市浪岡*=0.5 岩手県 1 二戸市福岡=1.3 盛岡市玉山区藪川*=1.1 二戸市浄法寺町*=1.1 軽米町軽米*=1.1 八幡平市野駄*=0.8	42° 11.5' N	142° 58.3' E	51km	M: 4.8
42	8 07 47	釧路支庁中南部 北海道 1 釧路市音別町直別*=0.7	43° 03.3' N	144° 04.1' E	88km	M: 2.9
43	8 10 02	千葉県西北部 茨城県 2 取手市井野*=1.6 1 つくば市小笠*=1.3 坂東市岩井=1.1 土浦市下高津*=1.0 取手市寺田*=1.0 つくば市谷田部*=1.0 土浦市常名=0.7 稲敷市江戸崎甲*=0.6 つくば市天王台*=0.5 利根町布川=0.5 神奈川県 2 横浜港北区日吉本町*=1.5	35° 45.3' N	140° 05.5' E	41km	M: 4.1



地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		1 横浜緑区白山* =1.2 横浜神奈川区白幡上町* =1.1 川崎川崎区宮前町* =1.1 川崎宮前区野川* =1.1 横浜青葉区市ヶ尾町* =1.0 横浜都筑区池辺町* =1.0 川崎中原区小杉町* =1.0 川崎宮前区宮前平* =1.0 川崎幸区戸手本町* =0.8 川崎高津区下作延* =0.5 綾瀬市深谷* =0.5 清川村煤ヶ谷* =0.5 埼玉県 1 さいたま浦和区高砂=0.9 千葉県 1 千葉中央区都町* =1.3 市原市姉崎* =1.3 千葉稲毛区園生町* =1.2 千葉若葉区小倉台* =1.2 千葉花見川区花島町* =1.2 千葉緑区おゆみ野* =1.1 大多喜町大多喜* =1.1 千葉佐倉市海隣寺町* =1.0 東金市日吉台* =1.0 成田市花崎町=1.0 君津市久留里市場* =0.9 東金市東岩崎* =0.8 千葉美浜区稲毛海岸* =0.8 芝山町小池* =0.8 東金市東新宿=0.7 千葉栄町安食台* =0.7 成田市中台* =0.7 茂原市道表* =0.7 柏市旭町=0.7 香取市佐原諏訪台* =0.5 長柄町大津倉=0.5 東京都 1 町田市中町* =1.4 東京新宿区上落合* =1.3 東京中野区中野* =1.3 東京文京区本郷* =1.1 小平市小川町* =1.1 東京千代田区大手町=1.1 東京新宿区百人町* =1.0 国分寺市戸倉=0.9 東京江東区枝川* =0.9 東京世田谷区三軒茶屋* =0.9 東京杉並区桃井* =0.9 東京北区西ヶ原* =0.9 武蔵野市吉祥寺東町* =0.9 東京江東区森下* =0.9 東京墨田区吾妻橋* =0.8 東京江東区東陽* =0.8 東京江戸川区船堀* =0.8 八王子市堀之内* =0.8 東京中央区勝どき* =0.8 東京大田区多摩川* =0.8 東京品川区北品川* =0.7 東京国際空港=0.7 東京渋谷区宇田川町* =0.7 東大和市中央* =0.7 東京中野区中央* =0.7 東京中野区江古田* =0.7 東京杉並区高井戸* =0.7 東京北区赤羽南* =0.7 東京足立区神明南* =0.7 東京江戸川区中央=0.7 東京葛飾区立石* =0.6 東京大田区本羽田* =0.6 東京世田谷区世田谷* =0.6 東京港区南青山* =0.6 東京千代田区九段南* =0.6 町田市忠生* =0.6 東京荒川区東尾久* =0.6 東京文京区スポーツセンター* =0.6 狛江市和泉本町* =0.6 町田市役所* =0.5 東京足立区伊興* =0.5 国分寺市本多* =0.5 三鷹市野崎* =0.5				
44	8 13 36	新潟県中越地方 新潟県	37° 15.6' N	138° 36.5' E	12km	M: 2.6
		2 柏崎市高柳町岡野町* =2.0				
45	8 22 33	福島県沖 宮城県	37° 41.9' N	141° 45.3' E	49km	M: 4.5
		2 石巻市桃生町* =2.0 亘理町下小路* =2.0 塩竈市旭町* =1.9 角田市角田* =1.8 岩沼市桜* =1.7 東松島市矢本* =1.7 山元町浅生原* =1.6 名取市増田* =1.6 七ヶ浜町東宮浜* =1.6 石巻市北上町* =1.5 石巻市門脇* =1.5 1 涌谷町新町=1.4 宮城川崎町前川* =1.4 丸森町鳥屋* =1.4 東松島市小野* =1.4 蔵王町円田* =1.3 栗原市金成* =1.3 栗原市志波姫* =1.3 宮城美里町木間塚* =1.3 利府町利府* =1.3 大崎市鹿島台* =1.3 仙台空港=1.3 大崎市松山* =1.2 大河原町新南* =1.2 南三陸町歌津* =1.2 丸森町上滝=1.2 色麻町四籠* =1.2 仙台青葉区作並* =1.2 仙台泉区将監* =1.2 登米市中田町=1.1 大崎市田尻* =1.1 大衡村大衡* =1.1 柴田町船岡=1.1 仙台若林区遠見塚* =1.1 栗原市瀬峰* =1.1 栗原市築館* =1.0 女川町女川浜* =1.0 仙台青葉区大倉=1.0 大崎市古川三日町=1.0 仙台宮城野区苦竹* =1.0 登米市米山町* =1.0 大崎市三本木* =1.0 石巻市泉町=1.0 石巻市前谷地* =1.0 登米市南方町* =1.0 松島町高城=1.0 石巻市鮎川浜* =0.9 登米市迫町* =0.9 仙台太白区山田* =0.9 白石市亘理町* =0.9 大郷町粕川* =0.9 仙台宮城野区五輪=0.9 宮城加美町中新田* =0.8 栗原市若柳* =0.8 栗原市高清水* =0.7 宮城美里町北浦* =0.7 村田町村田* =0.7 仙台青葉区落合* =0.7 栗原市一迫* =0.7 栗原市栗駒=0.7 南三陸町志津川=0.7 気仙沼市笹か陣* =0.6 石巻市相野谷* =0.6 富谷町富谷* =0.6 大崎市古川北町* =0.6 登米市東和町* =0.6 仙台青葉区雨宮* =0.5 気仙沼市唐桑町* =0.5 大和町吉岡* =0.5 2 相馬市中村* =2.1 新地町谷地小屋* =2.0 楡葉町北田* =1.8 南相馬市原町区高見町* =1.8 国見町藤田* =1.6 南相馬市鹿島区* =1.6 葛尾村落合関下* =1.5 福島伊達市梁川町* =1.5 1 川俣町五百田* =1.4 浪江町幾世橋=1.4 田村市滝根町* =1.3 福島伊達市保原町* =1.3 福島伊達市月館町* =1.3 桑折町東大隅* =1.2 福島伊達市前川原* =1.2 川内村下川内=1.2 南相馬市原町区三島町=1.2 福島広野町下北迫大谷地原* =1.1 二本松市油井* =1.0 玉川村小高* =1.0 田村市船引町=1.0 川内村上川内早渡* =1.0 田村市大越町* =0.9 田村市都路町* =0.9 二本松市針道* =0.9 本宮市本宮* =0.9 いわき市三和町=0.9 富岡町本岡* =0.9 飯館村伊丹沢* =0.9 田村市常葉町* =0.8 福島市桜木町* =0.8 天栄村下松本* =0.8 二本松市郭内* =0.8 大熊町下野上* =0.8 福島市松木町=0.8 川内村上川内小山平* =0.7 小野町小野新町* =0.7 本宮市糠沢* =0.7 大熊町野上* =0.6 白河市新白河* =0.5 須賀川市八幡山* =0.5 福島広野町下北迫苗代替* =0.5 郡山市朝日=0.5 岩手県 1 一関市室根町* =1.0 一関市千厩町* =0.9 藤沢町藤沢* =0.6				
46	9 01 35	和歌山県北部 和歌山県	34° 08.9' N	135° 10.8' E	5km	M: 2.1
		1 海南市日方* =1.0 海南市下津* =1.0				
47	9 07 34	群馬県南部 群馬県	36° 21.8' N	139° 21.5' E	10km	M: 2.2
		1 桐生市元宿町* =0.9				
48	9 15 45	苫小牧沖 北海道 青森県	41° 42.1' N	141° 27.8' E	96km	M: 3.4
		1 函館市泊町* =0.8 1 東通村小田野沢* =0.8 東通村砂子又* =0.7				
49	9 16 43	沖縄本島北西沖 沖縄県	26° 45.1' N	126° 27.7' E	6km	M: 3.6
		1 久米島町比嘉* =0.9				
50	9 17 02	福島県沖 宮城県 福島県	37° 41.7' N	141° 50.2' E	39km	M: 4.0
		1 亘理町下小路* =0.9 石巻市桃生町* =0.7 1 楡葉町北田* =0.7				
51	10 00 21	茨城県沖 茨城県	36° 38.1' N	141° 01.9' E	47km	M: 4.2
		2 高萩市安良川* =2.3 鉾田市当間* =2.2 日立市十王町友部* =2.0 高萩市本町* =1.9				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		日立市助川小学校*1.9 土浦市常名*1.8 水戸市金町*1.8 常陸太田市高柿町*1.7 ひたちなか市南神敷台*1.7 日立市役所*1.6 大子町池田*1.5 1 茨城町小堤*1.4 那珂市瓜連*1.4 城里町阿波山*1.4 常陸太田市町屋町*1.3 常陸大宮市北町*1.3 常陸大宮市野口*1.3 那珂市福田*1.3 桜川市岩瀬*1.3 鉾田市波上*1.3 土浦市下高津*1.2 つくば市谷田部*1.2 水戸市中央*1.2 小美玉市堅倉*1.2 東海村東海*1.1 茨城鹿嶋市鉢形*1.1 茨城鹿嶋市宮中*1.1 常陸太田市町田町*1.1 鉾田市鉢田*1.1 小美玉市小川*1.1 笠間市中央*1.1 城里町石塚*1.0 笠間市石井*1.0 鉾田市造谷*1.0 ひたちなか市東石川*1.0 小美玉市上玉里*0.9 水戸市内原町*0.9 石岡市柿岡*0.9 稲敷市江戸崎甲*0.9 かすみがうら市上土田*0.9 笠間市下郷*0.8 取手市寺田*0.8 北茨城市磯原町*0.8 つくば市小茎*0.8 桜川市羽田*0.7 美浦村受領*0.7 常陸大宮市上小瀬*0.7 筑西市門井*0.7 行方市麻生*0.7 潮来市辻*0.6 坂東市役所*0.6 常陸大宮市山方*0.6 つくば市天王台*0.6 常陸大宮市高部*0.6 行方市山田*0.6 かすみがうら市大和田*0.5 稲敷市須賀津*0.5 筑西市海老ヶ島*0.5 福島県 1 玉川村小高*1.3 いわき市平四ツ波*1.3 福島広野町下北迫大谷地原*1.3 楡葉町北田*1.1 いわき市小名浜*1.0 いわき市錦町*0.7 富岡町本岡*0.7 いわき市三和町*0.7 福島広野町下北迫苗代替*0.7 浪江町幾世橋*0.6 棚倉町棚倉中居野*0.6 白河市新白河*0.6 川内村下川内*0.6 田村市都路町*0.5 浅川町浅川*0.5 大熊町野上*0.5 栃木県 1 真岡市石島*1.2 真岡市田町*0.9 益子町益子*0.9 茂木町茂木*0.6 栃木那珂川町馬頭*0.5 千葉県 1 香取市佐原下川岸*0.9 香取市仁良*0.7 成田市花崎町*0.7 香取市佐原諏訪台*0.6				
52	10 00 39	青森県東方沖 青森県	41° 10.6' N	142° 15.2' E	50km	M: 4.0
		2 八戸市内丸*1.8 青森南部町平*1.8 東通村砂子又*1.8 野辺地町野辺地*1.6 八戸市湊町*1.5 1 野辺地町田狭沢*1.4 七戸町森ノ上*1.4 青森南部町苫米地*1.4 東通村小田野沢*1.4 東北町上北南*1.2 五戸町古館*1.2 五戸町倉石中市*1.1 むつ市金谷*1.0 七戸町七戸*1.0 青森南部町沖田面*1.0 三沢市桜町*0.8 むつ市川内町*0.8 東通村尻屋*0.8 六ヶ所村尾駈*0.8 横浜町林ノ脇*0.8 むつ市金曲*0.8 おいらせ町中下田*0.7 十和田市奥瀬*0.6 十和田市西十二番町*0.5 平内町東田沢*0.5 北海道 1 函館市泊町*1.0 岩手県 1 軽米町軽米*1.1 二戸市石切所*0.9 二戸市福岡*0.6				
53	10 05 23	茨城県沖 茨城県	36° 22.5' N	140° 59.6' E	46km	M: 3.6
		1 高萩市安良川*1.1 日立市助川小学校*1.0 水戸市金町*0.8 ひたちなか市南神敷台*0.8 土浦市常名*0.6 水戸市千波町*0.5				
54	10 05 31	新潟県上越地方 新潟県	37° 06.7' N	138° 28.0' E	16km	M: 2.1
		1 上越市安塚区安塚*0.5 上越市大島区岡*0.5				
55	10 13 09	千葉県東方沖 千葉県	35° 33.7' N	141° 02.6' E	38km	M: 3.5
		1 銚子市若宮町*0.8				
56	10 17 45	西表島付近 沖縄県	23° 57.4' N	123° 34.9' E	32km	M: 4.0
		1 竹富町船浮*0.7				
57	10 18 29	根室半島南東沖 北海道	43° 09.5' N	146° 15.3' E	68km	M: 4.7
		3 根室市落石東*2.5 2 別海町常盤*2.4 根室市瑤瑤瑠*2.4 中標津町丸山*2.3 羅臼町岬町*2.0 根室市牧の内*1.8 別海町本別海*1.8 浜中町霧多布*1.7 標津町北2条*1.7 別海町西春別*1.7 標茶町塘路*1.6 根室市厚床*1.5 清里町羽衣町*1.5 1 釧路市黒金町*1.4 根室市豊里*1.4 羅臼町緑町*1.3 根室市弥栄*1.2 弟子屈町弟子屈*1.1 釧路市幸町*1.1 鶴居村鶴居東*1.0 中標津町養老牛*1.0 標津町薫別*1.0 白糠町西1条*0.9 厚岸町尾幌*0.9 十勝大樹町生花*0.9 厚岸町真栄町*0.8 弟子屈町サワチサップ*0.8 釧路市阿寒町中央*0.8 弟子屈町美里*0.8 釧路町別保*0.7 十勝池田町西1条*0.7 羅臼町春日*0.6 斜里町本町*0.6 標茶町川上*0.6 大空町東藻琴*0.6 斜里町ウトロ香川*0.5				
58	11 05 21	沖縄本島近海 鹿児島県 沖縄県	26° 49.5' N	128° 26.6' E	30km	M: 3.9
		2 与論町茶花*1.5 2 国頭村奥*1.7 国頭村辺土名*1.7 1 東村平良*0.9				
59	11 14 01	宗谷支庁北部 北海道	45° 05.0' N	141° 52.5' E	10km	M: 3.4
		3 豊富町西6条*3.1 2 幌延町宮園町*2.2 1 天塩町川口*1.1 稚内市沼川*1.0				
60	11 14 05	宗谷支庁北部 北海道	45° 05.1' N	141° 52.4' E	10km	M: 2.4
		1 豊富町西6条*0.9 幌延町宮園町*0.7				
61	11 14 08	宗谷支庁北部 北海道	45° 04.7' N	141° 51.9' E	10km	M: 3.7
		3 豊富町西6条*3.1 幌延町宮園町*2.9 2 天塩町川口*1.8 1 猿払村浅茅野*0.9 稚内市沼川*0.6				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
62	11 18 23	福島県会津 福島県 群馬県	37° 21.7' N	139° 45.1' E	5km	M: 3.1 1 柳津町大成沢=1.0 南会津町界*=1.0 下郷町高崎*=0.9 1 片品村鎌田*=0.6
63	11 19 25	福岡県北西沖 福岡県	33° 46.0' N	130° 10.1' E	11km	M: 3.2 1 福岡西区玄界島=1.3 志摩町初=0.9
64	12 11 01	岡山県北部 兵庫県 岡山県	35° 01.0' N	134° 10.5' E	16km	M: 3.3 2 佐用町下徳久*=1.6 1 上郡町大持*=1.3 佐用町佐用*=0.8 相生市旭=0.8 たつの市新宮町*=0.6 1 美作市福本*=1.1 美作市尾谷=1.0 備前市吉永町*=1.0 赤磐市周面*=1.0 和気町矢田*=0.9 津山市新野東*=0.8 和気町尺所*=0.8 美作市栄町*=0.8 津山市加茂町*=0.7 美作市真加部*=0.7 西粟倉村影石*=0.7 岡山美咲町久木*=0.7 鏡野町竹田*=0.6 岡山北区御津金川*=0.6 美作市太田*=0.5 赤磐市上市=0.5
65	12 15 51	茨城県沖 茨城県 栃木県 千葉県	36° 23.2' N	141° 08.0' E	48km	M: 3.9 2 水戸市金町=1.5 鉾田市当間*=1.5 1 鉾田市汲上*=1.4 ひたちなか市南神敷台*=1.3 土浦市常名=1.1 日立市助川小学校*=0.9 茨城鹿嶋市宮中*=0.9 水戸市中央*=0.9 茨城町小堤*=0.9 水戸市千波町*=0.8 那珂市福田*=0.8 ひたちなか市東石川*=0.8 茨城鹿嶋市鉢形=0.8 高萩市安良川*=0.7 水戸市内原町*=0.7 土浦市下高津*=0.7 石岡市柿岡=0.6 小美玉市堅倉*=0.5 笠間市中央*=0.5 小美玉市小川*=0.5 鉾田市鉾田=0.5 1 益子町益子=1.0 真岡市石島*=0.9 1 香取市佐原下川岸=0.8
66	12 16 03	宮城県北部 宮城県	38° 50.6' N	140° 49.4' E	6km	M: 2.7 1 栗原市栗駒=0.9 栗原市花山*=0.9 栗原市築館*=0.7 栗原市鶯沢*=0.5
67	12 23 30	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 00.2' N	137° 33.0' E	7km	M: 2.2 1 高山市高根町*=0.9
68	13 00 33	岡山県北部 兵庫県 岡山県	35° 01.1' N	134° 10.4' E	16km	M: 3.0 1 上郡町大持*=0.5 1 津山市新野東*=0.6 美作市栄町*=0.5
69	13 08 55	奄美大島北東沖 鹿児島県	29° 08.3' N	130° 06.5' E	64km	M: 4.4 1 鹿児島十島村悪石島*=1.3 奄美市笠利町里*=0.8 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.5
70	13 09 37	十勝支庁中部 北海道	42° 42.3' N	143° 22.3' E	45km	M: 3.6 2 浦幌町桜町*=1.9 1 十勝大樹町生花*=1.4 十勝池田町西1条*=1.2 幕別町忠類錦町*=1.1 豊頃町茂岩本町*=1.0 釧路市音別町直別*=1.0 更別村更別*=0.7 中札内村東2条*=0.6 幕別町本町*=0.6 帯広市東4条=0.6 本別町北2丁目=0.6 帯広市東6条*=0.5
71	13 17 37	青森県東方沖 北海道 青森県 岩手県	41° 16.5' N	142° 42.7' E	27km	M: 4.5 2 函館市泊町*=1.7 1 函館市美原=0.9 青森市若草*=0.7 函館市日ノ浜町*=0.5 新冠町北星町*=0.5 2 東通村小田野沢*=1.8 青森南部町平*=1.6 野辺地町野辺地*=1.6 1 野辺地町田狭沢*=1.4 五戸町古館=1.3 東通村砂子又*=1.2 八戸市湊町=1.1 七戸町森ノ上*=1.1 八戸市内丸*=1.0 青森南部町苦米地*=0.9 むつ市大畑町中島*=0.9 東北町上北南*=0.9 むつ市川内町*=0.8 五戸町倉石中市*=0.8 つがる市稲垣町*=0.7 むつ市金曲=0.7 むつ市金谷*=0.7 七戸町七戸*=0.7 平内町東田沢*=0.6 三沢市桜町*=0.6 青森南部町沖田面*=0.6 五所川原市金木町*=0.5 六ヶ所村尾駈=0.5 中泊町中里*=0.5 青森市花園=0.5 おいらせ町中下田*=0.5 横浜町林ノ脇*=0.5 1 軽米町軽米*=1.0 二戸市浄法寺町*=0.9 二戸市福岡=0.8 二戸市石切所*=0.6 盛岡市玉山区蕨川*=0.5 八幡平市田頭*=0.5
72	13 22 56	千葉県北西部 東京都 神奈川県	35° 48.1' N	140° 08.3' E	65km	M: 4.0 1 東京荒川区東尾久*=1.0 小平市小川町*=0.9 東京世田谷区三軒茶屋*=0.9 東京港区南青山*=0.8 東京渋谷区宇田川町*=0.7 東京葛飾区立石*=0.7 東京江戸川区中央=0.7 東京千代田区大手町=0.6 東京北区西ヶ原*=0.6 東京江戸川区船堀*=0.6 東京江戸川区鹿骨*=0.6 町田市町中町*=0.6 東京中央区勝どき*=0.6 東京足立区神明南*=0.5 武蔵野市吉祥寺東町*=0.5 東京品川区北品川*=0.5 1 川崎市崎区宮前町*=1.2 横浜中区山手町=0.9 川崎宮前区宮前平*=0.9 横浜青葉区市ヶ尾町*=0.8 横浜神奈川区白幡上町*=0.8 横浜緑区十日市場町*=0.7 横浜港南区丸山台東部*=0.5 三浦市城山町*=0.5
73	14 14 44	長野県南部 長野県	35° 53.9' N	137° 46.1' E	9km	M: 2.1 1 木曾町新開*=0.6
74	15 01 07	静岡県東部 神奈川県	35° 20.7' N	138° 56.4' E	15km	M: 3.7 2 小田原市荻窪*=2.3 神奈川山北町山北*=2.3 相模原市津久井町中野*=2.2 相模原市相原*=1.7 横浜青葉区市ヶ尾町*=1.6 相模原市相模湖町与瀬*=1.6 箱根町湯本*=1.6 相模原市大島*=1.5 1 横浜港南区丸山台東部*=1.4 横浜瀬谷区三ツ境*=1.4 南足柄市関本*=1.4 相模原市中央=1.3

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		<p>秦野市平沢* =1.3 中井町比奈窪* =1.2 相模原市城山町久保沢* =1.2 相模原市田名* =1.2                      横浜磯子区磯子* =1.2 開成町延沢* =1.1 横浜港南区丸山台北部* =1.1 横浜緑区十日市場町* =1.1                      相模原市上溝* =1.1 小田原市久野=1.1 松田町松田惣領* =1.0 秦野市曾屋=1.0 清川村煤ヶ谷* =1.0                      神奈川大井町金子* =1.0 愛川町角田* =0.9 横浜旭区上白根町* =0.9 横浜緑区白山* =0.9                      横浜南区別所* =0.9 横浜神奈川区白幡上町* =0.8 川崎宮前区宮前平* =0.8 大和市下鶴間* =0.8                      横浜保土ヶ谷区上菅田町* =0.8 厚木市七沢* =0.8 厚木市長谷* =0.7 横浜中区山手町=0.7                      横浜泉区和泉町* =0.7 綾瀬市深谷* =0.6 鎌倉市御成町* =0.6 鎌倉市由比ガ浜* =0.6                      茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.6</p> <p>山梨県                      2 富士河口湖町船津=2.0 山中湖村山中* =1.9 富士河口湖町長浜* =1.6                      1 甲州市大和町初鹿野* =1.3 都留市上谷* =1.2 上野原市役所* =1.2 富士吉田市上吉田* =1.1                      富士吉田市下吉田* =1.1 大月市御太刀* =1.1 甲州市役所* =1.0 忍野村忍草* =0.9 西桂町小沼* =0.9                      上野原市上野原=0.8 道志村役場* =0.7 富士河口湖町役場* =0.7 大月市役所* =0.7                      甲州市塩山上於曾* =0.6</p> <p>静岡県                      2 富士宮市野中* =1.7                      1 富士宮市弓沢町=1.3 小山町藤曲* =1.3 東伊豆町奈良本* =1.1 伊豆の国市四日町* =1.1                      御殿場市役所* =1.1 三島市東本町=1.0 御殿場市萩原=0.9 静岡清水町堂庭* =0.8 長泉町中土狩* =0.6</p> <p>群馬県                      1 群馬上野村川和* =0.6</p> <p>埼玉県                      1 所沢市北有楽町* =0.7</p> <p>東京都                      1 国分寺市本多* =1.3 小金井市本町* =1.2 八王子市大横町=1.1 国分寺市戸倉=1.1                      東大和市中央* =0.9 八王子市堀之内* =0.8 町田市忠生* =0.8 町田市中町* =0.6                      東京中野区中野* =0.5 日野市神明* =0.5</p> <p>長野県                      1 小海町豊里* =0.8 佐久市下小田切=0.5</p>				
75	15 04 20	和歌山県北部 和歌山県	33° 59.2' N	135° 18.1' E	5km	M: 2.7
		1 日高川町高津尾* =0.8 日高川町川原河* =0.5				
76	15 09 48	青森県東方沖 青森県	40° 40.1' N	142° 34.9' E	33km	M: 3.7
		1 八戸市内丸* =0.5				
77	15 14 19	茨城県南部 茨城県	36° 01.3' N	139° 56.1' E	40km	M: 2.6
		1 土浦市常名=0.5				
78	15 16 48	長野県南部 長野県	35° 55.8' N	137° 37.4' E	10km	M: 2.7
		1 木曾町新開* =0.7				
79	16 06 42	三重県中部 三重県	34° 48.1' N	136° 25.5' E	13km	M: 3.3
		2 津市河芸町浜田* =2.3 津市安濃町東観音寺* =2.2 鈴鹿市西条=2.1 津市島崎町=1.7 亀山市関町木崎* =1.5 津市一志町田尻* =1.5 亀山市本丸町* =1.5 1 四日市市日永=1.2 津市久居東鷹跡町* =1.0 津市芸濃町椋本* =0.9 津市西丸之内* =0.8 鈴鹿市神戸* =0.7 四日市市新浜町* =0.7 津市白山町川口* =0.7 伊賀市平田* =0.7				
80	16 10 48	浦河沖 北海道	42° 02.4' N	142° 36.2' E	62km	M: 3.5
		1 新ひだか町静内山手町=0.6 新ひだか町三石旭町* =0.6 新冠町北星町* =0.5				
81	16 12 52	釧路沖 北海道	42° 55.4' N	144° 01.0' E	81km	M: 3.0
		1 釧路市音別町直別* =0.9 十勝大樹町生花* =0.5				
82	16 18 28	千葉県南東沖 千葉県	34° 59.1' N	140° 29.1' E	60km	M: 3.4
		1 勝浦市新官* =1.2 大多喜町大多喜* =1.1 勝浦市墨名=1.0 鴨川市横渚* =0.7 長生村本郷* =0.5				
83	16 21 38	<b>大分県西部</b> 大分県	<b>33° 22.3' N</b>	<b>130° 54.9' E</b>	<b>12km</b>	<b>M: 3.5</b>
		3 中津市三光* =2.7 2 中津市耶馬溪町* =2.3 中津市豊田町* =2.1 中津市山国町* =2.0 日田市三本松=1.7 中津市上宮永=1.6 1 中津市植野* =1.0 豊後高田市御玉* =0.5 福岡県 2 上毛町垂水* =2.0 東峰村宝珠山* =1.6 上毛町東下* =1.5 嘉麻市上山田* =1.5 1 みやこ町犀川本庄* =1.4 福岡川崎町田原* =1.3 添田町添田* =1.2 東峰村小石原* =1.2 豊前市吉木* =1.1 行橋市今井* =1.0 飯塚市立岩* =1.0 赤村内田* =1.0 田川市中央町* =1.0 大任町大行事* =0.9 吉富町広津* =0.9 みやこ町豊津* =0.9 築上町椎田* =0.9 うきは市吉井町* =0.8 朝倉市杷木池田* =0.7 うきは市浮羽町* =0.7 嘉麻市上白井* =0.6 築上町築城* =0.6 嘉麻市岩崎* =0.6 朝倉市堤* =0.5 飯塚市川島=0.5 春日市原町* =0.5				
84	17 02 10	大分県西部 大分県	33° 22.3' N	130° 55.0' E	12km	M: 3.3
		2 中津市三光* =1.6 1 日田市三本松=1.4 日田市田島* =1.4 中津市耶馬溪町* =1.2 日田市天瀬町* =0.7 中津市上宮永=0.7 福岡県 1 赤村内田* =1.2 嘉麻市上山田* =1.2 東峰村宝珠山* =1.1 東峰村小石原* =1.1 大任町大行事* =0.9 福岡川崎町田原* =0.9 飯塚市立岩* =0.8 上毛町垂水* =0.8 朝倉市杷木池田* =0.6 添田町添田* =0.6 うきは市吉井町* =0.6 みやこ町犀川本庄* =0.5				
85	17 13 38	北海道東方沖 北海道	43° 48.3' N	147° 24.7' E	37km	M: 4.8
		1 標津町北2条* =0.7 根室市落石東* =0.5				
86	18 15 36	青森県東方沖 青森県	41° 33.2' N	142° 03.9' E	67km	M: 4.2
		2 東通村砂子又* =1.8 東通村小田野沢* =1.6				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 八戸市湊町=1.0 野辺地町田狭沢*=0.9 八戸市内丸*=0.8 六ヶ所村尾駱=0.7 野辺地町野辺地*=0.6 三沢市桜町*=0.6 むつ市金曲=0.5 北海道 1 様似町栄町*=0.9 えりも町えりも岬*=0.9 函館市泊町*=0.9				
87	19 01 36	西表島付近 沖縄県 1 竹富町船浮=0.6	23° 58.0' N	123° 34.7' E	31km	M: 3.9
88	19 01 46	京都府南部 京都府 2 南丹市園部町小桜町*=2.3 亀岡市安町=1.8 南丹市八木町八木*=1.8 京都右京区京北周山町*=1.7 1 福知山市三和町千束*=1.4 京都中京区西ノ京=1.3 南丹市日吉町保野田*=1.3 京丹波町本庄*=1.2 亀岡市余部町*=1.2 京丹波町蒲生*=1.2 久御山町田井*=1.1 八幡市八幡*=0.9 大山崎町円明寺*=0.8 与謝野町加悦*=0.7 京丹波町橋爪*=0.7 長岡京市開田*=0.6 大阪府 2 能勢町今西*=1.6 1 能勢町役場*=1.1 島本町若山台*=1.0 兵庫県 1 三田市下里*=1.3 篠山市杉*=0.9 丹波市市島町*=0.7 三木市細川町=0.5 篠山市北新町=0.5 奈良県 1 奈良市針町*=0.5	35° 05.8' N	135° 33.7' E	12km	M: 3.6
89	19 13 42	橋湾 長崎県 1 長崎市元町*=0.8 長崎市布巻町*=0.5	32° 37.2' N	129° 53.1' E	12km	M: 2.6
90	19 17 21	茨城県沖 福島県 1 白河市新白河*=0.5	36° 35.3' N	141° 22.7' E	48km	M: 3.7
91	19 18 03	天草灘 鹿児島県 1 薩摩川内市上甕町*=0.9 薩摩川内市下甕町青瀬=0.5	32° 04.5' N	129° 43.7' E	11km	M: 3.3
92	20 20 11	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=1.0 神津島村役場*=0.6	34° 14.7' N	139° 11.3' E	11km	M: 2.3
93	21 00 30	浦河沖 北海道 1 安平町追分柏が丘*=1.4 安平町早来北進*=1.2 新ひだか町三石旭町*=1.2 新冠町北星町*=1.1 むかわ町穂別*=1.0 新ひだか町静内御幸町*=0.9 新ひだか町静内山手町=0.9 日高支庁日高町門別*=0.6	42° 20.1' N	142° 12.2' E	59km	M: 3.8
94	21 05 04	青森県東方沖 青森県 1 八戸市湊町=0.7 八戸市内丸*=0.7 青森南部町苦米地*=0.5 岩手県 1 九戸村伊保内*=0.6	40° 33.6' N	142° 00.8' E	95km	M: 3.7
95	21 10 17	京都府南部 京都府 2 南丹市園部町小桜町*=1.6 1 京都右京区京北周山町*=1.2 亀岡市安町=1.1 南丹市八木町八木*=1.1 福知山市三和町千束*=1.0 京都中京区西ノ京=0.9 久御山町田井*=0.7 八幡市八幡*=0.5 京丹波町蒲生*=0.5 大山崎町円明寺*=0.5 大阪府 1 能勢町今西*=0.9 島本町若山台*=0.7 能勢町役場*=0.5 兵庫県 1 三田市下里*=0.6	35° 05.7' N	135° 33.7' E	12km	M: 3.4
96	21 10 21	大分県西部 大分県 1 日田市三本松=0.6	33° 22.8' N	130° 55.5' E	11km	M: 2.5
97	21 12 33	大分県西部 大分県 1 中津市耶馬溪町*=0.5	33° 22.8' N	130° 55.4' E	11km	M: 2.3
98	21 14 56	山形県庄内地方 山形県 2 大蔵村肘折*=1.7	38° 37.5' N	140° 02.5' E	8km	M: 2.7
99	21 19 14	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=1.0 大船渡市大船渡町=1.0 釜石市中妻町*=0.9 一関市室根町*=0.8 陸前高田市高田町*=0.5 宮城県 1 南三陸町歌津*=1.1 気仙沼市唐桑町*=0.8 登米市中田町=0.6 気仙沼市笹が陣*=0.6	38° 50.6' N	141° 36.0' E	73km	M: 3.5
100	22 07 57	与那国島近海 沖縄県 1 与那国町役場*=0.8 与那国町祖納=0.7	24° 21.8' N	122° 59.9' E	48km	M: 4.1
101	22 13 45	島根県東部 島根県 1 雲南市掛合町掛合*=0.7	35° 10.6' N	132° 50.9' E	6km	M: 1.7
102	22 18 49	福島県沖 福島県 1 いわき市錦町*=1.1 白河市新白河*=0.7 川内村下川内=0.7 玉川村小高*=0.7 いわき市小名浜=0.6 橋葉町北田*=0.6 いわき市平四ツ波*=0.5 茨城県 1 日立市十王町友部*=1.1 高萩市安良川*=0.6 日立市助川小学校*=0.5 北茨城市磯原町*=0.5	36° 59.3' N	141° 14.2' E	57km	M: 3.8
103	22 20 40	福島県沖 宮城県 3 山元町浅生原*=2.6 角田市角田*=2.5 石巻市桃生町*=2.5	37° 35.8' N	141° 39.8' E	76km	M: 4.7

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		2 登米市南方町*2.4 岩沼市桜*2.4 亘理町下小路*2.4 塩竈市旭町*2.4 東松島市矢本*2.4 利府町利府*2.4 丸森町鳥屋*2.3 名取市増田*2.3 大郷町柏川*2.3 登米市迫町*2.3 仙台宮城野区五輪=2.2 仙台青葉区雨宮*2.1 登米市豊里町*2.1 仙台太白区山田*2.1 蔵王町円田*2.1 宮城川崎町前川*2.1 松島町高城=2.1 大崎市田尻*2.1 涌谷町新町=2.0 栗原市瀬峰*2.0 仙台青葉区作並*2.0 石巻市門脇*2.0 大崎市松山*1.9 石巻市北上町*1.9 仙台若林区遠見塚*1.9 丸森町上滝=1.9 村田町村田*1.8 登米市中田町=1.8 東松島市小野*1.8 色麻町四竈*1.8 仙台泉区将監*1.8 登米市米山町*1.8 大崎市鹿島台*1.7 気仙沼市赤岩=1.7 白石市亘理町*1.7 栗原市築館*1.7 南三陸町歌津*1.7 宮城美里町木間塚*1.7 仙台宮城野区苦竹*1.7 大河原町新南*1.7 大衡村大衡*1.7 大崎市古川三日町=1.7 宮城美里町北浦*1.6 仙台北空港=1.6 栗原市志波姫*1.6 七ヶ浜町東宮浜*1.6 南三陸町志津川=1.5 仙台青葉区落合*1.5 柴田町船岡=1.5 気仙沼市笹が陣*1.5 栗原市高清水*1.5 宮城加美町中新田*1.5 大崎市三本木*1.5 1 栗原市一迫*1.4 栗原市金成*1.4 石巻市鮎川浜*1.4 石巻市相野谷*1.4 石巻市前谷地*1.4 富谷町富谷*1.4 登米市登米町*1.3 大崎市古川北町*1.3 石巻市泉町=1.3 栗原市栗駒=1.3 栗原市若柳*1.3 大和町吉岡*1.3 気仙沼市唐桑町*1.3 登米市東和町*1.3 仙台青葉区大倉=1.2 宮城加美町小野田*1.2 女川町女川浜*1.0 七ヶ宿町関*1.0 石巻市大瓜=0.8 登米市津山町*0.8 宮城加美町宮崎*0.8 石巻市雄勝町*0.7 大崎市岩出山*0.7 多賀城市中央*0.7 大崎市鳴子*0.7 栗原市鶯沢*0.7 栗原市花山*0.6 登米市石越町*0.6 3 相馬市中村*3.3 葛尾村落合閣下*2.9 2 国見町藤田*2.4 須賀川市岩瀬支所*2.3 福島伊達市梁川町*2.3 浪江町幾世橋=2.3 郡山市朝日=2.2 川俣町五百田*2.2 郡山市開成*2.2 二本宮市本宮*2.1 新地町谷地小屋*2.1 須賀川市八幡山*2.0 二本松市針道*2.0 小野町小野新町*1.9 田村市滝根町*1.9 田村市大越町*1.9 福島伊達市保原町*1.9 二本松市郭内*1.9 本宮市糠沢*1.9 双葉町新山*1.9 桑折町東大隅*1.9 浅川町浅川*1.8 田村市船引町=1.8 須賀川市八幡町*1.8 二本松市油井*1.8 橋葉町北田*1.8 葛尾村落合落合*1.8 飯館村伊丹沢*1.8 郡山市湖南町*1.7 白河市新白河*1.7 田村市常葉町*1.7 南相馬市鹿島区*1.7 白河市表郷*1.6 福島市松木町=1.6 田村市都路町*1.6 福島市五老内町*1.6 南相馬市原町区高見町*1.6 福島伊達市月館町*1.6 南相馬市小高区*1.6 福島市桜木町*1.5 福島伊達市前川原*1.5 鏡石町不時沼*1.5 天栄村下松本*1.5 川内村上川内早渡*1.5 玉川村小高*1.5 平田村永田*1.5 1 白河市郭内=1.4 二本松市金色*1.4 いわき市三和町=1.4 福島広野町下北迫大谷地原*1.4 富岡町本岡*1.4 大熊町下野上*1.4 南相馬市原町区三島町=1.4 白河市東*1.3 棚倉町棚倉中居野=1.3 小野町中通*1.3 南相馬市原町区本町*1.3 川内村下川内=1.2 川内村上川内小山平*1.2 福島市飯野町*1.2 大玉村玉井*1.2 大熊町野上*1.1 大玉村曲藤=1.1 石川町下泉*1.1 泉崎村泉崎*1.1 古殿町松川*0.9 いわき市平四ツ波*0.9 いわき市小名浜=0.8 福島広野町下北迫苗代替*0.7 二本松市小浜*0.7 いわき市錦町*0.6 猪苗代町城南=0.5 棚倉町棚倉館ヶ丘*0.5 2 一関市室根町*2.1 藤沢町藤沢*1.8 北上市二子町*1.8 陸前高田市高田町*1.7 一関市花泉町*1.5 一関市千厩町*1.5 1 大船渡市大船渡町=1.4 釜石市中妻町*1.3 奥州市胆沢区*1.1 盛岡市玉山区藪川*1.0 一関市川崎町*1.0 奥州市前沢区*0.9 大槌町新町*0.9 山田町大沢*0.9 普代村銅屋*0.9 奥州市衣川区*0.8 一関市山目*0.8 住田町世田米*0.8 遠野市松崎町*0.7 川井村田代*0.7 八幡平市野駄*0.7 花巻市大迫町=0.7 二戸市福岡=0.6 盛岡市山王町=0.6 奥州市江刺区*0.6 遠野市宮守町*0.6 花巻市石鳥谷町*0.5 山形県 2 河北町谷地=1.5 1 中山町長崎*1.4 米沢市林泉寺*1.4 高島町高島*1.0 東根市中央*1.0 南陽市三間通*1.0 戸沢村古口*0.9 大蔵村肘折*0.9 上山市河崎*0.8 米沢市駅前=0.7 長井市まもの上*0.7 西川町大井沢*0.6 大江町左沢*0.6 茨城県 1 日立市役所*1.4 日立市助川小学校*0.9 日立市十王町友部*0.9 常陸太田市高柿町*0.9 高萩市安良川*0.8 大子町池田*0.8 栃木県 1 那須烏山市中央=0.8 宇都宮市明保野町=0.5 群馬県 1 大泉町日の出*0.6				
104	23 04 55	種子島近海 鹿児島県	30° 36.8' N	131° 03.7' E	41km	M: 3.0
		1 中種子町野間*0.7				
105	23 07 59	小笠原諸島西方沖 東京都	27° 18.5' N	140° 40.8' E	429km	M: 5.7
		2 小笠原村母島=2.2 1 小笠原村父島三日月山=1.4 小笠原村父島西町=1.3				
106	23 12 10	静岡県中部 静岡県	35° 14.5' N	138° 17.8' E	15km	M: 2.3
		1 静岡葵区梅ヶ島*0.6				
107	23 17 58	奄美大島近海 鹿児島県	28° 01.0' N	129° 27.2' E	40km	M: 3.5
		1 瀬戸内町請島*0.9 奄美市住用町西仲間*0.7 瀬戸内町与路島*0.6				
108	23 23 18	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 48.9' N	141° 34.6' E	75km	M: 3.5
		1 陸前高田市高田町*1.0 一関市室根町*0.8 釜石市中妻町*0.7 一関市千厩町*0.7 1 気仙沼市唐桑町*1.4 南三陸町歌津*1.3 気仙沼市笹が陣*0.9 石巻市泉町=0.5				
109	24 00 52	長野県南部 長野県	35° 49.2' N	137° 34.8' E	5km	M: 2.2
		1 木曾町三岳*1.0				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
110	24 10 14	八丈島東方沖 東京都 1 八丈町大賀郷金土川*0.9	33° 39.4' N	141° 07.4' E	53km	M: 4.8
111	25 14 30	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原*0.6	37° 07.9' N	139° 18.5' E	7km	M: 2.8
112	26 13 51	福島県会津 福島県 1 下郷町塩生*1.3	37° 15.1' N	139° 51.5' E	3km	M: 1.7
113	26 14 27	東京都多摩東部 東京都 1 日野市神明*1.2 八王子市堀之内*1.1 昭島市田中町*1.1 町田市役所*1.0 町田市忠生*1.0 町田市中町*0.9 立川市錦町*0.9 八王子市大横町*0.9 あきる野市伊奈*0.8 東大和市中央*0.8 国分寺市戸倉*0.6 神奈川県 1 相模原市相模湖町与瀬*1.4 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.1 横浜緑区十日市場町*1.0 相模原市城山町久保沢*1.0 相模原市相原*1.0 横浜磯子区洋光台*0.9 横浜中区山手町*0.9 相模原市上溝*0.8 川崎川崎区宮前町*0.7 相模原市津久井町中野*0.7 横浜南区別所*0.7 愛川町角田*0.7 横浜港南区丸山台東部*0.6 綾瀬市深谷*0.6 横浜旭区大池町*0.6	35° 39.4' N	139° 26.5' E	28km	M: 3.0
114	26 15 06	奄美大島近海 鹿児島県 1 瀬戸内町加計呂麻島*0.9 奄美市住用町西仲間*0.7	28° 03.7' N	129° 24.4' E	40km	M: 3.5
115	26 15 07	千葉県南東沖 千葉県 1 館山市長須賀*1.4 南房総市白浜町白浜*1.1 勝浦市墨名*0.7 鴨川市八色*0.6 東京都 1 伊豆大島町岡田*0.6 神奈川県 1 横浜中区山手町*0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本*0.9	34° 34.5' N	140° 21.5' E	61km	M: 4.6
116	26 23 51	西表島付近 沖縄県 1 竹富町大原*1.3 竹富町上原*0.7 竹富町船浮*0.6	24° 26.6' N	123° 54.9' E	10km	M: 3.3
117	27 07 39	新潟県上越地方 新潟県 1 上越市安塚区安塚*0.8	37° 04.1' N	138° 31.5' E	12km	M: 2.3
118	28 11 04	父島近海 東京都 1 小笠原村母島*1.1 小笠原村父島三日月山*0.9	26° 33.5' N	141° 52.4' E	57km	M: 4.0
119	28 12 08	浦河沖 北海道 2 浦河町潮見(旧)=2.4 浦河町築地*2.3 広尾町西4条*2.1 新ひだか町三石旭町*1.8 浦幌町桜町*1.7 浦河町野深*1.7 1 新冠町北星町*1.4 新ひだか町静内山手町*1.3 幕別町忠類錦町*1.2 様似町栄町*1.1 新ひだか町静内御幸町*1.1 広尾町並木通*1.1 釧路市音別町直別*1.1 十勝大樹町生花*1.0 更別村更別*0.9 帯広市東6条*0.9 えりも町目黒*0.8 えりも町えりも岬*0.8 帯広市東4条*0.7 本別町向陽町*0.6 十勝大樹町東本通*0.6 中札内村東2条*0.5 十勝清水町南4条*0.5 平取町振内*0.5 音更町元町*0.5 青森県 1 東通村小田野沢*0.8 東通村砂子又*0.6	42° 06.1' N	142° 30.6' E	46km	M: 4.3
120	28 12 59	国後島付近 北海道 1 根室市落石東*0.6 根室市牧の内*0.5	43° 40.7' N	146° 13.9' E	74km	M: 3.8
121	29 00 12	大分県西部 福岡県 1 東峰村宝珠山*1.1 朝倉市杷木池田*0.8 東峰村小石原*0.8 大分県 1 日田市三本松*0.9 中津市耶馬溪町*0.6	33° 22.4' N	130° 53.0' E	12km	M: 2.9
122	29 04 22	沖縄本島北西沖 鹿児島県 3 天城町平土野*2.6 2 和泊町国頭*2.2 与論町茶花*2.1 天城町当部*1.8 和泊町和泊*1.7 徳之島町亀津*1.7 瀬戸内町請島*1.5 1 伊仙町伊仙*1.4 知名町知名*1.4 奄美市名瀬港町*1.2 瀬戸内町与路島*1.2 奄美市笠利町里*1.0 沖縄県 2 名護市港*1.7 今帰仁村仲宗根*1.6 本部町役場*1.5 伊平屋村我喜屋*1.5 伊平屋村役場*1.5 1 国頭村辺土名*1.4 国頭村奥*1.2 名護市宮里*1.0 うるま市みどり町*0.9	27° 52.1' N	127° 51.4' E	13km	M: 6.1
123	29 07 48	沖縄本島北西沖 鹿児島県 1 与論町茶花*0.5	27° 49.5' N	127° 49.4' E	12km	M: 4.3
124	29 21 03	根室支庁北部 北海道 4 中標津町養老牛*3.8 3 清里町羽衣町*3.1 弟子屈町サワソビ*3.0 別海町西春別*2.8 中標津町丸山*2.5 2 小清水町小清水*2.3 標津町北2条*2.2 網走市南6条*2.0 弟子屈町弟子屈*2.0 斜里町本町*2.0 釧路市黒金町*1.9 弟子屈町美里*1.8 標津町薫別*1.8 斜里町ウトロ香川*1.6 標茶町川上*1.6 大空町東藻琴*1.5 釧路市幸町*1.5 別海町常盤*1.5 1 釧路町別保*1.3 標茶町塘路*1.2 北見市常呂町常呂*1.1 別海町本別海*1.1 大空町女満別西3条*1.0 厚岸町真栄町*1.0 網走市台町*0.9 根室市瑤瑤瑠*0.9	43° 37.5' N	144° 39.6' E	5km	M: 4.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
125	30 02 21	青森県東方沖 北海道 青森県 岩手県	41° 29.6' N	142° 04.1' E	63km	M: 4.3
		鶴居村鶴居東*=0.8 根室市厚床*=0.8 羅臼町春日=0.8 厚岸町尾幌=0.7 根室市落石東*=0.7 美幌町東3条=0.7 湧別町栄町*=0.6 釧路市阿寒町中央*=0.6 白糠町西1条*=0.6 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=0.6 2 函館市泊町*=1.8 1 千歳市若草*=0.8 函館市日ノ浜町*=0.7 新千歳空港=0.6 苫小牧市旭町*=0.5 2 東通村砂子又*=2.1 東通村小田野沢*=1.8 野辺地町田狭沢*=1.5 1 六ヶ所村尾駈=1.4 八戸市湊町=1.1 むつ市金曲=1.1 野辺地町野辺地*=1.0 八戸市内丸*=0.9 横浜町林ノ脇*=0.9 むつ市金谷*=0.8 むつ市大畑町中島*=0.8 東通村尻屋*=0.7 五戸町古館=0.7 東北町上北南*=0.6 七戸町森ノ上*=0.6 三沢市桜町*=0.6 青森南部町苦米地*=0.5 1 軽米町軽米*=0.9				
126	30 07 36	沖縄本島北西沖 鹿児島県 沖縄県	27° 50.8' N	127° 49.7' E	10km	M: 5.7
		2 天城町平土野*=1.8 和泊町国頭=1.5 1 瀬戸内町請島*=1.2 和泊町和泊*=1.2 与論町茶花*=1.2 徳之島町亀津*=1.0 天城町当部=1.0 知名町知名*=0.9 伊仙町伊仙*=0.8 1 名護市港*=0.7 国頭村奥=0.7 国頭村辺土名*=0.5				
127	30 07 43	沖縄本島北西沖 鹿児島県	27° 49.8' N	127° 49.6' E	8km	M: 5.0
		1 与論町茶花*=1.2 和泊町国頭=0.5				
128	30 14 17	宮城県北部 宮城県	38° 49.4' N	140° 49.1' E	4km	M: 2.2
		1 栗原市花山*=0.5				
129	30 16 40	胆振支庁中東部 北海道	42° 50.2' N	141° 53.4' E	13km	M: 2.6
		1 安平町追分柏が丘*=0.9				
130	30 16 56	山形県庄内地方 山形県	38° 37.5' N	140° 02.5' E	9km	M: 3.2
		2 大蔵村肘折*=2.0 1 戸沢村古口*=1.0 西川町海味*=0.8 河北町谷地=0.7 庄内町清川*=0.7 鶴岡市羽黒町*=0.6				
131	30 19 02	奄美大島近海 鹿児島県	28° 30.2' N	130° 09.9' E	51km	M: 3.9
		1 奄美市名瀬港町=0.9 奄美市笠利町里*=0.8 喜界町滝川=0.5				



● 付表 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数  
 <平成 20 年（2008 年）10 月～平成 21 年（2009 年）9 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成21年（2009年）											
9月	86	34	8	3						131	
8月	99	39	19	4	1		1			163	11日 駿河湾（震度6弱） 13日 八丈島東方沖（震度5弱） 駿河湾の地震の余震 （震度3：3回、震度2：8回、震度1：26回）
7月	71	22	10	2						105	
6月	89	30	7	3						129	
5月	75	27	8	1						111	
4月	73	19	9	2						103	
3月	59	26	5							90	
2月	70	27	6	7						110	
1月	62	28	5	1						96	
平成21年計	684	252	77	23	1		1			1038	
平成20年（2008年）											
12月	79	35	15	1						130	
11月	68	29	4	2						103	
10月	94	26	10	3						133	
過去1年計	925	342	106	29	1		1			1404	（平成20年10月～平成21年9月）

（参考）昨年同月の最大震度別地震回数

9月	77	40	13		1					131	11日 十勝沖（震度5弱）
----	----	----	----	--	---	--	--	--	--	-----	---------------

注)①「記事」欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

②地方公共団体等の震度計による震度の発表開始年月日。

平成9(1997)年11月10日 秋田県、埼玉県、横浜市（神奈川県）、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県

平成10(1998)年6月15日 群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県、愛媛県

10月15日 青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

平成11(1999)年7月21日 東京都、長野県

平成12(2000)年1月12日 栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）

3月28日 滋賀県

7月18日 富山県、香川県、大分県

平成13(2001)年3月22日 佐賀県 5月10日 山梨県、川崎市（神奈川県）

7月19日 高知県

12月12日 福島県

平成14(2002)年3月20日 岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）

7月29日 北海道、長崎県

平成15(2003)年3月10日 沖縄県

平成16(2004)年5月26日 防災科学技術研究所（岩手県の一部、宮城県の一部、神奈川県、山梨県、長野県、石川県、福井県、

8月9日 岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、

11月1日 岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、大分県、宮崎県）

平成18(2006)年3月1日 防災科学技術研究所（北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、

6月20日 群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、新潟県、富山県）

平成19(2007)年3月1日 防災科学技術研究所（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県）

● 付表 3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数  
 <平成 20 年（2008 年）10 月～平成 21 年（2009 年）9 月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0以上	計 M4.0以上	記事
平成21年（2009年）								
9月	323	70	6	2		401	78	3日：薩摩半島西方沖（M6.0） 29日：沖縄本島北西沖（M6.1）
8月	445	82	19	6		552	107	5日：宮古島近海（M6.5） 9日：東海道南方沖（M6.8） 11日：駿河湾（M6.5） 13日：八丈島東方沖（M6.6） 17日：石垣島近海（M6.7、M6.6）
7月	263	61	10	1		335	72	14日：台湾付近（M6.5）
6月	312	75	15	1		403	91	5日：十勝沖（M6.4）
5月	268	48	5			321	53	
4月	320	76	27	2		425	105	千島列島（ウルップ島東方沖）の地震活動 （M4.0～4.9：25回、M5.0～5.9：14回、 M6.0～6.9：2回） 奄美大島近海の地震活動 （M3.0～3.9：50回、M4.0～4.9：5回、 M5.0～5.9：2回）
3月	264	46	8			318	54	
2月	240	58	10			308	68	
1月	266	65	7		1	339	73	16日：千島列島東方（M7.4）
平成21年計	2701	581	107	12	1	3402	701	
平成20年（2008年）								
12月	303	68	18	4		393	90	4日：三陸沖（M6.1） 20日：関東東方沖（M6.6） 21日：福島県沖（M6.2） 28日：千島列島東方（M6.0）
11月	257	59	2			318	61	
10月	291	59	11			361	70	
過去1年計	3552	767	138	16	1	4474	922	（平成20年10月～平成21年9月）

（参考）昨年同月のM別地震回数

9月	294	64	14		1	373	79	11日：十勝沖（M7.1）
----	-----	----	----	--	---	-----	----	---------------

注) 日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

## ●付表 4. 緊急地震速報の提供状況

平成 21 年 9 月に緊急地震速報（警報）を公表した地震は 0 回（8 月は 2 回）であった。また、緊急地震速報（予報）を公表した回数は 47 回（8 月は 65 回）であった。

平成 19 年 10 月～平成 21 年 9 月に緊急地震速報を公表した地震の月別回数

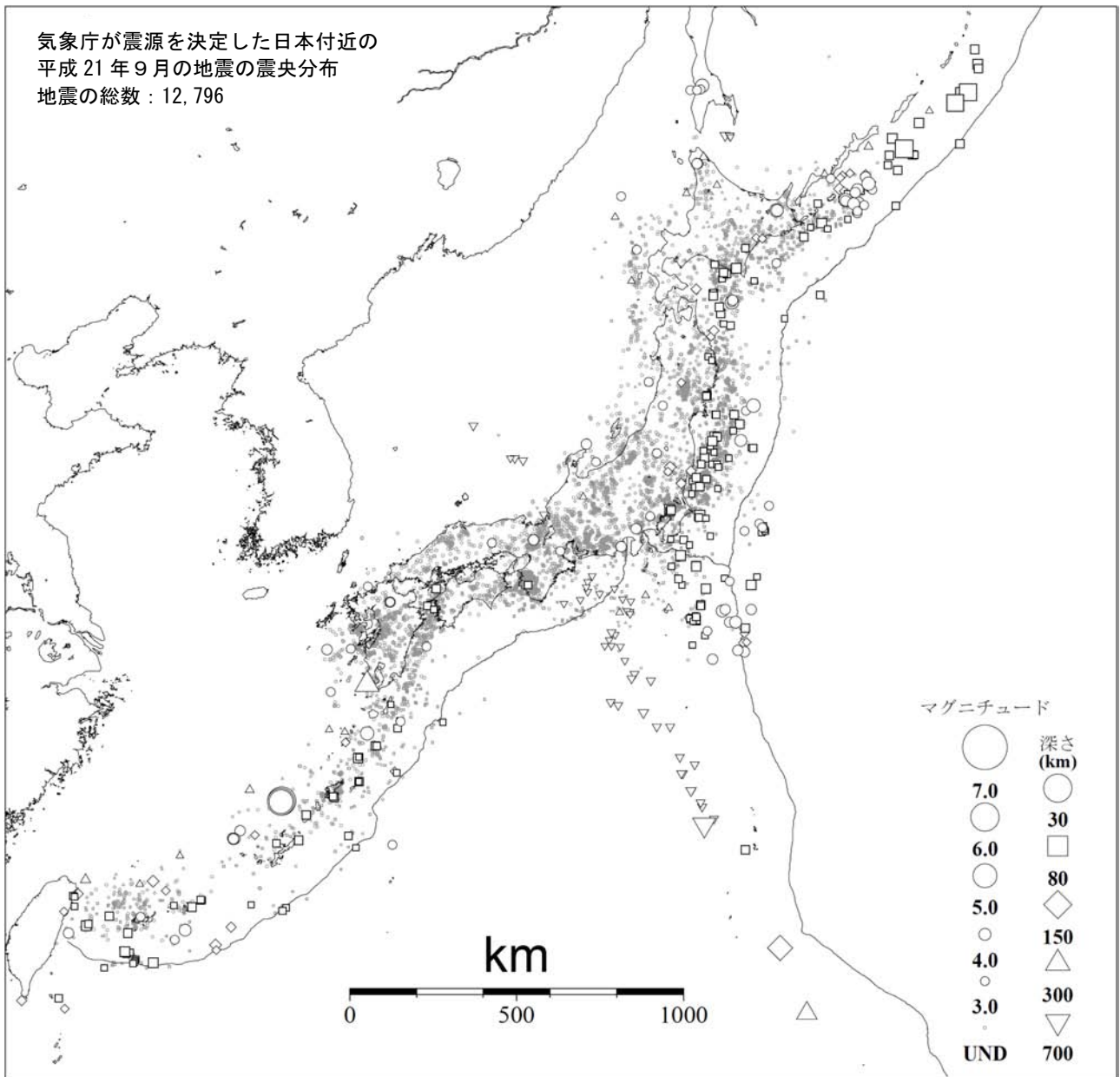
年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	年合計
平成 19 年 (2007 年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成 20 年 (2008 年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成 21 年 (2009 年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)				2(377)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

気象庁は、平成 19 年 10 月より緊急地震速報の一般への提供を開始し、同年 12 月 1 日より、気象業務法の一部改正により、緊急地震速報を地震動の予報及び警報に位置付けて発表している。

なお、緊急地震速報では、平成 21 年 9 月末現在、気象庁が整備した地震計（全国約 210 箇所）と（独）防災科学技術研究所が整備した高感度地震観測網（Hi-net）の地震計（全国約 800 箇所）を利用している。

気象庁が震源を決定した日本付近の  
平成 21 年 9 月の地震の震央分布  
地震の総数 : 12,796



M3.0 以上の地震の震央を白抜きで示す。